

国立青少年教育振興機構

# 特記仕様書

---

国立オリンピック記念青少年総合センター 建物等設備保全業務

## 第1編 一般的事項

### 第1章 総則

#### 1.1.1 業務概要

##### (1) 業務名称

国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター 建物等設備保全業務

##### (2) 業務場所

東京都渋谷区代々木神園町3番1号 国立オリンピック記念青少年総合センター構内

##### (3) 業務期間

2025年4月1日（火）から2028年3月31日（金）まで

##### (4) 業務内容

業務場所に常駐し、対象設備の運転監視、点検保守、書類作成支援を行う。

##### (5) 請負代金の支払い

この業務の受注者は、検査職員の行う検査に合格した時は、請負代金の支払を請求できる。請負代金の支払いは独立行政法人国立青少年教育振興機構財務部財務課より1か月毎に支払う。

##### (6) 適用

この業務の受注者は、独立行政法人青少年教育振興機構発注工事請負等契約規則に準じ、この特記仕様書、建築保全業務共通仕様書（令和5年版、国土交通省大臣官房官庁営繕部）（以下、「標準仕様書」という）に基づき履行する。ただし、新型コロナウイルス感染症等の疫病やその他の事由によって、利用者が大幅に減少した際は、契約内容の見直しについて、別途協議することとする。

##### (7) 用語の定義

本段落以後、用いる用語の定義は以下によるほか、標準仕様書及び各編による。

「保守」とは、点検結果に基づき建築物等の機能の回復又は危険の防止のために行う作業をいい、その内容は特記する。

「修理」とは、常備する工具類又は部品を用い受注者が行う作業で、支給材料以外の費用が発生しない作業をいう。

「【○○○】（○は文字）」とは、本業務における特定分野の業務を指す。

「施設管理担当者」とは、当機構財務部施設管理課員をいう。

「施設運営担当者」とは、当機構オリンピックセンター運営部員をいう。

### 第2章 業務管理

#### 1.2.1 業務従事者

##### (1) 共通事項

・本節は業務に携わる上で発注者が求める最低限の要件である。作業を実施する上でこの他に必要な資格がある場合は、当該資格を有する者に作業を行わせること。

##### (2) 資格要件

###### a. 業務責任者

熱源及び受変電設備等の運転監視業務に従事した経験を10年以上有し、他の業務従事者に対し、機器操作や点検等の指導ができる知識を有する者であること。以下の保守責任者又は電気主任技術者のいずれかを兼務することができ、全業務従事者を指揮する。

###### b. 保守責任者

熱源設備の保守点検業務に従事した経験を5年以上有し、以下の資格を全て有する者であること。受変電設備に関する業務以外の業務について統括し、同業務担当者を指揮する。また、以下の業務担当者を1分野兼ねることができる。（【受変電設備】を除く）

- ・ 二級ボイラー技士（これと同等以上と認められる資格を含む。）
- ・ ボイラー整備士（これと同等以上と認められる資格を含む。）
- ・ 危険物取扱主任者（乙種4類）（これと同等以上と認められる資格を含む。）
- ・ エネルギー管理員（これと同等以上と認められる資格を含む。）

**c.電気主任技術者**

受変電設備の運転監視業務に従事した経験を5年以上有し、以下の資格を有する者であり、電気事業法に基づく保安規程で電気主任技術者として選任される者であること。

- ・ 第3種電気主任技術者（これと同等以上と認められる資格を含む。）

業務担当者【受変電設備】を兼ねることができる。

**d.業務担当者（機械設備）**

各担当分野に応じ、以下の必要な知識及び技能を有する者で、保守責任者を補佐し、作業員に対し担当業務の指示を下せる者であること。担当分野毎の資格要件は以下のとおり。

**【運転監視】**

熱源設備の運転監視業務に従事した経験を3年以上有すること。

**【熱源設備】**

二級ボイラー技士の資格を有し、熱源設備の保守点検業務に従事した経験を3年以上有すること。

**【給排水衛生設備】**

給排水衛生設備の保全業務又は管工事施工に従事した経験を3年以上有すること。

**【自動制御設備】**

自動制御設備の保全業務に従事した経験を3年以上有すること。

**【建築物環境衛生管理】**

建築物環境衛生管理技術者の資格を有し、環境衛生の維持管理業務に従事した経験を3年以上有すること。

**【排水処理】**

同規模の汚泥脱水装置を有する厨房排水処理施設及び、排水再利用処理施設の保全業務に従事した経験を2年以上有し、以下の資格を有する者であること。

- ・ 公害防止管理者（国家資格）（これと同等以上と認められる資格を含む。）
- ・ 危険物取扱者(国家資格)（これと同等以上と認められる資格を含む。）
- ・ 第二種酸素欠乏危険作業主任者(国家資格)（これと同等以上と認められる資格を含む。）
- ・ 下水道管理技術認定
- ・ 特定化学物質等作業主任者(国家資格)（これと同等以上と認められる資格を含む。）

**e.業務担当者（電気設備）**

各担当分野に応じ、以下の必要な知識及び技能を有する者で、電気主任技術者を補佐し、作業員に対し担当業務の指示を下せる者であること。担当分野毎の資格要件は以下のとおり。

**【受変電設備】**

第一種電気工事士(国家資格)

**f.作業員**

業務担当者の指示のもと、各担当業務を実施する者。

**(3)勤務体制**

勤務体制は以下の通りとする。

区分	日勤	夜勤
業務責任者及び保守責任者（又は電気主任技術者）	1名以上	—
保守責任者（業務責任者が兼務の場合は電気主任技術者）	1名以上	—
電気主任技術者（業務責任者が兼務の場合は保守責任者）		
業務担当者（機械設備）	4名以上	2名以上
業務担当者（電気設備）	2名以上	1名以上
作業員	3名以上	—
書類作成支援員	※	—

勤務時間は日勤 8:30~17:30、夜勤 17:00~9:00 を基本とするが、運用の状況により変更することは可能。休憩・仮眠時間等については、労働基準法その他の法令の定めるところにより適

切に設定すること。ただし、夜勤明けは休日とする。

※書類作成支援員は常駐を要しない。

## 1.2.2 管理事務

### (1) 業務計画書及び報告書作成

受注者は業務を計画的に実施するため、業務開始に先立ち以下の計画書等を作成し施設管理担当者に提出すること。

- a. 運転監視業務計画書（年次・変更時）
- b. 保全業務計画書（年次・変更時）
- c. 消耗品年間使用計画書（年次）
- d. 勤務体制表（緊急連絡体制含む）（年次・変更時）

### (2) 報告・連絡

受注者は業務実施に当たり、定期的に以下の報告書等を施設管理担当者に提出すること。

- a. 各業務日報（毎日（土日祝祭日は翌営業日））
- b. 各業務月報（毎月 1 日付）
- c. 建物別光熱水量検針結果一覧（毎月 1 日検針、検針後速やかに提出する）

### (3) その他

#### a. 破損報告

各業務において、機器の故障や汚損を発見した際は、遅滞なく報告する。

#### b. 図面整理保管

設備備付の仕様書や貸与図面を汚損しないよう適切に保管すると共に、変更が発生した時は適切に修正する。

#### c. 機器台帳整備

別紙「機器台帳」に変更が発生した時は適切に修正する。

#### d. 別契約業務との調整

本業務の対象に含まれない他契約についても、当該業務責任者と調整を図り、互いに円滑に業務を実施すること。

#### e. 災害対応

災害等事故発生時、業務関係者は自衛消防隊員として、状況確認、避難誘導、安全防护及び工作活動等必要な措置をとること。

#### f. 訓練等への立ち会い

前項を達成するため、構内で開催される防災訓練その他施設運営上必要な訓練行事に参加すること。

#### g. 事業支援

構内で催行される各種事業に対し、本業務に支障を及ぼさない範囲で協力すること。

## 第2編 運転監視業務

### 第1章 共通事項

本編は、運転監視、日常点検及び日常点検結果に基づく保守に適用する。

運転監視及び日常点検の基準で本章に定めのない事項は、標準仕様書第3編「運転・監視及び日常点検・保守」による。

本編において、必要な薬剤、部品及び消耗品は支給する。

### 第2章 運転監視業務

#### 2.2.1 熱源設備等運転監視業務

##### (1) 対象範囲

運転監視の対象設備の範囲は別紙「(オリセン) 空調熱源フロー図」による。

運転監視及び日常点検の対象部分、数量等は別紙「機器台帳」によるが、便所、B棟浴室についても巡視を行うこと。(便所については、1週間で構内各所の点検を1回行うこと)

##### (2) 報告

業務日報は参考資料「ボイラー施設運転保守管理日誌」による。

業務月報の様式は協議による。

##### (3) 日常保守の範囲

標準仕様書の内容に加え、以下の事項は日常保守の範囲とする。

- ・ 冷却塔、ボイラー、軟水器等各種機器用の薬注装置への薬品等の補充

##### (4) その他

1日1回は主要な機械室、電気室、B棟浴室を巡視して機器配管等の異常の有無を点検すること。この際、監視の対象機器以外であっても、異常を発見した場合には施設管理担当者に報告する。高所作業に必要な足場(高所作業車)は施設運営担当者の許可を得たうえで備品を使用してよい。ただし、使用する者は特別教育修了者とする。

#### 2.2.2 電気設備運転監視業務

##### (1) 対象範囲

運転監視の対象設備の範囲は以下のとおりとする。

- ・ 受変電設備概要については別紙「受変電設備図面」による。
- ・ 発電設備概要については別紙「発電設備図面」による。
- ・ 直流電源設備については別紙「直流電源設備一覧表」による。
- ・ 太陽光発電設備については別紙「太陽光発電設備図面」による。
- ・ 幹線・変電設備については別紙「幹線系統図」による。

##### (2) 報告

業務日報は参考資料「電気施設運転保守管理日誌」「業務報告書【電気】」による。

業務月報は参考資料「特高変電月例点検記録」「A・B・C・D・国際交流棟 変電月例点検記録」「カルチャー棟地下・ホール 変電月例点検記録」「スポーツ棟 変電月例点検記録」「センター棟 変電月例点検記録」「駐車場変電(B2F) 月例点検記録」「非常用発電設備燃料向け地下燃料タンク点検記録」「非常用発電設備 試運転・実負荷 運転記録」による。

##### (3) 日常保守の範囲

標準仕様書の内容に加え、以下の事項は日常保守の範囲とする。

- ① 拡声、誘導支援及び時刻表示設備の不具合時一次対応
- ② 監視カメラ設備、駐車場管制設備及び自動火災報知設備の不具合時一次対応
- ③ 電気設備法定点検の運転・監視・立会い(4人以上、1日/年)
- ④ 各電気室漏電警報発報による漏電調査
- ⑤ 電力監視設備の不具合時一次対応
- ⑥ 太陽光発電設備、外灯の不具合時一次対応
- ⑦ 桜の開花期における夜間照明の設置及び管理(施設運営担当者指示事項)
- ⑧ 宿泊D棟宿泊室ナイトテーブルの修理(施設運営担当者指示事項)

## 2.2.3 厨房排水処理施設及び排水再利用処理施設運転監視業務

### (1) 対象範囲

運転監視の対象設備の範囲は別紙「厨房排水処理系統図」「排水再利用処理設備系統図」による。

### (2) 報告

業務日報は参考資料「厨房排水処理施設運転管理業務日誌」「排水再利用処理施設運転管理業務日誌」による。

## 第3章 ~~特記作業~~

### 2.3.1 ~~プール設備水抜作業~~

#### (1) 対象範囲

~~スポーツ棟屋内プール (25m×13m×avg.1.3m 6コース)~~

#### (2) 時期

~~例年6月の休館日前日営業終了後より夜間作業~~

#### (3) 内容

~~作業員が連携し水抜きを行う。設備の仕様上、作業中は水位監視と排水量の調整を行うこと。~~

## 第4章 緊急保守

### 2.4.1 応急措置

受注者は、休日・夜間等を問わず1年を通して運転監視や通報等により、対象部分に脱落、落下又は転倒の恐れ等を発見した場合、また、継続使用することにより著しい損傷又は関連する部材・機器等に影響を及ぼすことが想定される場合は、簡易な方法により応急措置を講じるとともに、速やかに施設運営担当者に報告する。

### 2.4.2 修理

前項の措置の結果、保守責任者又は施設管理担当者が協議の結果、修理可能と判断した場合は、原則、日勤の勤務時間内に修理を実施する。

以下の事例については、原則修理可能と判断すること。括弧内は修理方法とする。

- ・ 水栓等衛生器具の破損
- ・ 照明器具不良
- ・ スイッチ、コンセント不良
- ・ 分電盤、制御盤不良

(単水栓、メッキ管、灯具、LED器具、安定器、スイッチ類、開閉器、ヒューズ、リレー等、発注者が調達可能な部品の交換)

### 2.4.3 別途発注

修理が不可能な場合は、発注者は別途、修理が可能な業者へ依頼するものとし、かかる費用は発注者の負担とする。

### 2.4.4 その他

構内で発生する各種工事（本業務対象外設備を含む）受注者への現場案内、不具合原因調査や関連設備の運転停止復旧等の技術支援、及び作業完成後の動作確認は当然本業務に含むものとする。

## 第3編 保全業務

### 第1章 保全業務

#### 3.1.1 共通事項

本編は、定期点検及び定期点検結果に基づく保守（以下、保全と云う）に適用する。

本編において、消耗品雑材料は、特記ない場合は受注者の負担とする。

本章に定めのない事項は標準仕様書第2編「定期点検及び保守」による。

本編の対象設備は別紙「機器台帳」による。

※著作権、特許権その他第三者の権利の対象となっている点検方法等の使用に関しては、その費用負担及び使用交渉の一切を受注者にて行う。

#### 3.1.2 定期点検（特記仕様）

##### (1) 第一種圧力容器

###### a. 定期点検内容

標準仕様書に基づく定期点検を実施し、登録性能検査機関等による性能検査に備えること。  
点検結果に基づく保守は 3.1.3(1)温熱源設備による。

###### b. 法定点検

前項及び 3.1.3(1)温熱源設備の定期保守を実施後、登録性能検査機関等による性能検査に立ち会うものとし、申請料は発注者の負担とする。

申請に係る資料作成は受注者が行うものとする。

###### c. 対象機器一覧

機器名称		伝熱面積 内容量	構造検査 番号	検査証 番号	設置場所
熱交換器	HE-U-1(1)	0. 157m <sup>3</sup>	千 17914	4651 号	A 棟地階機械室
熱交換器	HE-U-1(2)	0. 157m <sup>3</sup>	千 17915	4652 号	A 棟地階機械室
蒸気発生器	TST-U-1	2. 130m <sup>3</sup>	千 17913	4663 号	A 棟地階機械室
貯湯槽	TVS-U-1	6. 416m <sup>3</sup>	東 124679	4639 号	A 棟地階機械室
貯湯槽	TVS-U-2	6. 416m <sup>3</sup>	東 124680	4640 号	A 棟地階機械室
蒸気発生器	TST-T-1	1. 261m <sup>3</sup>	千 17912	4662 号	B 棟地階機械室
貯湯槽	TVS-T-2-1	8. 763m <sup>3</sup>	東 124675	4635 号	B 棟地階機械室
貯湯槽	TVS-T-2-2	8. 763m <sup>3</sup>	東 124676	4636 号	B 棟地階機械室
貯湯槽	TVS-T-2-3	8. 763m <sup>3</sup>	東 124677	4637 号	B 棟地階機械室
貯湯槽	TVS-T-1	0. 928m <sup>3</sup>	東 124678	4638 号	B 棟地階機械室
貯湯槽	TVS-C-1	1. 168m <sup>3</sup>	東 125068	4666 号	C 棟 2 階機械室
蒸気発生器	TST-C-1	1. 311m <sup>3</sup>	東 125027	4664 号	C 棟 2 階機械室
貯湯槽	TVS-K-1(1)	2. 835m <sup>3</sup>	東 125070	4667 号	D 棟地階機械室
貯湯槽	TVS-K-1(2)	2. 835m <sup>3</sup>	東 125071	4668 号	D 棟地階機械室
蒸気発生器	TST-K-1	2. 158m <sup>3</sup>	東 125069	4665 号	D 棟地階機械室
熱交換器	HE-K-1(1)	0. 324m <sup>3</sup>	東 125073	4653 号	D 棟地階機械室
熱交換器	HE-K-1(2)	0. 324m <sup>3</sup>	東 125074	4654 号	D 棟地階機械室
貯湯槽	TVS-G-1	2. 813m <sup>3</sup>	岐 11835	4669 号	センター棟 1 階熱源機械室
貯湯槽	TVS-G-2	2. 813m <sup>3</sup>	岐 11836	4670 号	センター棟 1 階熱源機械室
熱交換器	HE-G-1	0. 495m <sup>3</sup>	愛 39763	4671 号	センター棟 1 階熱源機械室
熱交換器	HE-G-2	0. 495m <sup>3</sup>	愛 39764	4672 号	センター棟 1 階熱源機械室
フラッシュタンク	TFT-G-1	0. 122m <sup>3</sup>	愛 39772	4673 号	センター棟 1 階熱源機械室
蒸気発生器	TST-G-1	4. 273m <sup>3</sup>	岐 11831	4674 号	センター棟 1 階熱源機械室
蒸気発生器	TST-S-1	1. 418m <sup>3</sup>	岐 11830	4643 号	ｽﾎｰﾙ棟地階機械室
熱交換器	HE-S-1	0. 191m <sup>3</sup>	愛 39765	4644 号	ｽﾎｰﾙ棟地階機械室
熱交換器	HE-S-2	0. 191m <sup>3</sup>	愛 39766	4645 号	ｽﾎｰﾙ棟地階機械室

フラッシュタンク	TFT-S-1	0.072m <sup>3</sup>	愛 39773	4647 号	スポーツ棟地階機械室
貯湯槽	TVS-S-1(1)	7.510m <sup>3</sup>	岐 11833	4648 号	スポーツ棟地階機械室
貯湯槽	TVS-S-1(2)	7.510m <sup>3</sup>	岐 11834	4649 号	スポーツ棟地階機械室
熱交換器	HE-S-3	0.117m <sup>3</sup>	愛 39754	4646 号	スポーツ棟 2 階ホール機械室
熱交換器	HE-S-1	0.085m <sup>3</sup>	愛 39753	4650 号	スポーツ棟 2 階ホール機械室
蒸気発生器	TST-H-1	3.473m <sup>3</sup>	愛 40875	4657 号	カルチャー棟 B1F ボイラー室
熱交換器	HE-H-1	0.118m <sup>3</sup>	愛 40876	4658 号	カルチャー棟 B1F 冷凍機室
熱交換器	HE-H-2	0.118m <sup>3</sup>	愛 40877	4659 号	カルチャー棟 B1F 冷凍機室
熱交換器	HE-H-3	0.118m <sup>3</sup>	愛 40878	4660 号	カルチャー棟 B1F 冷凍機室
フラッシュタンク	TFT-H-1	0.049m <sup>3</sup>	愛 40879	4661 号	カルチャー棟 B1F ボイラー室
貯湯槽	TVS-H-1	3.318m <sup>3</sup>	愛 40880	4641 号	カルチャー棟 B1F ボイラー室
貯湯槽	TVS-H-2	3.318m <sup>3</sup>	愛 40881	4642 号	カルチャー棟 B1F ボイラー室
蒸気ヘッダー 2 次側安全弁(25A)	—	9 台	—	—	各棟 分解整備、吹き出しテスト

## (2) 吸収式冷凍機

### a. 定期点検内容

標準仕様書に基づく保全を実施すること。

### b. 対象機器一覧

二重効用吸収式冷凍機

仕様	製造者	型式	台数	設置場所
冷房能力 703kW(200 USRT)	川重冷熱工業 (株)	NES-210EN5A	1	宿泊 A 棟地階機械室
冷房能力 703kW(200 USRT)	川重冷熱工業 (株)	NES-210EN5A	1	宿泊 D 棟地階機械室
冷房能力 1266kW(360 USRT)	川重冷熱工業 (株)	NES-360EN5A	1	センター棟 1 階機械室
冷房能力 467kW(130 USRT)	川重冷熱工業 (株)	NES-150EN5A	1	スポーツ棟地階機械室
冷房能力 1055kW(300 USRT)	川重冷熱工業 (株)	NES-300EN5A	1	カルチャー棟地階機械室

## (3) 水冷式チラーユニット

### a. 定期点検内容

標準仕様書に基づく保全を実施すること。

### b. 対象機器一覧

水冷式チラーユニット

仕様	製造者	型式	台数	設置場所
冷房能力 881kW	東芝キャリア (株)	RUW-TBP452CLAM	1 式 (モジュール台数: 6)	宿泊 A 棟地階機械室
冷房能力 734kW	東芝キャリア (株)	RUW-TBP452CLAM	1 式 (モジュール台数: 5)	宿泊 D 棟地階機械室
冷房能力 1092kW	ダイキン工業 (株)	ZUWD300BA5R	1 台	センター棟 1 階機械室
冷房能力 440kW	東芝キャリア (株)	RUW-TBP452CLAM	1 式 (モジュール台数: 3)	スポーツ棟地階機械室
冷房能力 1174kW	東芝キャリア (株)	RUW-TBP452CLAM	1 式 (モジュール台数: 8)	カルチャー棟地階機械室

## (4) 空気調和等関連機器

### a. オイルタンク

標準仕様書第 2 編「定期点検及び保守」第 4 章「機械設備」4.4.1「オイルタンク」表 4.4.1(B)「地下オイルタンク (定期点検)」における漏えいの点検は本業務に含まない。

#### b.冷媒漏れ点検

フロン回収・破壊法に基づく定期点検は本業務に含むものとする。

### (5)自動制御設備

本項の対象設備は別紙「自動制御システム一式及び点検仕様」による。

#### a.中央監視設備

(Asbil 社製 SAVIC-NET G5)

点検は別紙「自動制御システム一式及び点検仕様」製造者仕様による。点検間隔が1年以上の項目については、計画を定め、適切に行う。

#### b.各自動制御設備

点検は別紙「自動制御システム一式及び点検仕様」による。

### (6)排水処理設備

本項の対象設備は別紙「排水処理設備系統図」による。

#### a.厨房排水処理設備及び排水再利用処理設備

別紙「厨房排水処理設備保守点検要綱」「排水再利用処理設備保守点検要綱」による。

本項にかかる消耗品（凝集剤、脱水助剤、検査薬、排水槽フロートスイッチ等）は発注者の負担とする。

## 3.1.3 定期保守

### (1)温熱源設備

#### a.時期

前節定期点検及び自主性能検査満了日に基づき実施日程を定める。

#### b.保守内容

前節定期点検に合わせ、以下の作業を行う。

##### 熱交換器、蒸気発生器、貯湯槽

- ・管板フランジ用パッキン取替
- ・圧力容器内部清掃、蒸気側ボイラリペイント
- ・加熱コイル抜取清掃（各器3年毎）

### (2)空気調和設備

#### a.冷却塔シーズンイン清掃（年1回）

冷却塔及び冷却配管についてブラシ洗浄及び化学洗浄を行うこと。

#### b.冷却塔追加清掃（冷房期間中、月1回）

清掃及び換水を行うこと。

#### c.フィルタ清掃（年2回）

点検結果に関わらず、プレフィルタの清掃を実施すること。交換が必要であれば提案をすること。フィルタ交換作業は別途とし、購入及び処分に係る費用は発注者の負担とする。

#### d.中性能フィルタ交換

施設の機器で現に使用されている中性能フィルタは、プレフィルタ清掃時に確認し、交換が必要であれば提案をすること。フィルタ交換作業は別途とし、購入及び処分に係る費用は発注者の負担とする。

#### e.Vベルト交換

寿命、経済性を考慮し適宜交換する。Vベルトの購入に係る費用は発注者の負担とする。

### (3)給排水設備

#### a.ルーフドレン清掃（年4回）

別紙「ルーフドレン清掃対象範囲」に基づき清掃を行い、雨水排水に支障が無いことを確認する。

b.宿泊 B 棟循環式浴槽保守（間隔は下記参照）

集毛器の清掃（毎日）※利用の無い日は除く

シャワー分解消毒（年 1 回）

以下のとおり、シャワーヘッド及びシャワーホースの分解消毒を行う。

	No.1 浴槽	No.2 浴槽	No.3 浴槽	No.4 浴槽
シャワー数	14	14	27	27
消毒法	分解し、スケールを除去した後、塩素系薬剤等を利用して消毒すること。			

浴槽高濃度配管消毒（月 1 回）

※事前に配管洗浄実施日を施設運営担当者と調整すること。

※循環配管内の生物膜の状況を点検し、生物膜がある場合には、その除去を行うこと。

（年 1 回）

(4)排水処理設備

a.厨房排水処理設備及び排水再利用処理設備

別紙「厨房排水処理設備保守点検要綱」及び「排水再利用処理設備保守点検要綱」による。

## 第4編 建築物環境衛生管理業務

### 第1章

#### 4.1.1 共通事項

本章は「建築物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく環境衛生管理体制に適用する。

業務担当者【建築物環境衛生管理】は管理技術者として選任する。

本章において、測定、調査に係る備品消耗品は受注者の負担による。防除に係る費用は発注者の負担による。

#### 4.1.2 建築物環境衛生管理

管理技術者は建築物の維持管理が環境衛生上適法に行われるよう本章の管理を行う。

##### (1)意見

対象建築物の維持管理が環境衛生基準に従って行われていない場合は、発注者に改善等について意見を述べる。発注者はその意見を尊重する。

##### (2)連絡調整

関係官公庁との連絡調整及び関係資料の作成並びに報告を行うこと。

##### (3)帳簿整理

法令の規定による各種帳簿類の整理に関すること。

##### (4)その他

その他関係法令に規定している必要な事項に関すること。

#### 4.1.3 建築物環境衛生測定

管理技術者は建築物の維持管理が環境衛生上適法に行われるよう本章の測定を計画、実施し、報告すること。

##### (1)空気環境測定

測定項目及び間隔は、標準仕様書第5編「執務環境測定等」第2章「空気環境測定」による。

測定点数は以下のとおりとする。

表 1 空気環境測定測定点数

建物名称	測定点数	外気測定点数
センター棟	24	1
スポーツ棟	8	1
カルチャー棟	17	1
宿泊A棟	13	1
宿泊B棟	6	1
宿泊C棟	8	1
宿泊D棟/国際交流棟	13	1
合計	89	7

##### (2)照度測定

測定項目及び間隔は、標準仕様書第5編「執務環境測定等」第3章「照度測定」による。

測定点数は以下のとおりとする。

表 2 照度測定測定点数

建物名称	測定点数
センター棟	38
スポーツ棟	3
カルチャー棟	2
宿泊D棟/国際交流棟	1
合計	44

### (3)水質検査

検査内容は以下のとおりとする。

#### a.飲料水・給湯

測定は以下のとおりとし、測定点は各棟管末水栓それぞれ計7カ所とする。

**表 3 水質検査 (飲料水・給湯)**

検査回数	7日以内に1回	6ヶ月以内に1回	1年以内に1回 (6/1~9/30)	
検査項目	遊離残留塩素	一般細菌 大腸菌 鉛及びその化合物※ 亜硝酸態窒素 硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素 亜鉛及びその化合物※ 鉄及びその化合物※ 銅及びその化合物※ 塩化物イオン 蒸発残留物※ 有機物 pH 味 臭気 色度 濁度		シアン化物イオン 塩素酸 クロロ酢酸 クロロホルム ジクロロ酢酸 ジブロモクロロメタン 臭素酸 総トリハロメタン トリクロロ酢酸 ブロモジクロロメタン ブロモホルム ホルムアルデヒド
備考	※の項目は水質検査の結果、水質基準に適合していた場合は次回水質検査時に省略してよい。			

#### b.雑用水

測定は以下のとおりとし、測定点は各棟管末水栓計7カ所とする。

**表 4 水質検査 (雑用水)**

検査回数	7日以内に1回	2月以内に1回
検査項目	遊離残留塩素 pH 臭気 外観	大腸菌、濁度※
備考	※の項目は散水、修景、清掃用水に適用	

#### c.浴槽水

測定は以下のとおりとし、測定点は宿泊B棟の浴槽4カ所とする。

**表 5 水質検査 (浴槽水)**

検査回数	6月以内に1回	6月以内に1回
検査項目	濁度 過マンガン酸カリウム消費量 大腸菌群	レジオネラ属菌
備考	「公衆浴場における水質基準等に関する指針」による。	

d.冷凍空調機器用水

測定は以下のとおりとし、測定点は各棟の冷却塔11系統とする。

**表 6 水質検査（冷凍空調機器用水）**

検査回数	シーズンイン定期保守終了時に1回
検査項目	レジオネラ属菌

(4)ねずみ・昆虫等の調査及び防除

a.調査（年1回）

標準仕様書第 編5章「執務環境測定等」第5章「ねずみ等の調査及び防除」第2節「ねずみ等の調査」による。調査における粘着トラップの設置数は以下のとおりとする。

宿泊A棟：37箇所、宿泊B棟：16箇所、宿泊C棟：20箇所、宿泊D棟：20箇所、国際交流棟：11箇所、センター棟：22箇所、カルチャー棟：38箇所、スポーツ棟：12箇所、北門倉庫4箇所

b.防除（別契約）

調査の結果、薬品による防除の措置が必要と判明した場合は、施設管理担当者と協議する。防除作業は本業務外とする。

## 第5編 書類作成支援業務

### 第1章 「エネルギーの使用の合理化に関する法律（省エネ法）」に係る書類作成

#### 5.1.1 省エネルギー化計画

##### (1) 省エネ報告会（年2回）

第2編運転監視業務のデータ等を調査分析し、省エネルギー化の余地の発掘・試算を行い、発注者に提案する。

##### (2) 省エネルギー化計画

前(1)号で提案、了承された内容に基づき省エネルギー化計画を策定する。

#### 5.1.2 書類作成支援

##### (1) 中長期計画書・定期報告書（毎年6月）

前項の計画に基づき、省エネ法に基づく様式に従い、中長期計画書及び定期報告書の作成を支援する。

### 第2章 「都民の健康と安全を確保する環境に関する条例」に係る書類作成

#### 5.2.1 書類作成支援

##### (1) 地球温暖化対策計画書（毎年10月）

###### a. 技術管理者

受注者はエネルギー管理士の資格を持つ者を技術管理者として参画させること。

###### b. 書類作成支援

前節省エネルギー化計画に基づき、地球温暖化対策計画書を作成する。

### 第3章 検査対応支援

#### 5.3.1 書類作成支援

##### (1) 行政や第三者機関による検査

###### a. 書類作成支援

事前書類等が求められた場合は作成すること。

###### b. 技術管理者

現地検査の際、有資格者及び知見者は同席させること。

## 第6編 その他

### 第1章 業務の引継ぎ

受注者は、前回業者と打ち合わせの上、各業務についての引継ぎを行い、引継完了後、完了報告書（様式任意）を書面で発注者に報告すること。ただし、継続の場合は不要とする。また、契約の終了が確定したときは、次期受注者と打ち合わせの上、引継ぎを行うこと。

### 第2章 その他

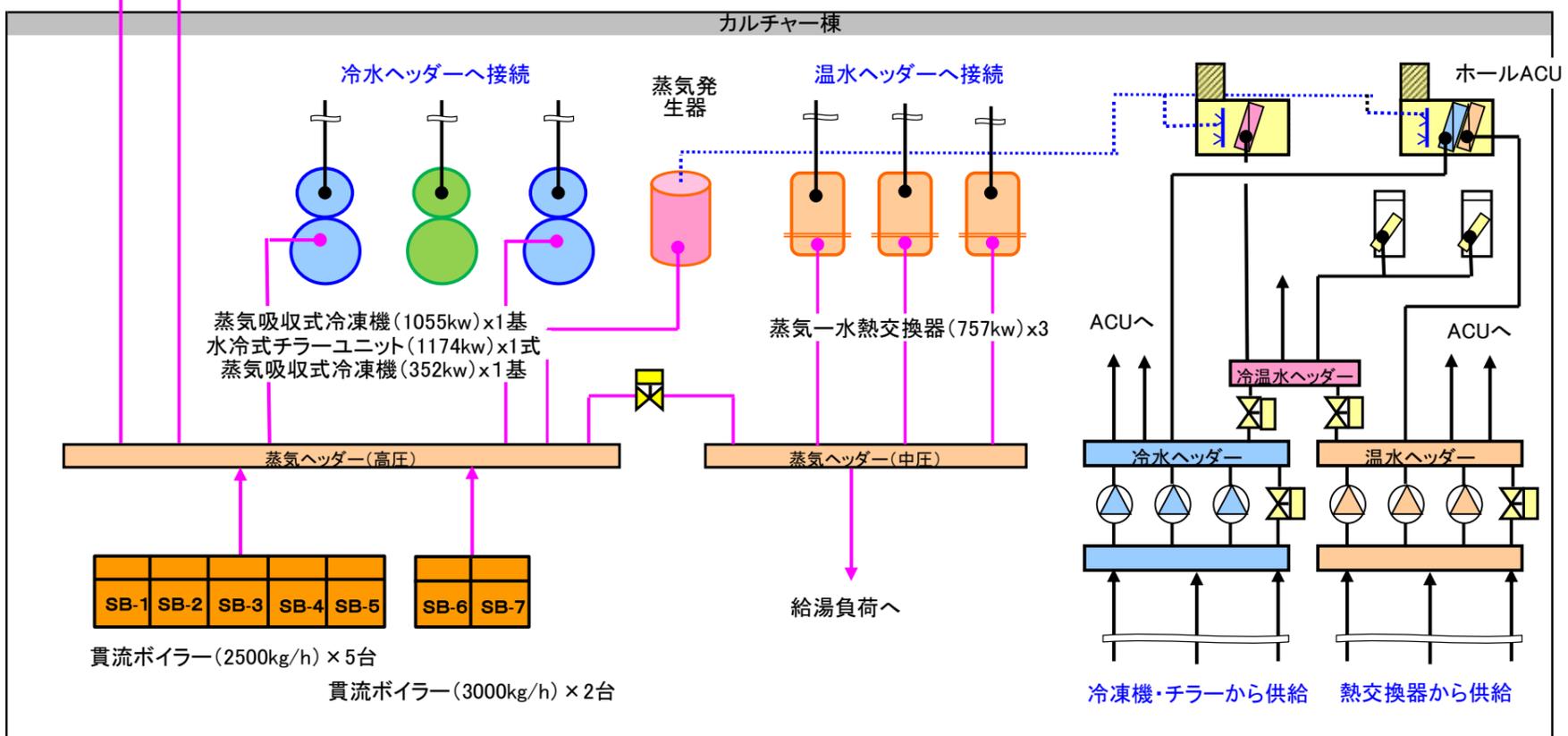
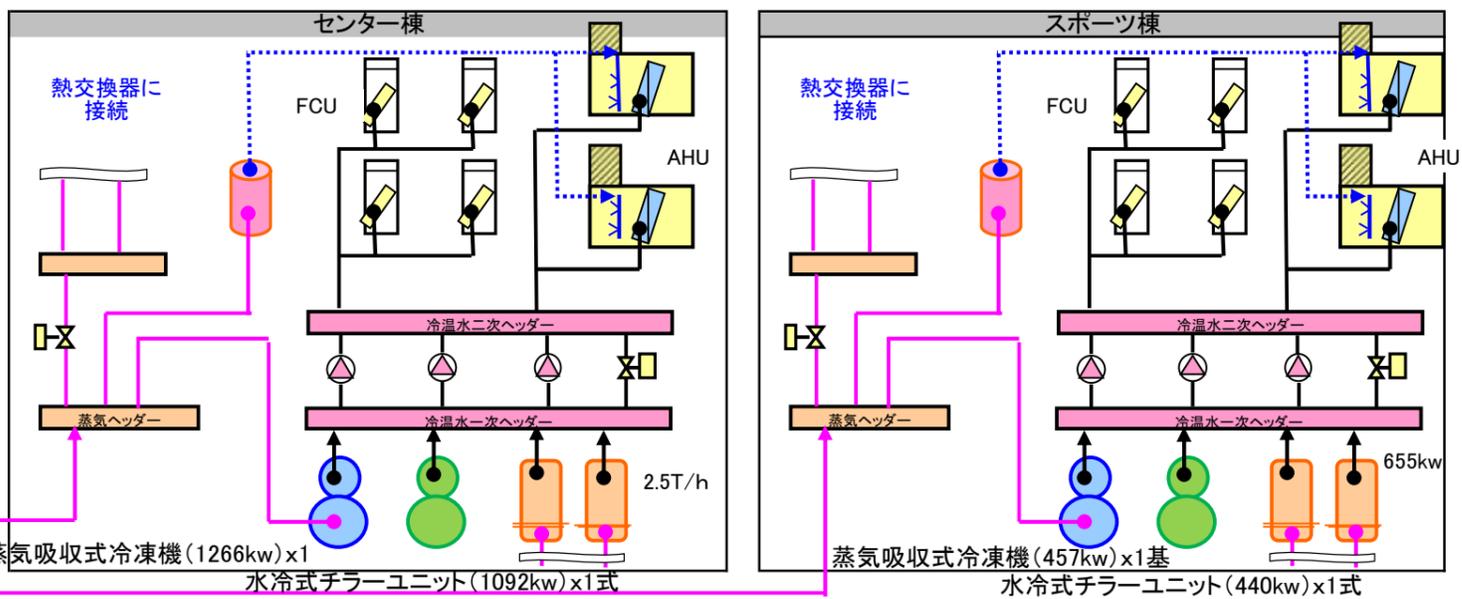
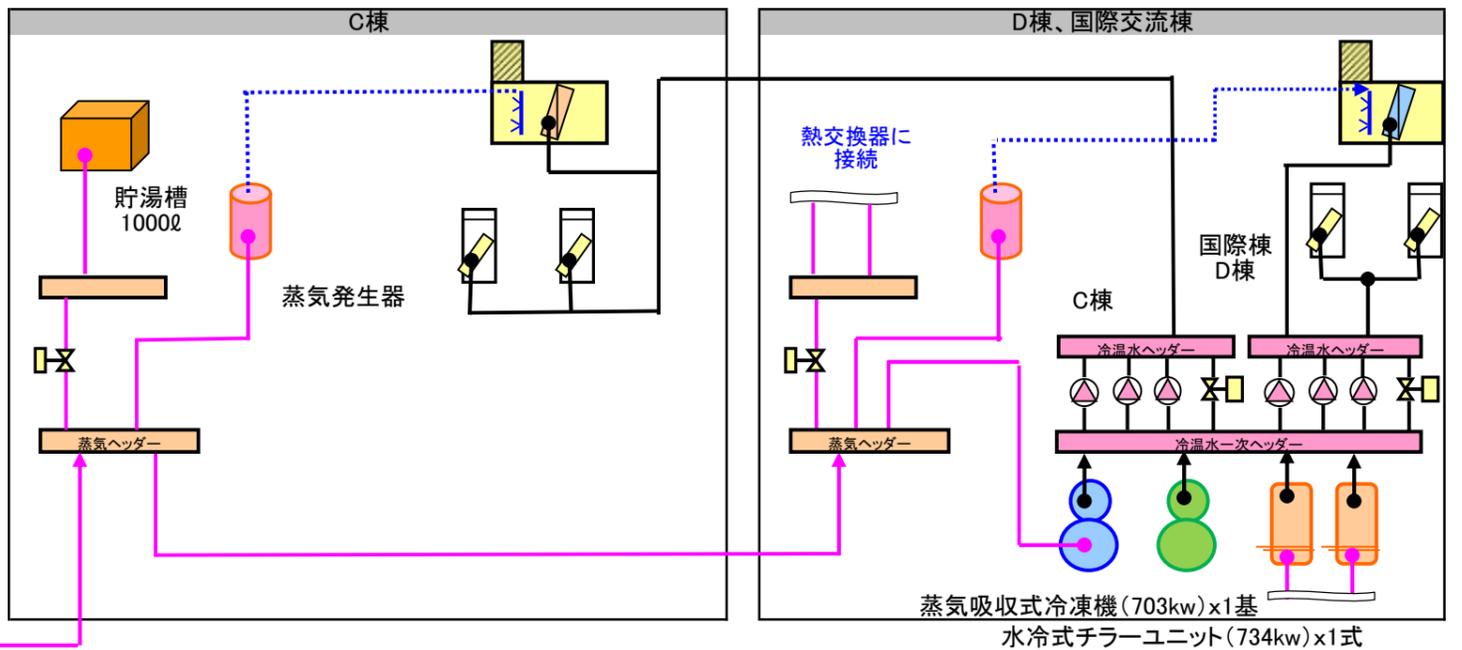
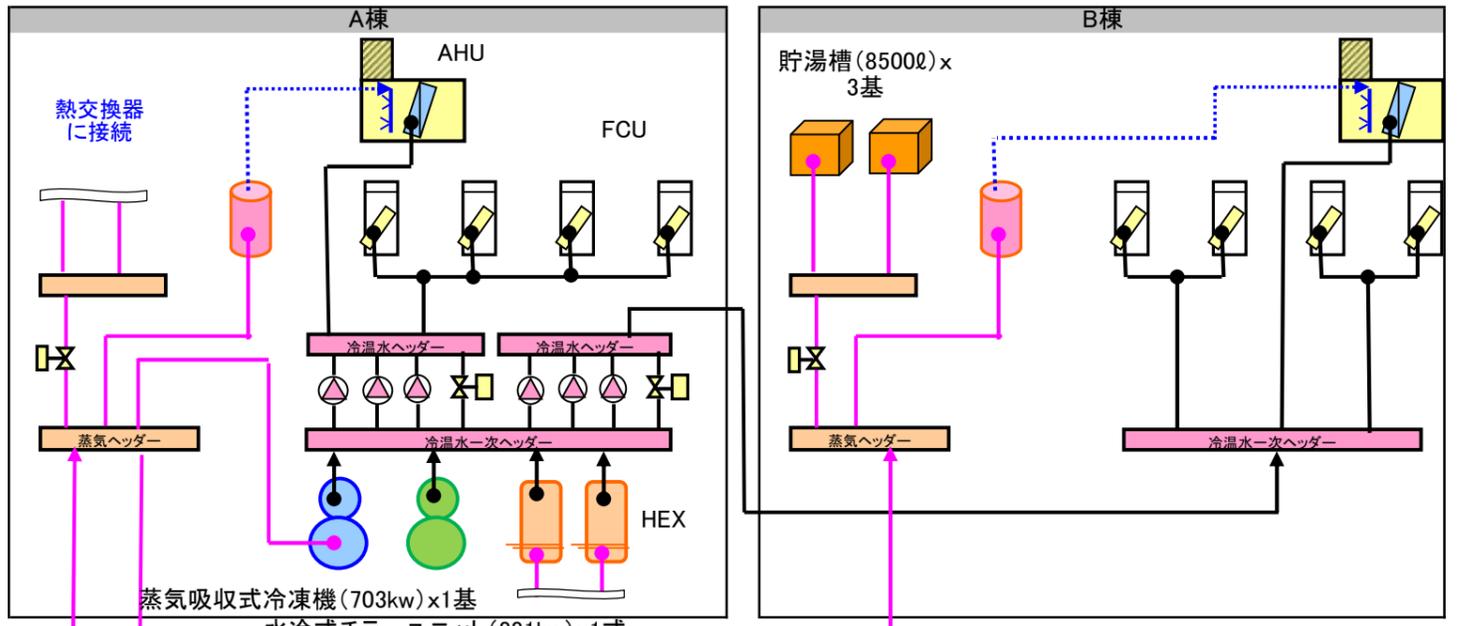
- ・本業務の実施過程で知り得た秘密を他に漏洩してはならない。
- ・この特記仕様書に定めがない事項は施設管理担当者と別途協議すること。

## 別紙一覽

1. 熱源フロー図
2. 機器台帳
3. 受変電設備図面
4. 発電設備図面
5. 直流電源設備一覧表
6. 太陽光発電設備図面
7. 幹線系統図
8. 厨房排水処理系統図
9. 排水再利用処理設備系統図
10. 自動制御システム一式及び点検仕様
11. 厨房排水処理施設保守点検要綱
12. 排水再利用処理設保守点検要綱
13. ルーフドレン清掃対象範囲

## 1. 熱源フロー図

～ (オリセン)空調熱源フロー図 ～



## 2. 機器台帳





A棟

No.	建物	階	部屋	概略仕様	機器番号	数量	冷熱能力	温熱能力	搬送量・処理量	静圧・水頭	その他諸元1	その他諸元2	その他諸元3	その他諸元4	相	電圧	電気容量	系統	外観	Size1	Size2	Size3
165	A棟	7	空調機械室-6	エアフィルター	AF-U-7	1									-	-	-	AHU類込	折込み形フィルター付き	-	-	-
166	A棟	7	空調機械室-6	排気ファン	FE-U-8	1			2400m3/h	18mmAq					3	200	0.4kW	U-7系統WC排気	小型遠心送風機(床置形)	#2	-	-
167	A棟	7	空調機械室-6	排気ファン	FE-U-12	1			1500m3/h	18mmAq					3	200	0.4kW	U-7系統ユニットバス排気	小型遠心送風機(塩ビ製床置形)	#1・1/2	-	-





No.	建物	階/部屋	概略仕様	機器番号	数量	冷熱能力	温熱能力	搬送量・処理量	静圧・水頭	その他諸元1	その他諸元2	その他諸元3	その他諸元4	相	電圧	電気容量	系統	外観	Size1	Size2	Size3
179	B棟	3/B-318	天井扇	FE-6	1			110m3/h					2021年1月設置	1	100	0.0185kw		天井埋込型換気扇			
180	B棟	3/B-319	パッケージ型空調機	EHP-4-3-1	1	2.8kw	3.2kw	450m3/h					2021年1月設置	1	200	0.051kw	EHP-4-3	(室内機)天井カセット型(1方向)			
181	B棟	3/B-319	天井扇	FE-6	1			110m3/h					2021年1月設置	1	100	0.0185kw		天井埋込型換気扇			
182	B棟	3/B-320	パッケージ型空調機	EHP-4-2-1	1	2.8kw	3.2kw	450m3/h					2021年1月設置	1	200	0.051kw	EHP-4-2	(室内機)天井カセット型(1方向)			
183	B棟	3/B-320	天井扇	FE-6	1			110m3/h					2021年1月設置	1	100	0.0185kw		天井埋込型換気扇			
184	B棟	3/B-321	パッケージ型空調機	EHP-4-1-1	1	3.6kw	4.0kw	570m3/h					2021年1月設置	1	200	0.056kw	EHP-4-1	(室内機)天井カセット型(1方向)			
185	B棟	3/B-321	天井扇	FE-6	1			110m3/h					2021年1月設置	1	100	0.0185kw		天井埋込型換気扇			
186	B棟	3/B-322	パッケージ型空調機	EHP-4-2-2	1	3.6kw	4.0kw	570m3/h					2021年1月設置	1	200	0.056kw	EHP-4-2	(室内機)天井カセット型(1方向)			
187	B棟	3/B-322	天井扇	FE-4	1			150m3/h					2021年1月設置	1	100	0.0185kw		天井埋込型換気扇			
188	B棟	3/B-323	パッケージ型空調機	EHP-4-1-1	1	3.6kw	4.0kw	570m3/h					2021年1月設置	1	200	0.056kw	EHP-4-1	(室内機)天井カセット型(1方向)			
189	B棟	3/B-323	天井扇	FE-6	1			110m3/h					2021年1月設置	1	100	0.0185kw		天井埋込型換気扇			
190	B棟	3/B-324	パッケージ型空調機	EHP-4-2-2	1	3.6kw	4.0kw	570m3/h					2021年1月設置	1	200	0.056kw	EHP-4-2	(室内機)天井カセット型(1方向)			
191	B棟	3/B-324	天井扇	FE-4	1			150m3/h					2021年1月設置	1	100	0.0185kw		天井埋込型換気扇			
192	B棟	3/B-325	パッケージ型空調機	EHP-4-1-1	1	3.6kw	4.0kw	570m3/h					2021年1月設置	1	200	0.056kw	EHP-4-1	(室内機)天井カセット型(1方向)			
193	B棟	3/B-325	天井扇	FE-6	1			110m3/h					2021年1月設置	1	100	0.0185kw		天井埋込型換気扇			
194	B棟	3/B-326	パッケージ型空調機	EHP-4-2-2	1	3.6kw	4.0kw	570m3/h					2021年1月設置	1	200	0.056kw	EHP-4-2	(室内機)天井カセット型(1方向)			
195	B棟	3/B-326	天井扇	FE-4	1			150m3/h					2021年1月設置	1	100	0.0185kw		天井埋込型換気扇			
196	B棟	3/B-327	パッケージ型空調機	EHP-4-1-1	1	3.6kw	4.0kw	570m3/h					2021年1月設置	1	200	0.056kw	EHP-4-1	(室内機)天井カセット型(1方向)			
197	B棟	3/B-327	天井扇	FE-6	1			110m3/h					2021年1月設置	1	100	0.0185kw		天井埋込型換気扇			
198	B棟	3/B-328	パッケージ型空調機	EHP-4-2-2	1	3.6kw	4.0kw	570m3/h					2021年1月設置	1	200	0.056kw	EHP-4-2	(室内機)天井カセット型(1方向)			
199	B棟	3/B-328	天井扇	FE-4	1			150m3/h					2021年1月設置	1	100	0.0185kw		天井埋込型換気扇			
200	B棟	R	機械室	空気調和機	ACU-T-1	1	83700Kcal/H	62100Kcal/H	10100m3/h			加湿量67kg/H		3	200	5.5	-	槽形(屋外床置形)	-	-	-
201	B棟	R	機械室	エアフィルター	AF-T-1	1			10100m3/h					-	-	-	-	折込形フィルター付き	-	-	-
202	B棟	R	機械室	排気ファン	FE-T-15	1			1250m3/h	16mmAq				3	200	1.5	-	小型遠心送風機(天井吊形)	-	-	-
203	B棟	R	機械室	排気ファン	FE-T-6	1			6400m3/h	25mmAq				3	200	1.5	WC排気	片吸込遠心送風機(床置形)	#3	-	-
204	B棟	R	機械室	空気調和機	ACU-T-1	1	83700Kcal/H	62100Kcal/H	10100m3/h			加湿量67kg/H		3	200	5.5	-	槽形(屋外床置形)	-	-	-
205	B棟	R	機械室	エアフィルター	AF-T-1	1			10100m3/h					-	-	-	-	ACU-T-1の付属 折込形フィルター付き	-	-	-
206	B棟	R	機械室	給気ファン	FS-T-3	1			1560m3/h	25mmAq				3	200	0.4	1階EV機械室用	小型遠心送風機(天井吊形)	#1・1/2	-	-
207	B棟	R	機械室	排気ファン	FE-T-3	1			1560m3/h	25mmAq				3	200	0.4	1階EV機械室用	片吸込遠心送風機(天井吊形)	#1・1/2	-	-
208	B棟	R	機械室	排気ファン	FE-T-14	1			300m3/h	12mmAq				3	200	0.05	2・3階口ミ置場排気	タクトラン(天井吊形)	-	-	-
209	B棟	R	機械室	排気ファン	FE-T-16	1			1250m3/h	25mmAq				3	200	0.32	洗面所・湯沸室排気	小型遠心送風機(天井吊形)	-	-	-
210	B棟	R	機械室	脱気装置	-	1			16l/min	3mH2O				-	-	-	-	一般給湯用	ラインポンプ	20φ	-
211	B棟	R	屋上	ルーフエアコン	ACR-T-1-1	1								1	100	0.75	通信機室用屋外機	-	-	-	
212	B棟	R	屋上	ルーフエアコン	ACR-T-1-2	1					加湿量67kg/H			1	100	0.019	通信機室用室内機	送風機	-	-	-
213	B棟	R	屋上	エアフィルター	AF-T-1	1			10100m3/h					-	-	-	-	ACR-T-1-2の付属 折込形フィルター付き	-	-	-
214	B棟	R	屋上	排気ファン	FE-T-15	1			1250m3/h	16mmAq				3	200	1.5	-	小型遠心送風機(天井吊形)	-	-	-
215	B棟	R	屋上	排気ファン	FE-T-6	1			6400m3/h	25mmAq				3	200	1.5	WC排気	片吸込遠心送風機(床置形)	#3	-	-
216	B棟	R	屋上	空気調和機	ACU-T-1	1	83700Kcal/H	62100Kcal/H	10100m3/h			加湿量67kg/H		3	200	5.5	-	槽形(屋外床置形)送風機	-	-	-
217	B棟	R	屋上	エアフィルター	AF-T-1	1			10100m3/h					-	-	-	-	ACU-T-1の付属 折込形フィルター付き	-	-	-
218	B棟	R	屋上	給気ファン	FS-T-3	1			1560m3/h	25mmAq				3	200	0.4	1階EV機械室用	小型遠心送風機(天井吊形)	#1・1/2	-	-
219	B棟	R	屋上	排気ファン	FE-T-3	1			1560m3/h	25mmAq				3	200	0.4	1階EV機械室用	片吸込遠心送風機(天井吊形)	#1・1/2	-	-
220	B棟	R	屋上	排気ファン	FE-T-14	1			300m3/h	12mmAq				3	200	0.05	2・3階口ミ置場排気	タクトラン(天井吊形)	-	-	-
221	B棟	R	屋上	排気ファン	FE-T-16	1			1250m3/h	25mmAq				3	200	0.32	洗面所・湯沸室排気	小型遠心送風機(天井吊形)	-	-	-
222	B棟	R	屋上	ルーフエアコン	ACR-T-1-1	1								1	100	0.75	通信機室用屋外機	-	-	-	
223	B棟	R	屋上	ルーフエアコン	ACR-T-1-2	1								1	100	0.019	通信機室用室内機	送風機	-	-	-















カルチャー棟

No	建物	階	部屋	概略仕様	機器番号	数量	冷熱能力	温熱能力	搬送量・ 処理量	静圧・水 頭	その他諸元 1	その他諸元 2	その他諸 元3	その他諸 元4	相	電圧	電気容量	系統	外観	Size1	Size2	Size3
308	カルチャー棟	3F	音響機械室3-2	ハッケーシ 形空調機	ACR-H-16-6	1																
309	カルチャー棟	3F	電気室3-1	ハッケーシ 形空調機	ACR-H-20	1																
310	カルチャー棟	3F	電気室3-1 外	ハッケーシ 形空調機	ACR-H-20	1																
311	カルチャー棟	3F	空調機械室3-1外	ハッケーシ 形空調機	ACR-H-12	1																
312	カルチャー棟	3F	3-1屋外機置場	ハッケーシ 形空調機	ACR-H-14	1																
313	カルチャー棟	3F	電気室3-1 外	ハッケーシ 形空調機	ACR-H-19	1																
314	カルチャー棟	3F	3-1屋外機置場	ハッケーシ 形空調機	ACR-H-26	1																
315	カルチャー棟	3F	小練習室31	給排気ファン	F-3	2			450m3/h	150Pa					1	100	0.096kW × 2		消音形ストレートシロコファン	200A		
316	カルチャー棟	3F	小練習室32	給排気ファン	F-2	2			420m3/h	150Pa					1	100	0.096kW × 2		消音形ストレートシロコファン	200A		
317	カルチャー棟	3F	小練習室33	給排気ファン	F-4	2			390m3/h	150Pa					1	100	0.096kW × 2		消音形ストレートシロコファン	200A		
318	カルチャー棟	3F	小練習室34	給排気ファン	F-2	2			420m3/h	150Pa					1	100	0.096kW × 2		消音形ストレートシロコファン	200A		
319	カルチャー棟	3F	小練習室35	給排気ファン	F-3	2			450m3/h	150Pa					1	100	0.096kW × 2		消音形ストレートシロコファン	200A		
320	カルチャー棟	3F	小練習室36	給排気ファン	F-1	2			360m3/h	150Pa					1	100	0.073kW × 2		消音形ストレートシロコファン	200A		
321	カルチャー棟	3F	小練習室37	給排気ファン	F-4	2			390m3/h	150Pa					1	100	0.096kW × 2		消音形ストレートシロコファン	200A		
322	カルチャー棟	3F	小練習室38	給排気ファン	F-3	2			450m3/h	150Pa					1	100	0.096kW × 2		消音形ストレートシロコファン	200A		
323	カルチャー棟	3F	小練習室39	給排気ファン	F-1	2			360m3/h	150Pa					1	100	0.073kW × 2		消音形ストレートシロコファン	200A		
324	カルチャー棟	3F	屋外機置場	冷却塔	GT-H-1	1	1850KW								3	200	5.5KW × 2	-	角型クロスロー(二重効用吸収式用)低騒音	-		
325	カルチャー棟	3F	屋外機置場	冷却塔	GT-H-2	1	1431KW								3	200	3.7KW × 2	-	角型クロスロー(水冷式チラー用)低騒音型			
326	カルチャー棟	4F	中練習室系統	空気調和機	ACH-H-22	1																
327	カルチャー棟	4F	4-2屋外機置場	ハッケーシ 形空調機	ACR-H-16	1																
328	カルチャー棟	4F	中練習室 ピアノ庫	ハッケーシ 形空調機	ACR-H-23	3																
329	カルチャー棟	4F	4-2屋外機置場	ハッケーシ 形空調機	ACR-H-23	1																
330	カルチャー棟	4F	4-2屋外機置場	ハッケーシ 形空調機	ACR-H-13	1																
331	カルチャー棟	4F	4-2屋外機置場	ハッケーシ 形空調機	ACR-H-25	1																
332	カルチャー棟	4F	4-2屋外機置場	ハッケーシ 形空調機	ACP-H-1	1																
333	カルチャー棟	4F	4-2屋外機置場	ハッケーシ 形空調機	ACP-H-2	1																
334	カルチャー棟	4F	小練習室41	給排気ファン	F-6	2			1020m3/h	150Pa					1	100	0.205kW × 2		消音形ストレートシロコファン	200A		
335	カルチャー棟	4F	小練習室42	給排気ファン	F-7	2			1110m3/h	150Pa					1	100	0.260kW × 2		消音形ストレートシロコファン	200A		
336	カルチャー棟	4F	小練習室43	給排気ファン	F-8	2			1750m3/h	150Pa					1	100	0.096kW × 2		消音形ストレートシロコファン	200A		











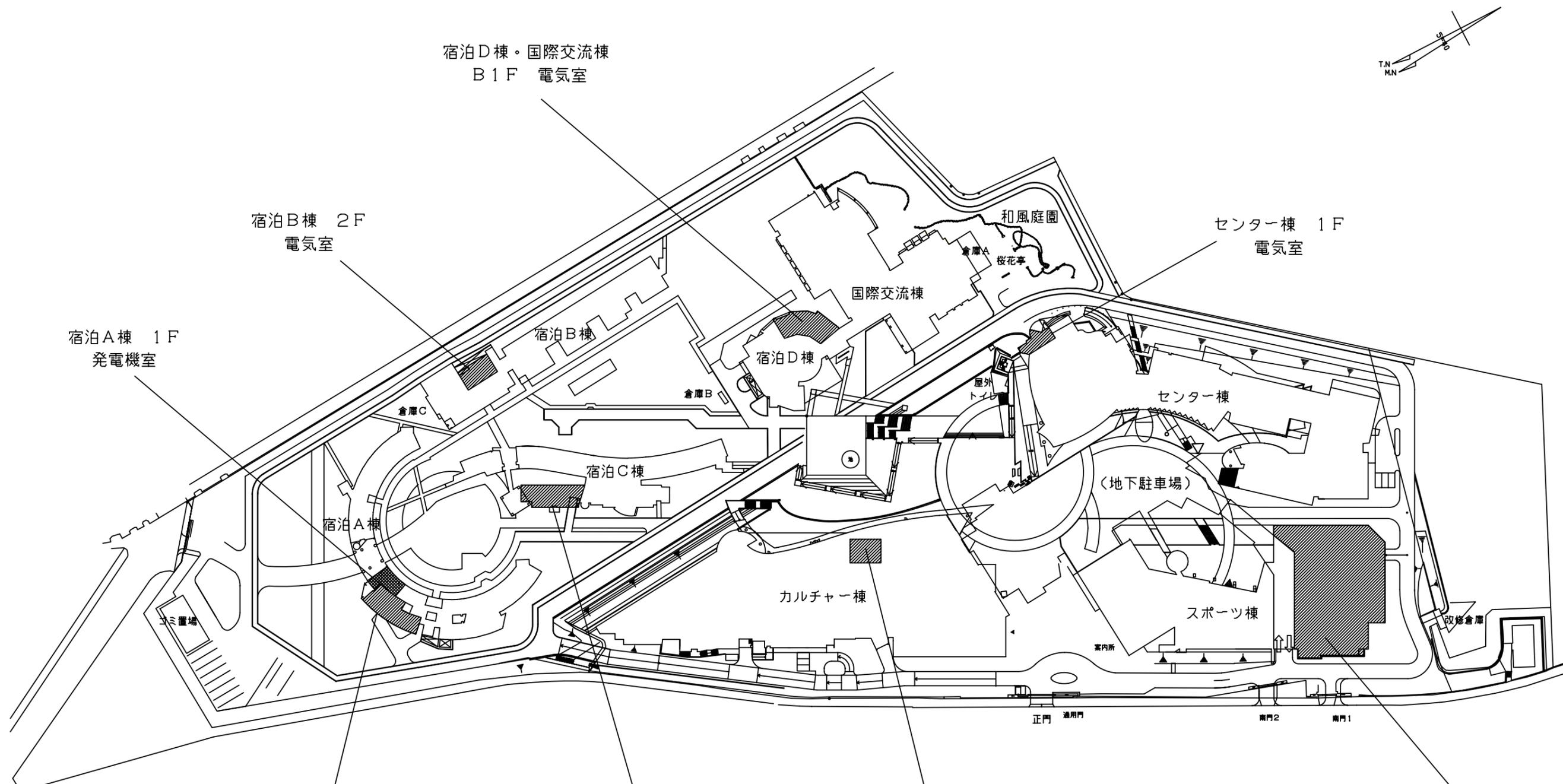




地下駐車場・守衛所

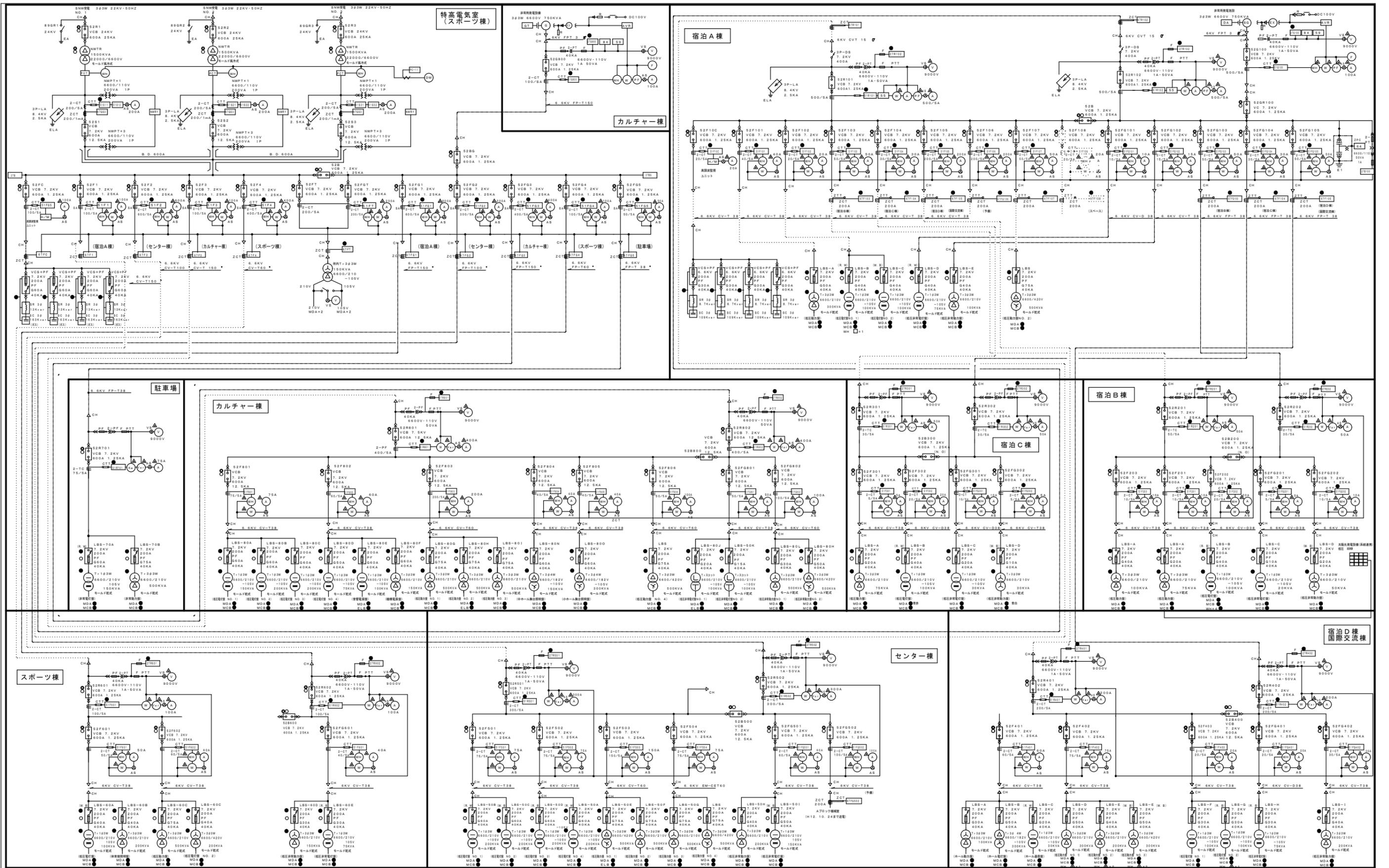
No.	建物	階	部屋	概略仕様	機器番号	数量	冷熱能力	温熱能力	搬送量・処理量	静圧・水頭	その他諸				相	電圧	電容量	系統	外觀	Size1	Size2	Size3	
											元1	元2	元3	元4									
1	地下駐車場	B2	ファンルームP-1	給気ファン	FS-P-2	1			6000m <sup>3</sup> /h	71mmH <sub>2</sub> O					3	200	30kW	B2F駐車場	面吸込遠心送風機天吊型	#51/2	-	-	
2	地下駐車場	B2	ファンルームP-2	排気ファン	FE-P-1	2			6000m <sup>3</sup> /h	62mmH <sub>2</sub> O					3	200	30kW	B2F駐車場	面吸込遠心送風機床置型	#51/2	-	-	
3	地下駐車場	B2	ファンルームP-3	給気ファン	FS-P-1	1			6000m <sup>3</sup> /h	80mmH <sub>2</sub> O					3	200	30kW	B2F駐車場	面吸込遠心送風機天吊型	#51/2	-	-	
4	地下駐車場	B2	電気室	給気ファン	FS-P-3	1			3500m <sup>3</sup> /h	45mmH <sub>2</sub> O					3	200	2.2kW	-	面吸込遠心送風機床置型	#2	-	-	
5	地下駐車場	B2	電気室	エアフィルター	AFU-P-1	1					フィルタ諸元	500□	25t	2枚	-	-		-	FS-P-3用	ハル型再生式(プレフィルター)	-	-	-
6	地下駐車場	B2	電気室	排気ファン	FE-P-2	1			3500m <sup>3</sup> /h	45mmH <sub>2</sub> O					3	200	1.5kW	-	面吸込遠心送風機床置型	#2	-	-	
7	地下駐車場	B2	消火ホップ室	給気ファン	FS-P-4	1			1050m <sup>3</sup> /h	45mmH <sub>2</sub> O					3	200	0.75kW	-	面吸込遠心送風機床置型	#11/4	-	-	
8	地下駐車場	B2	消火ホップ室	排気ファン	FS-P-3	1			1050m <sup>3</sup> /h	45mmH <sub>2</sub> O					3	200	0.4kW	-	面吸込遠心送風機床置型	#11/4	-	-	
9	地下駐車場	B2	EV機械室	給気ファン	FS-P-5	1			500m <sup>3</sup> /h	45mmH <sub>2</sub> O					3	200	0.75kW	-	遠心送風機天吊型	#1	-	-	
10	地下駐車場	B2	EV機械室	エアフィルター	AFU-P-2	1					フィルタ諸元	500□	25t	1枚	-	-		-	FS-P-5用	ハル型再生式(プレフィルター)	-	-	-
11	地下駐車場	B2	EV機械室	排気ファン	FS-P-4	1			500m <sup>3</sup> /h	45mmH <sub>2</sub> O					3	200	0.75kW	-	遠心送風機天吊型	#1	-	-	
12	地下駐車場	B2	駐車場	還気ファン	FA-P-1	9			870m <sup>3</sup> /h						1	200	110kW	-	遠心送風機天吊型/スル1本型	-	-	-	
13	地下駐車場	B2	駐車場	還気ファン	FA-P-1	16			870m <sup>3</sup> /h						1	200	110kW	-	遠心送風機天吊型/スル2本型	-	-	-	
14	地下駐車場	B1	ファンルームP-1	給気ファン	FS-P-7	1			8000m <sup>3</sup> /h	71mmH <sub>2</sub> O					3	200	37kW	B1F駐車場	面吸込遠心送風機天吊型	#6	-	-	
15	地下駐車場	B1	ファンルームP-2	排気ファン	FE-P-5	1			8000m <sup>3</sup> /h	62mmH <sub>2</sub> O					3	200	30kW	B1F駐車場	面吸込遠心送風機床置型	#7	-	-	
16	地下駐車場	B1	ファンルームP-2	排気ファン	FE-P-6	1			180m <sup>3</sup> /h	30mmH <sub>2</sub> O					3	200	30kW	B1F便所	斜流送風機床置型	#21/2	-	-	
17	地下駐車場	B1	ファンルームP-2	排気ファン	FS-P-7	1			150m <sup>3</sup> /h	25mmH <sub>2</sub> O					3	200	0.4kW	B1Fごみ処理室P-1	遠心送風機天吊型	#11/4	-	-	
18	地下駐車場	B1	ファンルームP-2	排気ファン	FS-P-8	1			150m <sup>3</sup> /h	25mmH <sub>2</sub> O					3	200	0.4kW	B1Fごみ処理室P-1	遠心送風機天吊型	#11/4	-	-	
19	地下駐車場	B1	ファンルームP-3	給気ファン	FS-P-6	1			8000m <sup>3</sup> /h	71mmH <sub>2</sub> O					3	200	37kW	B1F駐車場	面吸込遠心送風機天吊型	#6	-	-	
20	地下駐車場	B2	電気室	冷導EHP	ACP-P-1	1	10.0kW		150m <sup>3</sup> /h						3	200	3.7kW	-	天吊形	-	-	-	
21	地下駐車場	B1	ホップ室	排気ファン	V-P-1	1			400m <sup>3</sup> /h						1	200	0.031kW	-	有圧扇	-	-	-	
22	地下駐車場	B1	排煙機械室P-1	排煙ファン	FSM-P-2	1			6600m <sup>3</sup> /h	85mmH <sub>2</sub> O					3	200	37kW	B1F、B2F駐車場	片吸込遠心送風機床置型	#7	-	-	
23	地下駐車場	B1	排煙機械室P-2	排煙ファン	FSM-P-2	1			6600m <sup>3</sup> /h	105mmH <sub>2</sub> O					3	200	45kW	B1F、B2F駐車場	片吸込遠心送風機床置型	#7	-	-	
24	地下駐車場	B2	駐車場	還気ファン	FA-P-3	9			870m <sup>3</sup> /h						1	200	110kW	-	遠心送風機天吊型/スル1本型	-	-	-	
25	地下駐車場	B2	駐車場	還気ファン	FA-P-4	15			870m <sup>3</sup> /h						1	200	110kW	-	遠心送風機天吊型/スル2本型	-	-	-	
26	防災センター	1	防災センター従業員入口	EHP(マルチ)	ACR-I-1	5	5.6kW		720m <sup>3</sup> /h						3	200	3.7kW	防災センター4台従業員入口1台	室内機天井カセット型	-	-	-	
27	防災センター	1	防災センター従業員入口	全熱交換器	HEU-I-1	2			720m <sup>3</sup> /h	10mmH <sub>2</sub> O	自然蒸発気化式0.6l/h				1	100	0.066kW	防災センター	天井カセット型	-	-	-	
28	防災センター	1	防災センター従業員入口	排気ファン	V-P-1	1			100m <sup>3</sup> /h						1	200	0.034kW	防災センター	-	-	-	-	
29	防災センター	1	AVコーナー	EHP(マルチ)	ACR-I-2	2	10kW		840m <sup>3</sup> /h						3	200	3.75kW	-	天埋形	-	-	-	
30	防災センター	1	AVコーナー	全熱交換器	HEU-I-2	1			150m <sup>3</sup> /h	5mmH <sub>2</sub> O	自然蒸発気化式0.6l/h				1	100	0.075kW	-	天埋タイプ	-	-	-	
31	防災センター	1	守衛室	EHP(マルチ)	ACR-I-3	2	4.5kW		720m <sup>3</sup> /h						1	200	0.12kW	-	天埋形	-	-	-	
32	防災センター	1	守衛室	全熱交換器	HEU-I-1	1			150m <sup>3</sup> /h	5mmH <sub>2</sub> O	自然蒸発気化式0.6l/h				1	100	0.075kW	-	天埋タイプ	-	-	-	
33	防災センター	1	仮眠室	ルームエアコン	ACR-I-4	1	3.6kW		720m <sup>3</sup> /h						1	200	1.59kW	-	天井	-	-	-	
34	防災センター	1	仮眠室	全熱交換器	HEU-I-4	1			100m <sup>3</sup> /h	3mmH <sub>2</sub> O					1	100	0.035kW	-	埋込型熱交換器形換気扇	-	-	-	
35	防災センター	1	倉庫	排気ファン	FE-I-1	1			200m <sup>3</sup> /h	15mmH <sub>2</sub> O					1	100	0.2kW	-	遠心送風機天吊型	#11/2	-	-	
36	防災センター	1	男子更衣室	排気ファン	FE-I-2	1			200m <sup>3</sup> /h	15mmH <sub>2</sub> O					1	100	0.2kW	-	遠心送風機天吊型	#11/4	-	-	
37	防災センター	1	男子便所	排気ファン	FE-I-3	1			250m <sup>3</sup> /h	15mmH <sub>2</sub> O					1	100	0.35kW	-	斜流送風機天吊型	#3	-	-	
38	防災センター	1	湯沸室	排気ファン	FE-I-4	1			200m <sup>3</sup> /h	15mmH <sub>2</sub> O					1	100	0.2kW	-	遠心送風機天吊型	#11/4	-	-	
39	防災センター	1	シャワールーム	排気ファン	V-I-1	1			100m <sup>3</sup> /h	11mmH <sub>2</sub> O					1	100	0.034kW	ユニットバス	天井	-	-	-	
40	防災センター	1	女子更衣室	排気ファン	V-I-2	1			100m <sup>3</sup> /h	11mmH <sub>2</sub> O					1	100	0.034kW	-	天井	-	-	-	
41	防災センター	1	女子便所	排気ファン	V-I-3	1			100m <sup>3</sup> /h	11mmH <sub>2</sub> O					1	100	0.034kW	-	天井	-	-	-	
42	地下駐車場・守衛所		雑排水槽	排水ポンプ	PD-P-1	2			300L/min	11mAq					3	200	1.5kW	-	水中ポンプ	50φ	-	-	
43	地下駐車場・守衛所		雑排水槽	排水ポンプ	PD-P-2	2			300L/min	12mAq					3	200	1.5kW	-	水中ポンプ	50φ	-	-	
44	地下駐車場・守衛所		雑排水槽	排水ポンプ	PD-P-3	2			300L/min	13mAq					3	200	1.5kW	-	水中ポンプ	50φ	-	-	
45	地下駐車場・守衛所		雑排水槽	排水ポンプ	PD-P-4	2			300L/min	14mAq					3	200	2.2kW	-	水中ポンプ	50φ	-	-	
46	地下駐車場・守衛所		雨水貯留槽	排水ポンプ	PD-P-5	4			300L/min	11mAq					3	200	1.5kW	-	水中ポンプ	50φ	-	-	
47	地下駐車場・守衛所		雨水貯留槽	排水ポンプ	PD-P-6	4			300L/min	13mAq					3	200	1.5kW	-	水中ポンプ	50φ	-	-	
48	地下駐車場・守衛所		湧水槽	排水ポンプ	PD-P-7	2			300L/min	12mAq					3	200	1.5kW	-	水中ポンプ	50φ	-	-	
49	地下駐車場・守衛所		湧水槽	排水ポンプ	PD-P-8	2			300L/min	15mAq					3	200	1.5kW	-	水中ポンプ	50φ	-	-	
50	地下駐車場・守衛所		湧水槽	排水ポンプ	PD-P-9	2			300L/min	13mAq					3	200	1.5kW	-	水中ポンプ	50φ	-	-	
51	地下駐車場・守衛所		湧水槽	排水ポンプ	PD-P-10	2			300L/min	14mAq					3	200	2.2kW	-	水中ポンプ	50φ	-	-	
52	地下駐車場・守衛所		チャンパ室内	排水ポンプ	PD-P-11	2			300L/min	11mAq					3	200	0.75kW	-	水中ポンプ	50φ	-	-	
53	地下駐車場・守衛所		チャンパ室内	排水ポンプ	PD-P-12	2			300L/min	11mAq					3	200	0.75kW	-	水中ポンプ	50φ	-	-	
54	地下駐車場・守衛所		EV機械室共同溝	排水ポンプ	PD-P-13	4			300L/min	3mAq					3	200	0.4kW	-	水中ポンプ	50φ	-	-	
55	地下駐車場・守衛所		守衛室下部	排水ポンプ	PD-P-14	4			300L/min	3mAq					3	200	0.4kW	-	水中ポンプ	50φ	-	-	

### 3. 受変電設備図面



国立オリンピック記念青少年総合センター  
全体配置図  
(NON SCALE)

独立行政法人国立青少年教育振興機構 財務部施設管理課		
業務名称	独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター 建物等設備保全業務	年度



国立オリンピック記念青少年総合センター 受変電設備 全体系統図

●	中央監視盤
○	操作
○	保護継電器
○	変圧器
△	計測・計量



#### 4. 発電設備図面

自家発電設備特記仕様書

(1) 一般事項

1. 用途 非常用予備電源(長時間形)
2. 設置場所 屋内定置式
3. 使用条件 周囲温度 5~40℃  
湿度 相対湿度最高 80%  
高度 300m 以下
4. 運転方式 自動起動, 手動起動
5. 騒音 排気消音器出口1mにて 75dB(A)

(2) 機器仕様

1. 発電機

定格出力 750 kVA  
電圧 6600 V  
周波数 50 Hz  
回路方式 3相3線式  
力率 0.8 (遅れ)  
極数 4極  
総巻数 B種以上

2. 発電機盤

面数 1面  
形式 屋内閉鎖自立形  
構造 前面ドア, 後面ドア  
収納装置 防塵装置, 保護装置, 計測装置, 主回路閉鎖装置, L+断器 VCB 7.2kV 600A 12.5kA

3. 自動始動盤

面数 1面  
形式 屋内閉鎖自立形  
構造 前面ドア, 後面ドア  
収納装置 自動始動装置, 補機制御回路

4. ディーゼル機関

出力 900 PS  
回転数 1500 rpm  
始動方式 空気式  
燃料 A重油  
冷却方式 地下水槽循環方式  
送給方式 排気ガスタービン送給式 (空気冷却器付)

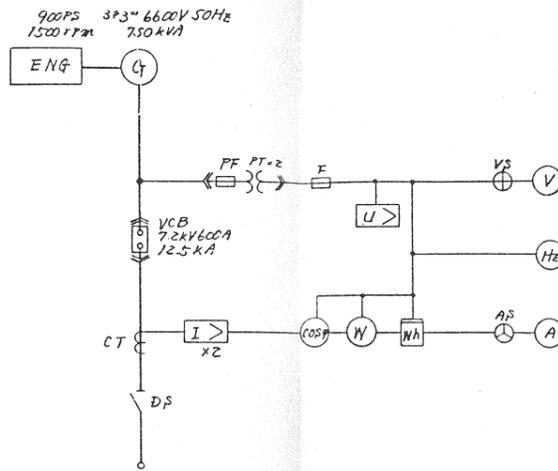
5. 補機付属装置

- (1) 地下貯油槽 TO-1.9
- (2) 燃料小出槽 TDSG-500
- (3) 送油ポンプ 電動 0.75kW, 手動ウイングポンプ
- (4) 減圧水槽 TEQ-1000
- (5) 冷却水ポンプ 電動 22 kW
- (6) 排気消音器 出口1mにて 75dB(A)以下
- (7) 空気槽 300ℓ×2本
- (8) 空気圧縮機 3.7kW

(3) 工事区分

1. 建築工事

- (1) 発電機室築造及び建屋に関する一切の工事
- (2) 発電機及び補機基礎 (含仕上工事)
- (3) 発電機室内配管配線ピット (含蓋)
- (4) 防油堤 (含防水ワール)
- (5) Iビーム取付工事



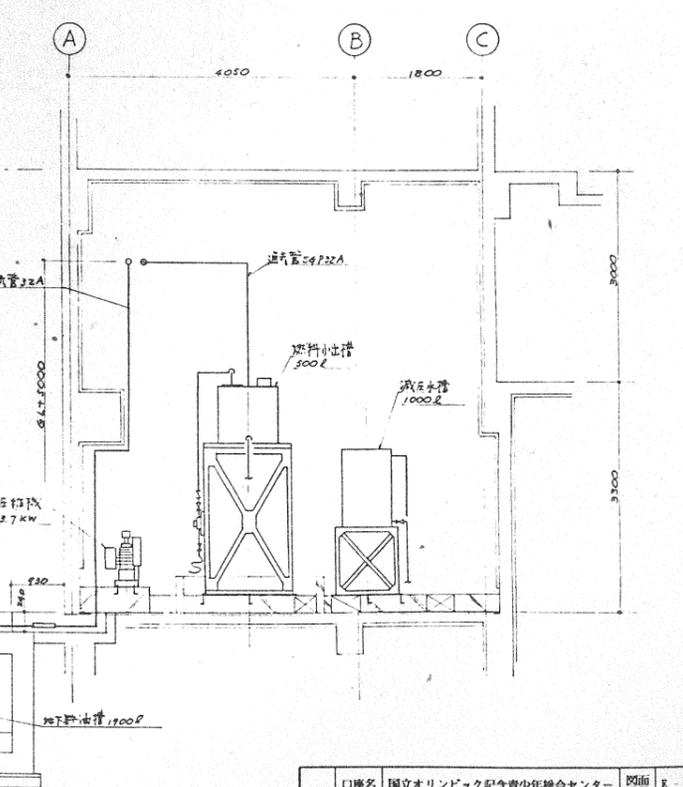
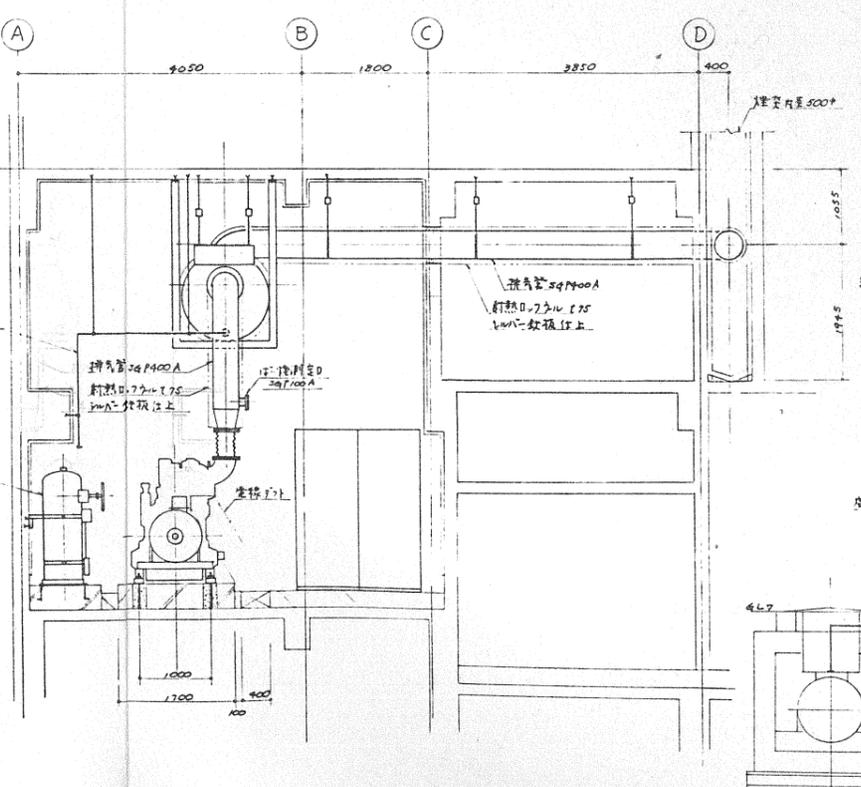
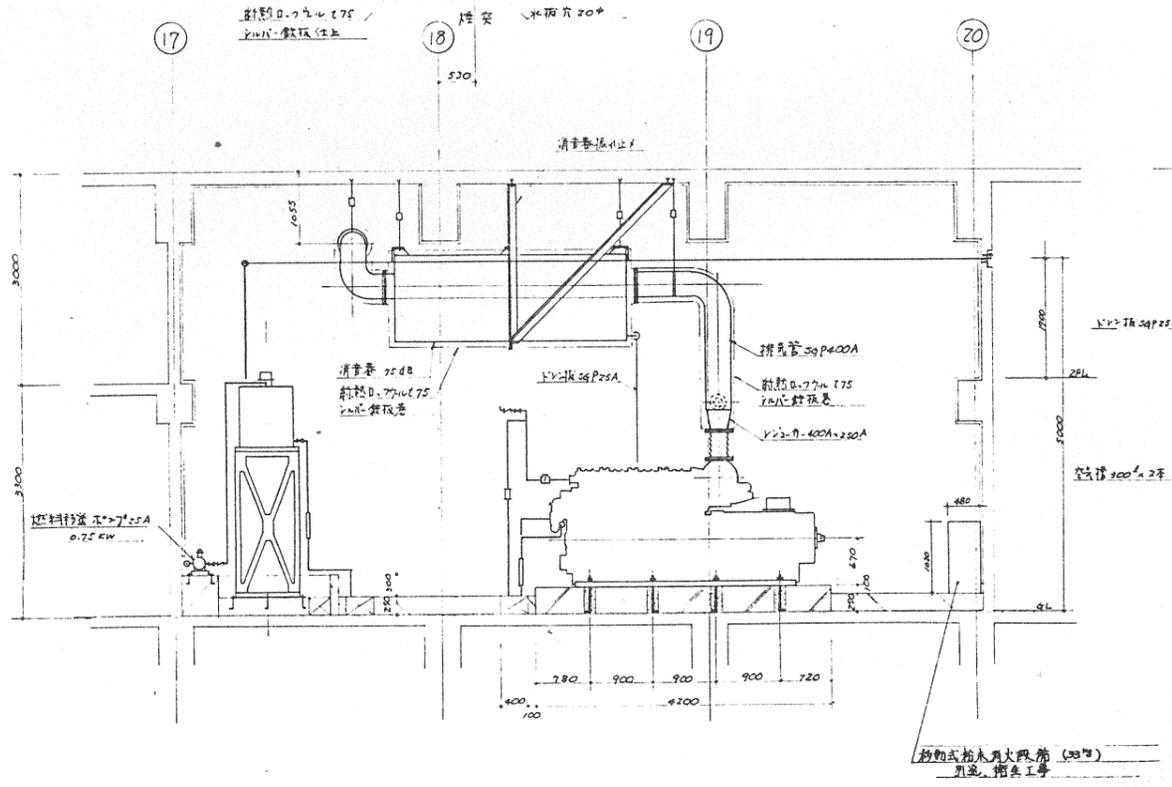
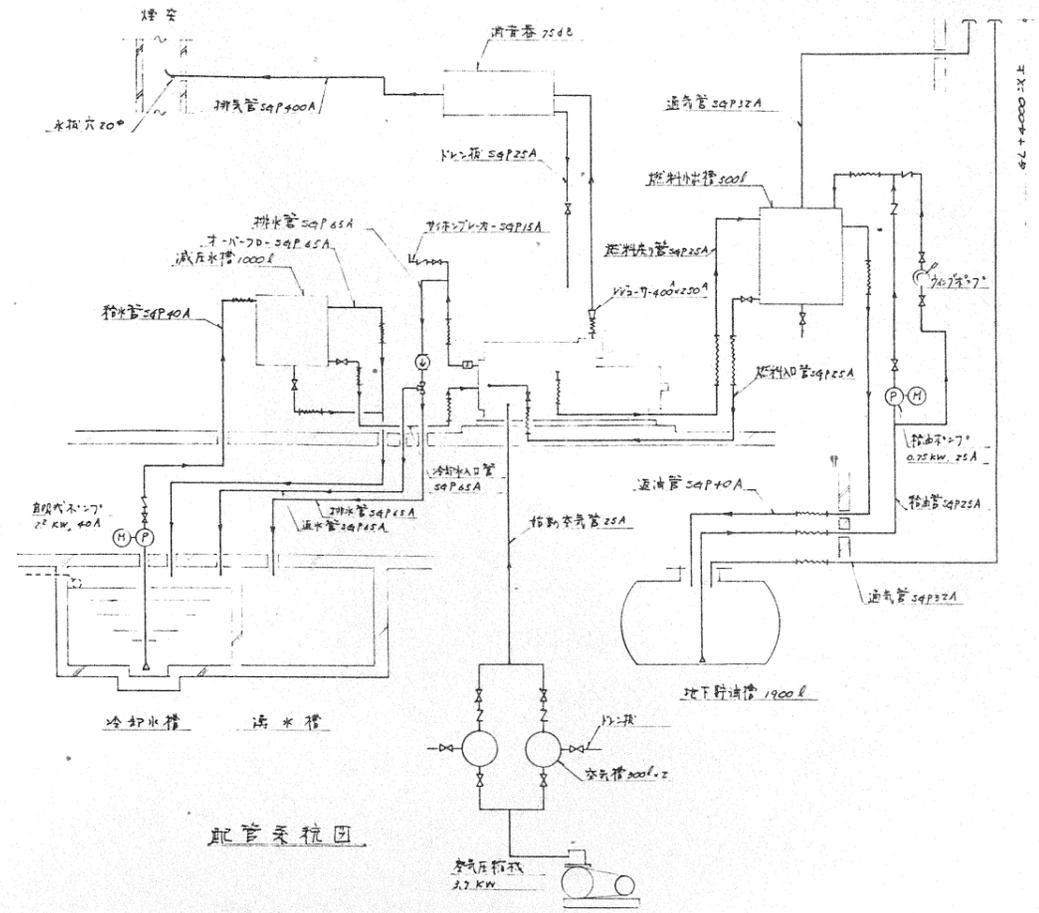
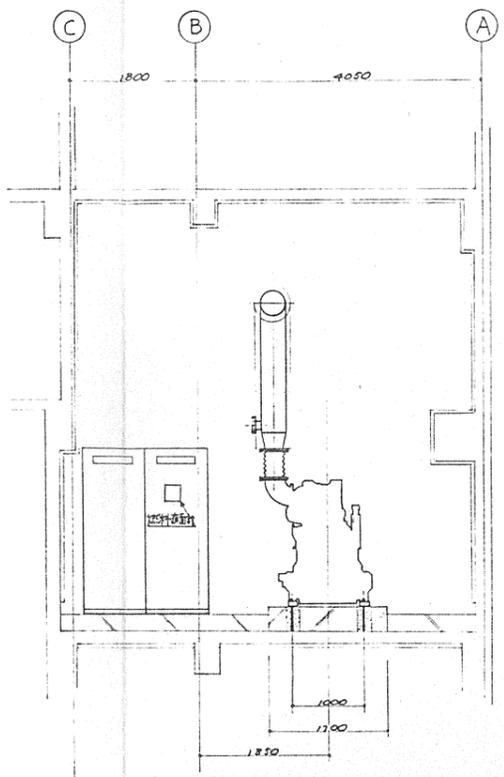
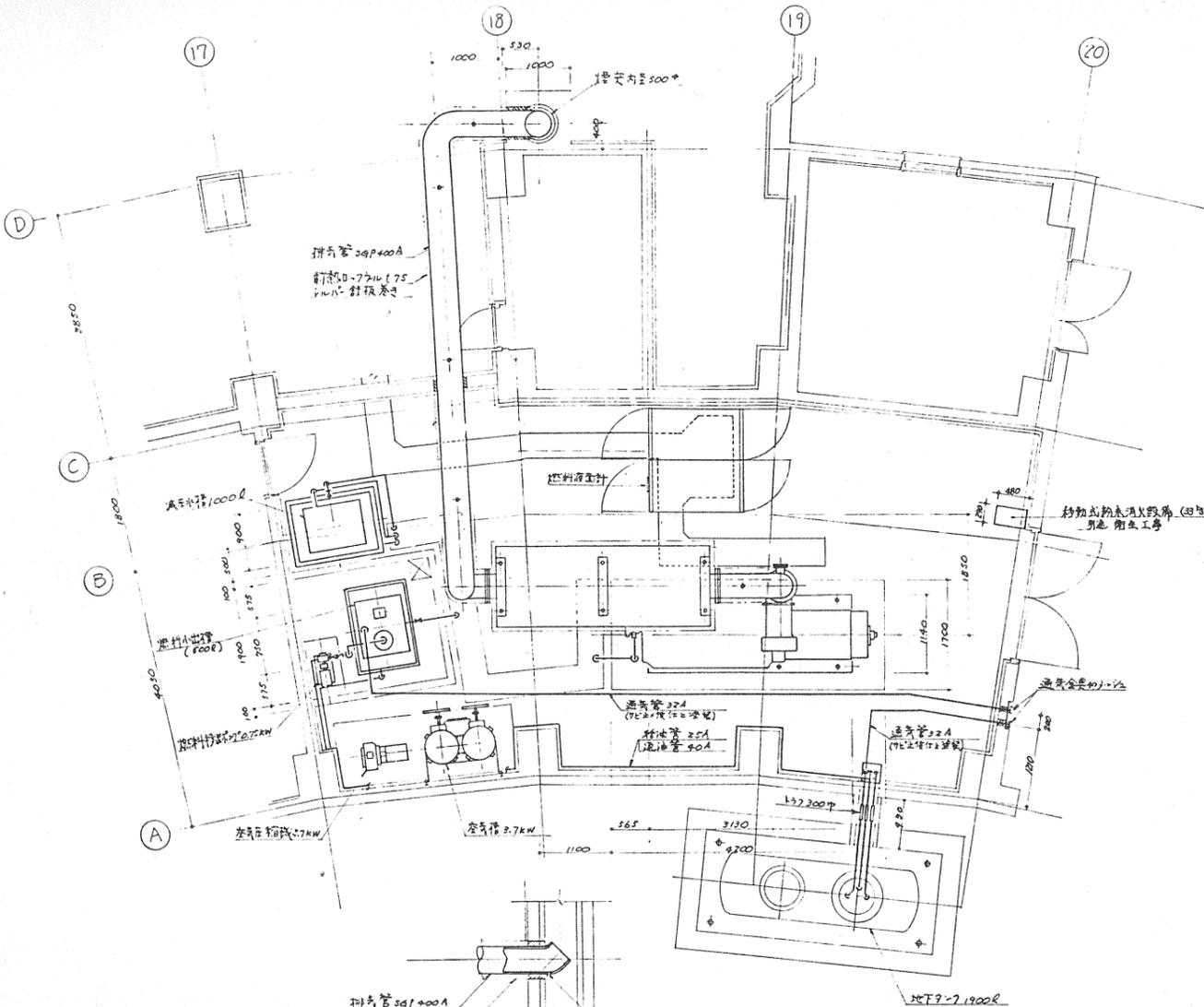
単線結線図

保護装置

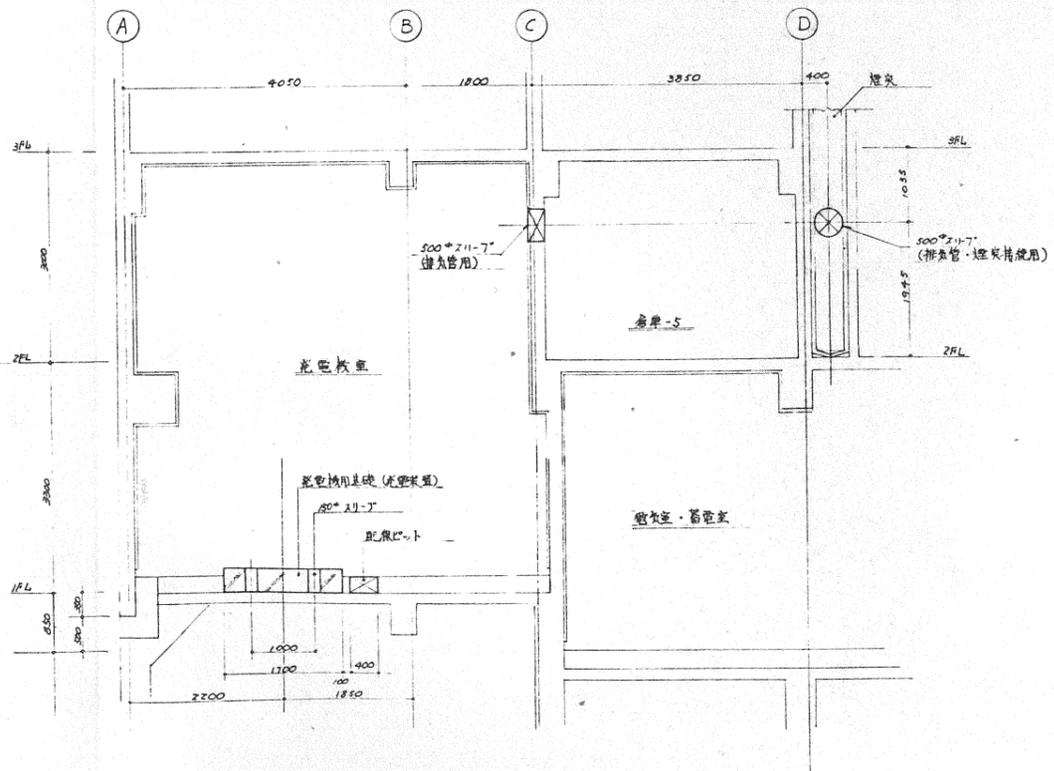
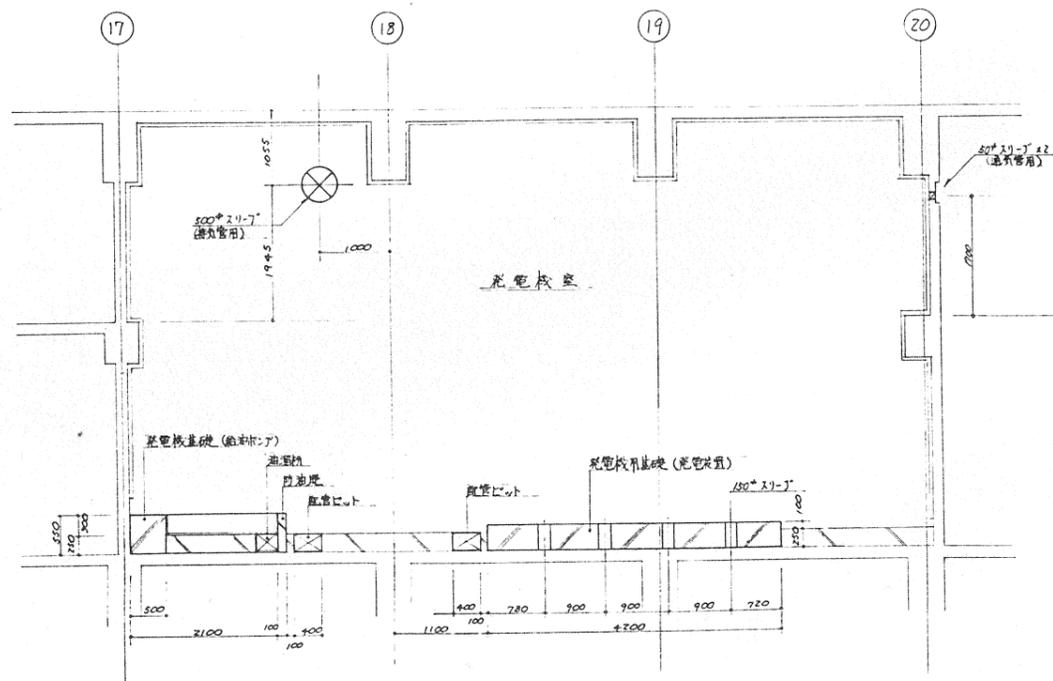
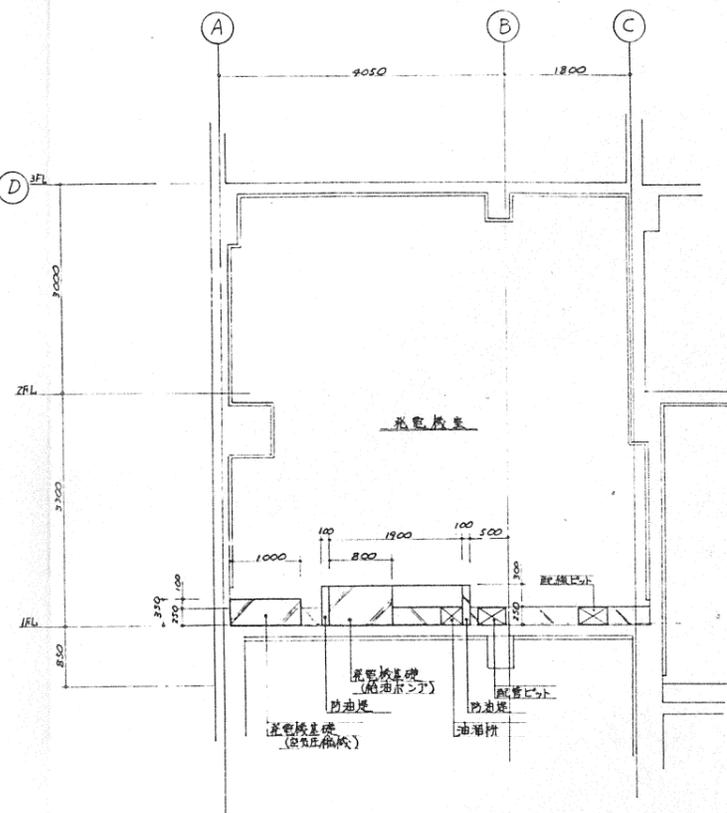
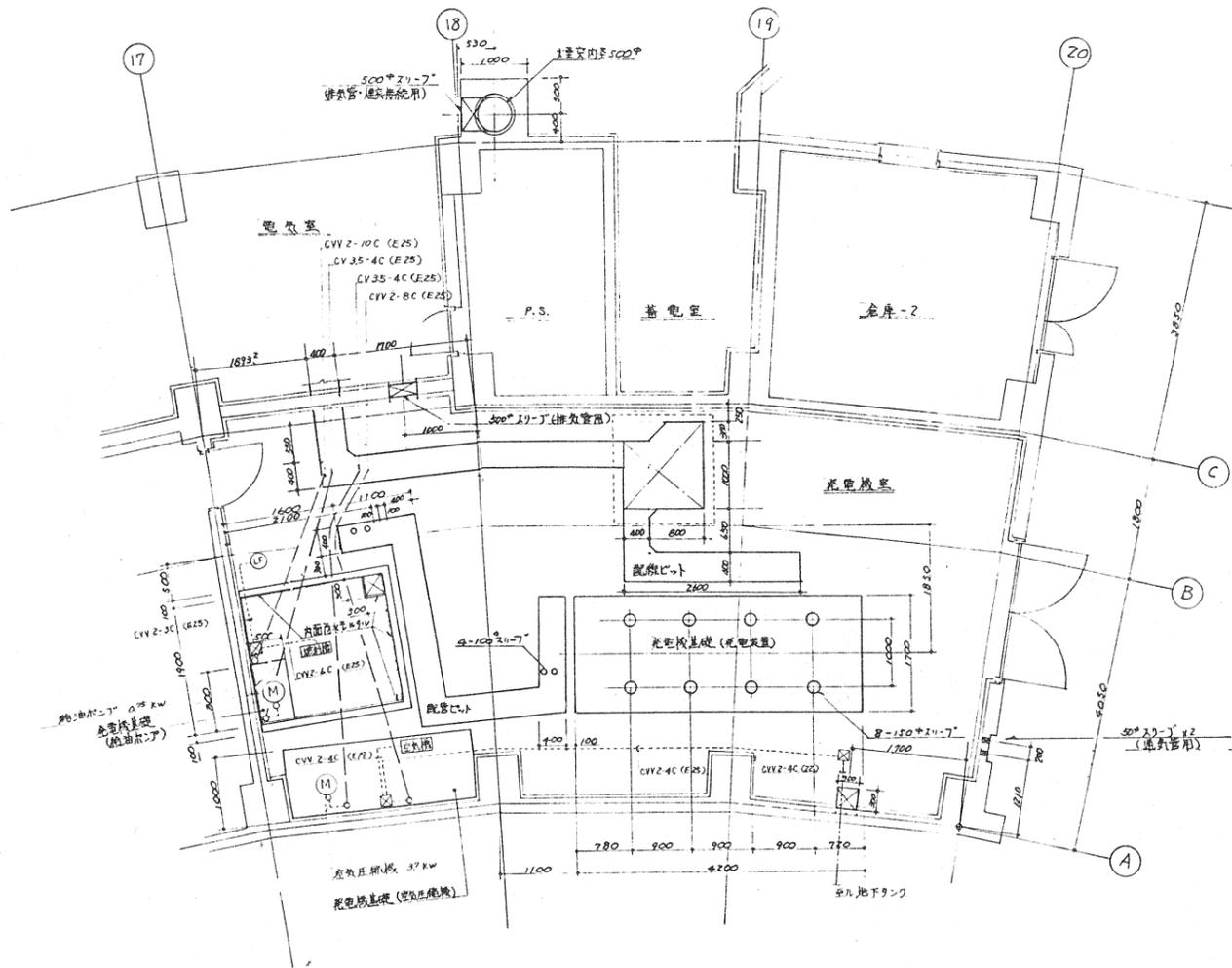
区分	項目	機停止	警報	表示	記録	速度
重故障	機停止速度	○	○	○	—	—
	潤滑油圧低下	○	○	○	—	—
	非常停止	○	○	○	—	—
	始動渋滞	○	○	○	—	—
	過電圧	○	○	○	—	—
	過電流	○	○	○	—	—
	不足電圧	○	○	○	—	—
軽故障	冷却水温度上昇	○	○	○	—	—
	空気槽圧力低下	—	—	—	○	—
	減圧水槽水位異常	—	—	—	○	—
	地下水槽水位異常	—	—	—	○	—
	燃料小出槽油面低下	—	—	—	○	—

中央監視制御一覧表

系統名	機器名	発電機盤					全体中央監視盤 (将来工事)										中央監視盤 (今回工事)			
		操作	表示		ベル	アラーム	操作	表示			アラーム	計測	記録	操作	表示		アラーム			
			状態	故障				状態	故障	故障					故障	故障		状態	故障	
自家発電設備	自家発電運転	○					○													
	前用電源送電中		○				○									○				
	機停止		○				○								○					
	過速度			○	○			○		○										
	潤滑油圧低下			○	○			○		○										
	冷却水温度上昇			○	○			○		○										
	冷却水断水			○	○			○		○										
	始動渋滞			○	○			○		○										
	非常停止			○	○			○		○										
	空気槽圧力低下			○		○				○		○								
	減圧水槽水位異常			○		○				○		○								
	地下水槽水位異常			○		○				○		○								
	燃料小出槽油面低下			○		○				○		○								
	地下水槽油面低下						○						○							
発電機主幹	VCB	○	○				○	○							○	○				
	過電流			○	○				○		○						○	○		
	過電圧			○	○				○		○						○	○		
	電流 A												○							
	電圧 V													○						
	力率 PF														○					
	電力 kW															○				
運転時間 H																○				
制御電源			○														○			



完成 図	口座名	国立オリンピック記念青少年総合センター	図面 番号	E-44
	所在	東京都渋谷区代々木神園町 3-1	縮尺	1:50
	図面 内容	ユニット機 自家発電設備 平面配置図	調整 年月日	平成 64年 3月 22日
	調整者			



防油堤容量計算  
 $1.9 \times 2.1 \times 0.3 - (0.8 \times 0.5 \times 0.3) = 1.077 = 1077 \text{ L}$   
 $1077 + 500 = 2154$   
 $500 \text{ L} \times 9 \times 7 \text{ m} \times 2.15 \text{ m} \times 0.15 \text{ m} = 1514 \text{ L}$   
 防油堤容量は2154 L以上必要である。

完成図	口座名	国立オリンピック記念青少年総合センター	図面番号	E-45
	所在	東京都渋谷区代々木神園町 3-1	縮尺	1:50
	図面内容	ユニット棟 自家発電設備 基礎・ビット図	調査年月日	平成 6年 3月 22日
			調整者	

自家発電設備特記仕様書

1. 一般事項及び適用規格等

- (1) 建築基準法
- (2) 電気規格調査会標準規格(JEC)
- (3) 日本電機工業会標準規格(JEM)
- (4) 日本工業規格(JIS)
- (5) 電機設備技術基準・同解釈
- (6) 消防法
- (7) (財)日本建築センター「建築設備耐震設計・施工指針(1997年度版)」

2. 共通事項

- (1) 用途 非常用
- (2) 始動時間 40秒以内
- (3) 設置場所 屋内
- (4) 周囲温度 0°C~40°C
- (5) 周囲湿度 40~80%
- (6) 設置高度 標高150m以下

3. 発電機

- (1) 数量 1台
- (2) 型式 三相交流同期発電機
- (3) 容量 750kVA
- (4) 電圧 6600V
- (5) 周波数 50Hz
- (6) 相数 三相3線式
- (7) 極数 4P
- (8) 回転速度 1500rpm
- (9) 力率 0.8(遅れ)

4. 原動機(ガスタービン機関)

- (1) 数量 1台
- (2) 出力 950PS
- (3) 回転速度 1500rpm
- (4) 燃料 軽油
- (5) 始動方法 電気式(セルモータ式)
- (6) 冷却方式 自己空冷式

5. 盤類

- (1) 型式 鋼板製閉鎖自立屋内形
- (2) 閉鎖階級 JEM-1425CW
- (3) 遮断器 真空遮断器(VCB)  
7.2kV, 600A, 12.5kA
- (4) 保護継電器 静止形
- (5) 構成 自動始動発電機盤 1面

6. 始動用蓄電池設備

- (1) 画面数 1画
- (2) 型式 鋼板製閉鎖自立屋内形
- (3) 蓄電池 据置鉛蓄電池(MSE形)  
容量はメーカー標準とする。
- (4) 充電器 全自動充電器

7. 燃料小出槽

- (1) 数量 1基
- (2) 型式 鋼板製溶接構造
- (3) 容量 950L
- (4) 付属品 フロートスイッチ(ポンプ運転用, 警報用)  
ウィングポンプ, 架台, 梯子

8. 地下主燃料槽

- (1) 数量 1基
- (2) 型式 地下埋設式(TO-20)
- (3) 容量 20000L(油引渡し)

9. 給油口ボックス

- (1) 数量 1個
- (2) 型式 屋外設置自立形, SUS製
- (3) 内蔵機器 液面指示計付, 給油口

10. 燃料ポンプ

- (1) 燃料移送ポンプ 46L/min, 2.5kgf/cm X1台
- (2) 燃料戻送ポンプ 67L/min, 2.5kgf/cm X1台

11. 排気消音器

- (1) 数量 1基
- (2) 型式 膨張吸収式床置形

12. 発電機換気設備

- (1) 数量 1式
- (2) 換気ファン 438m<sup>3</sup>/min, 29mmAq
- (3) 換気消音器 出口1mにて85dB(A)

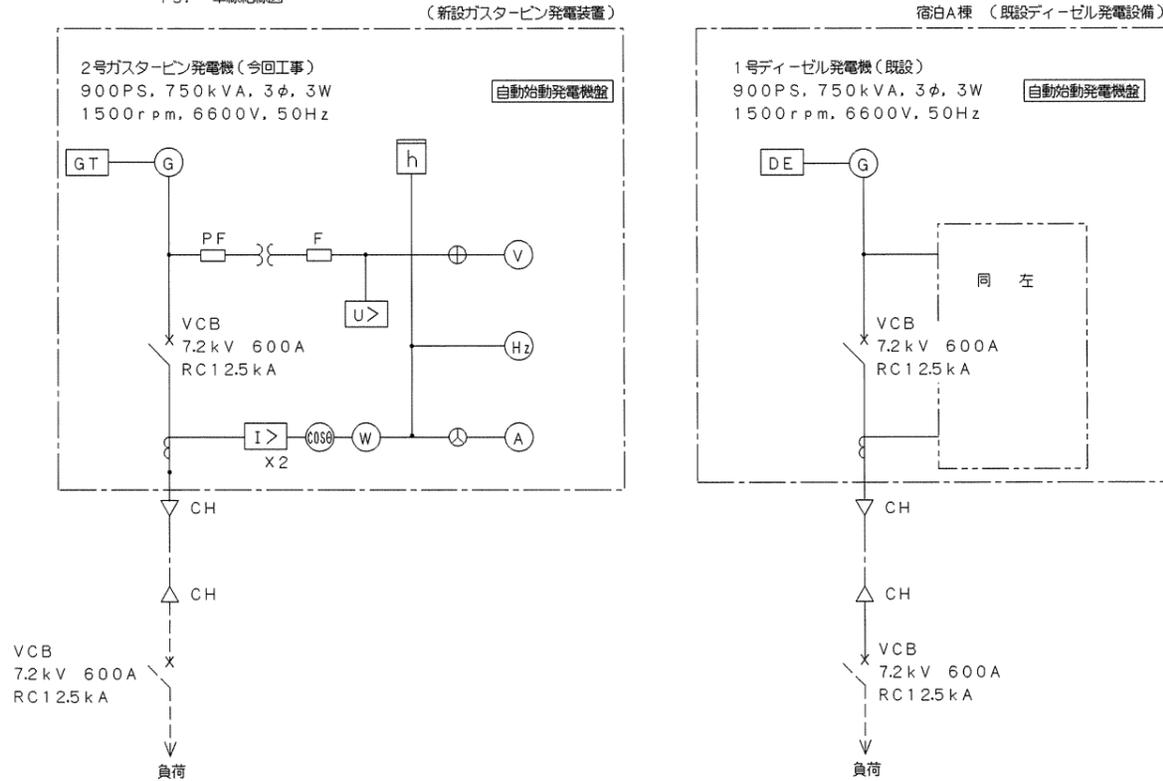
13. 予備品, 工具

- (1) メーカー標準品 1式

14. その他

- (1) 発電装置側騒音85dB(A) 機側1mにて  
排気騒音85dB(A) 出口1mにて

15. 単線結線図



1号発電機



2号発電機



16. 保護装置及び計測装置

(1) 保護装置

区分	故障種別	動作区分					遠方監視
		機停停止	遮断器開放	表示	ベル	ブザー	
重故障	過速度	○	○	○	○	—	○一括
	排気温度高(2段)	○	○	○	○	—	
	潤滑油圧低	○	○	○	○	—	
	潤滑油圧高	○	○	○	○	—	
	始動渋滞	—	—	○	○	—	
	過電流	○	○	○	○	—	
	非常停止	○	○	○	○	—	
	過電圧	○	○	○	○	—	
中故障	不足電圧	○	○	○	○	—	○一括
	発電機室火災	○	○	○	○	—	
	過電流	—	○	○	○	—	
軽故障	排気温度高(2段)	—	—	○	—	○	○一括
	検出器故障	—	—	○	—	○	
	燃料小出槽液面高	—	—	○	—	○	
	燃料小出槽液面低	—	—	○	—	○	
	主燃料槽油面低	—	—	○	—	○	
	補機故障	—	—	○	—	○	
その他	接地	—	—	○	—	○	○一括
	1回自動始動失敗	—	—	○	—	○	

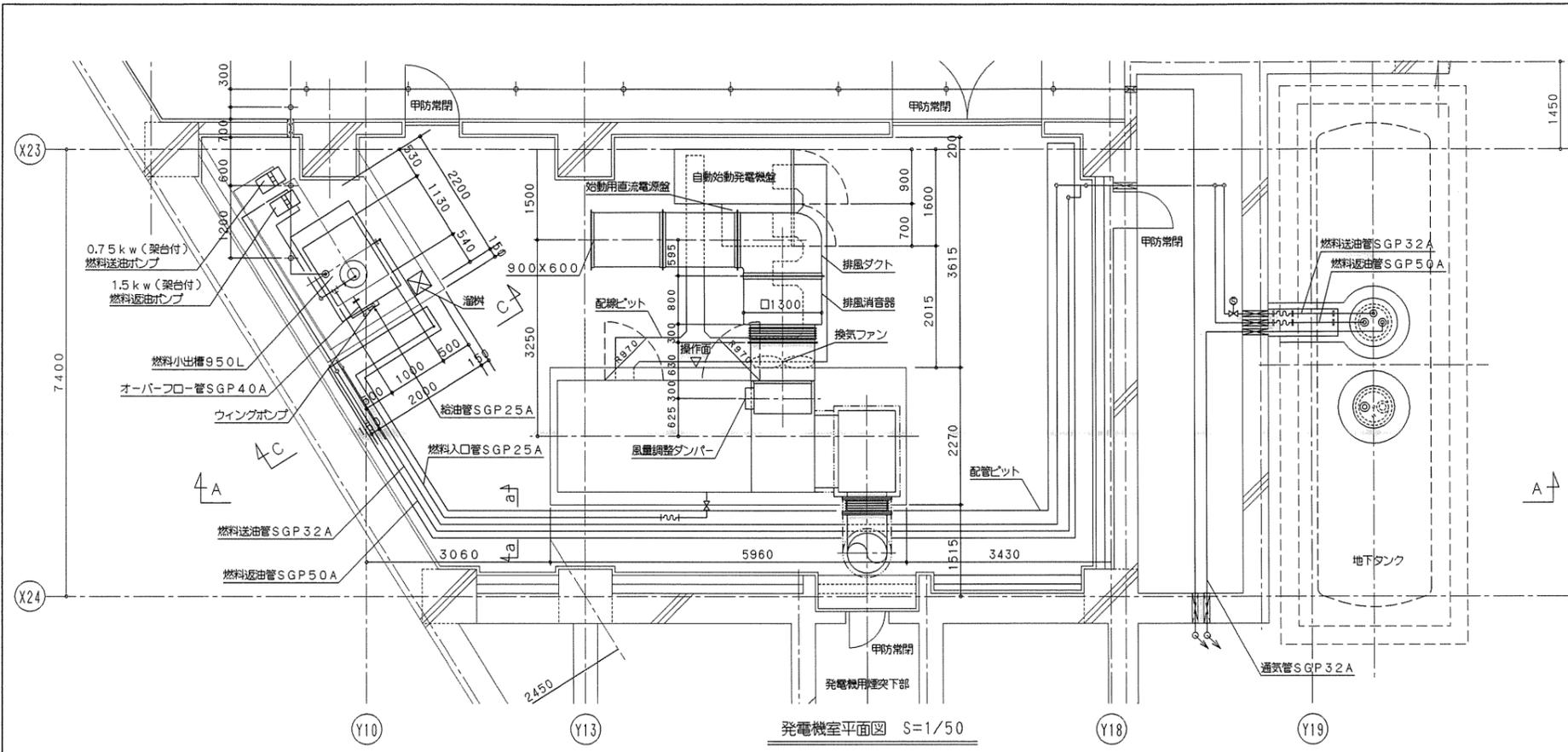
(2) 計測項目表

項目	計測場所		備考
	現場	中央	
電圧	○	○	
電流	○	○	
周波数	○	○	
力率	○	○	
電力	○	○	
回転速度	○		
排気温度	○		
潤滑油温度	○		

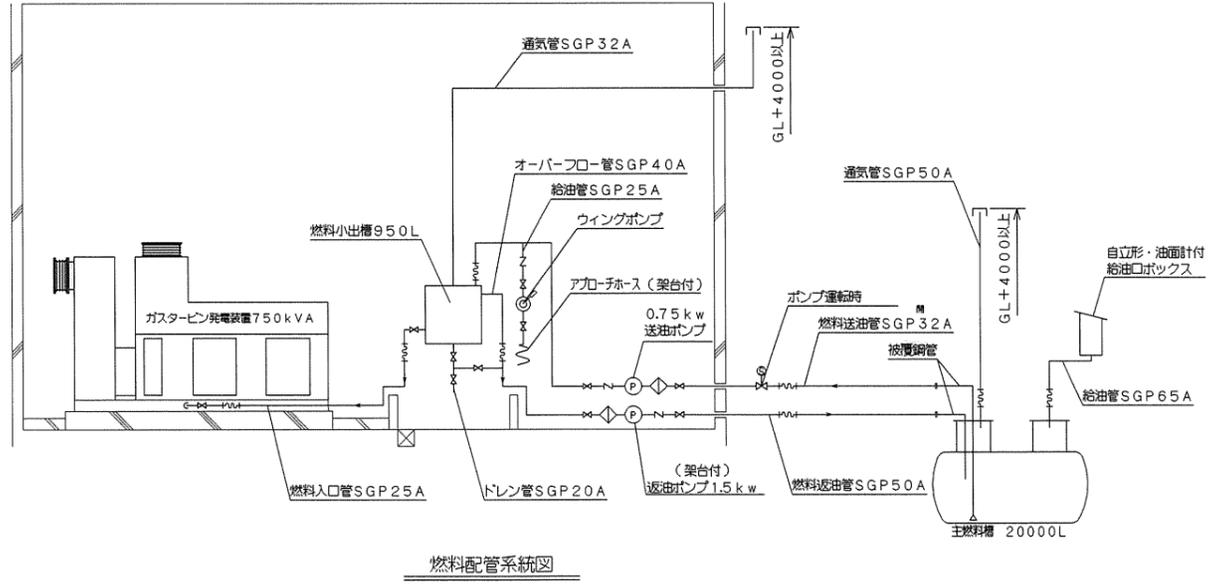
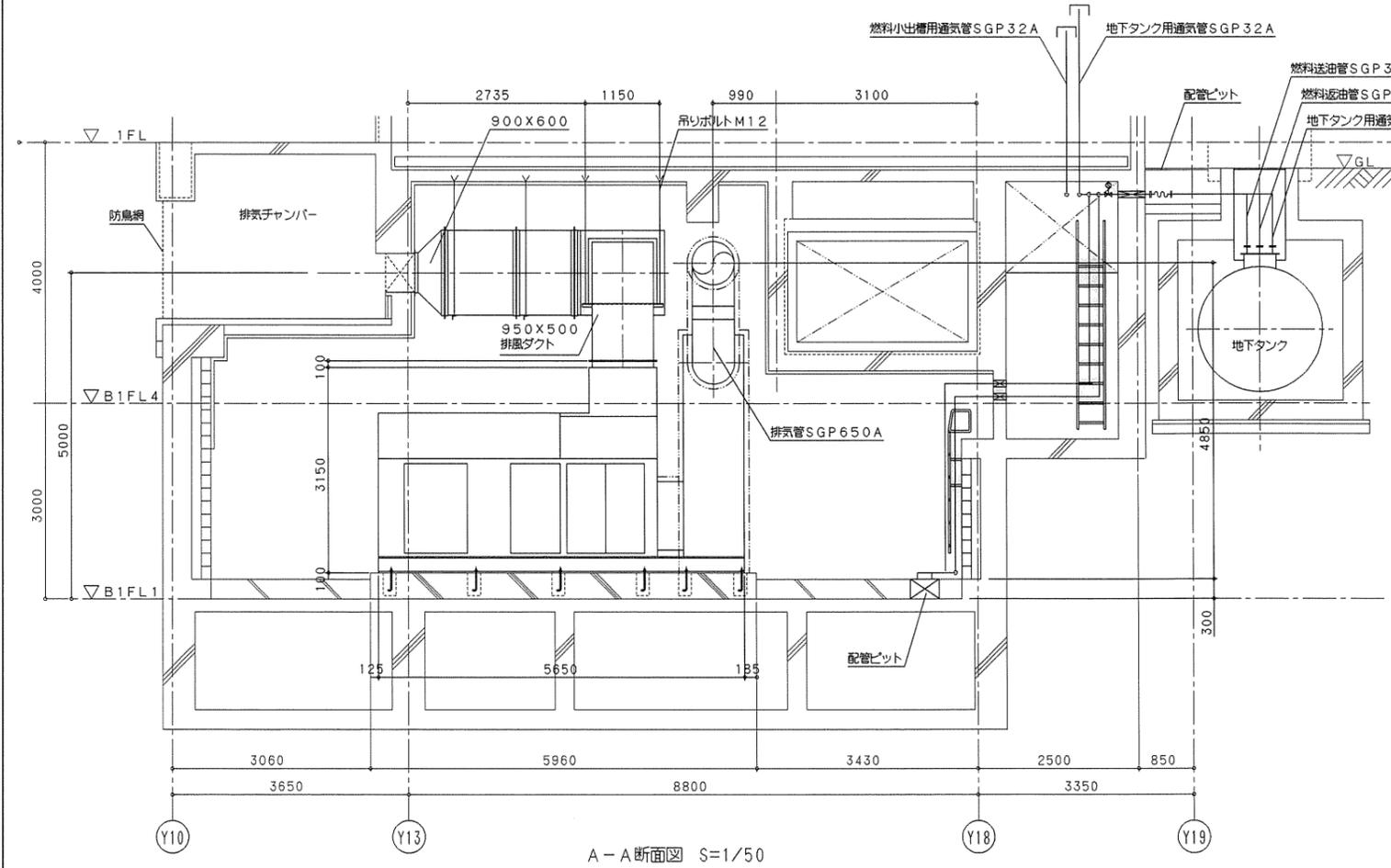
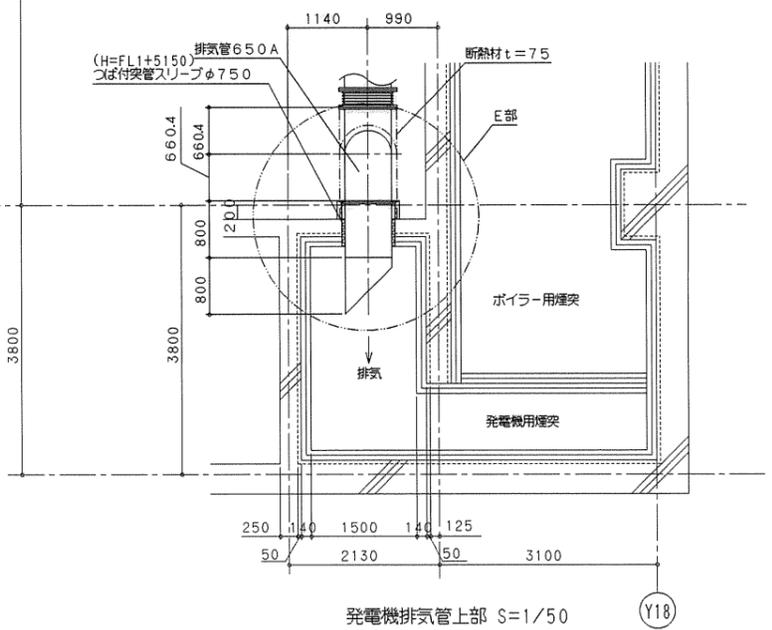
(3) 操作・表示項目表

項目	計測場所		表示場所		備考
	現場	中央	現場	中央	
始動	○	○	—	○	
停止	○	○	—	○	
主回路遮断器	○	○	—	○	
非常停止	—	○	—	○	
制御電源			○	—	
遮断器操作電源			○	—	
発電中			○	○	

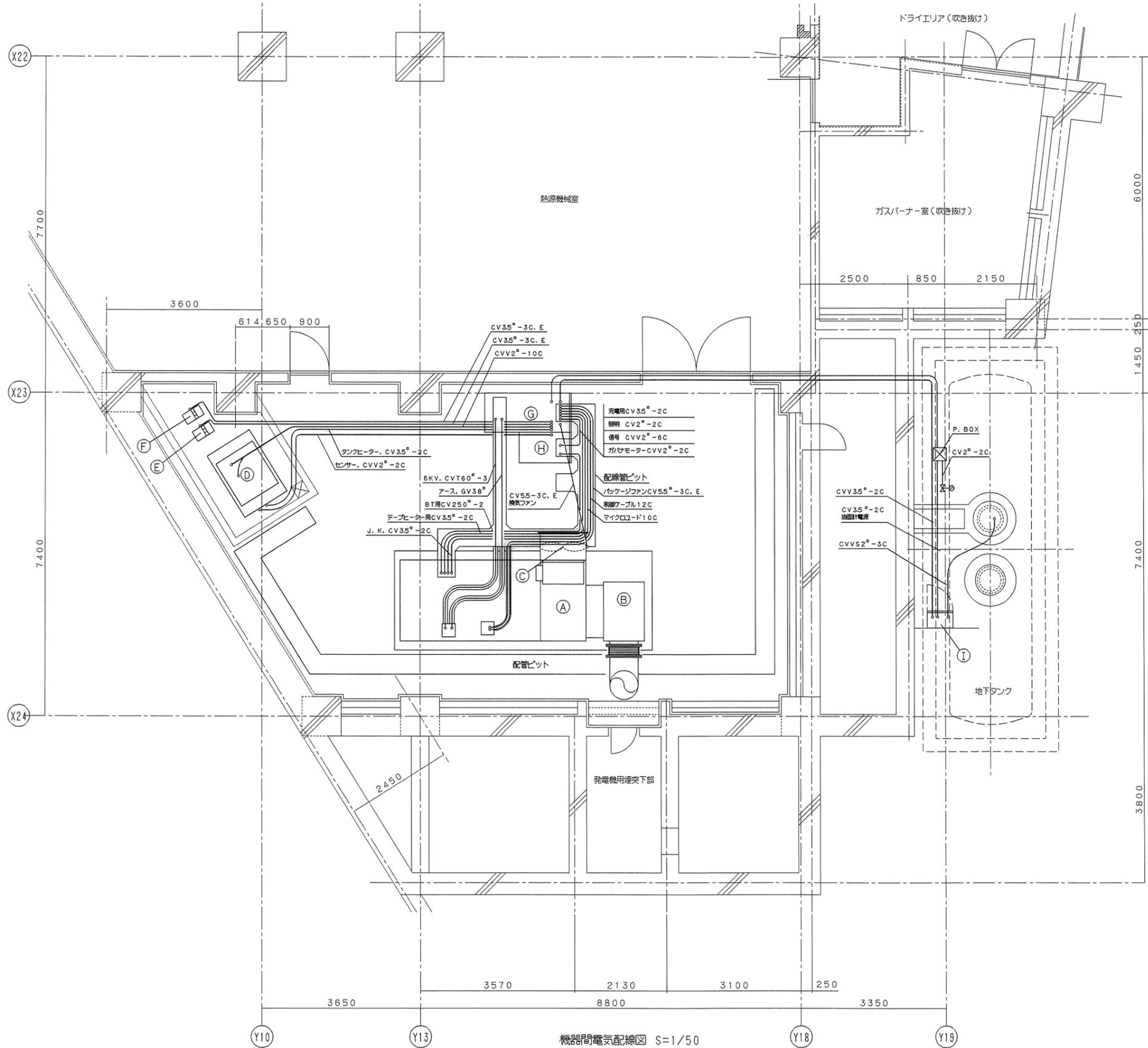
完成図	口座名	国立オリンピック記念青少年総合センター	図面番号	E-68
	所在	東京都渋谷区代々木神園町3-1	縮尺	
	図面内容	カルチャー棟 自家発電設備 機器仕様	調査年月日	平成13年 3月28日
			調整者	



主要目		重量(kg)		騒音(dB(A))				
ガスタービン	定格出力(40℃)	PS 950	ガスタービン	1400	コモンヘッド	790	パッケージ機器(1m)	85
	回転速度(出力軸)	RPM 1500	発電機	1905	ベース	1485	排気消音器出口(1m)	85
発電機	出力/周波数	kW/Hz 750/50	パッケージ	2400	排気消音器	1445		
	電圧	V 6600	合計			9750		



完成図	口座名	国立オリンピック記念青少年総合センター	図面番号	E-69
	所在	東京都渋谷区代々木神園町3-1	縮尺	1:50
	図面	カルチャー棟	調査年月日	平成13年 3月28日
	内容	自家発電設備 平面配置図	調整者	

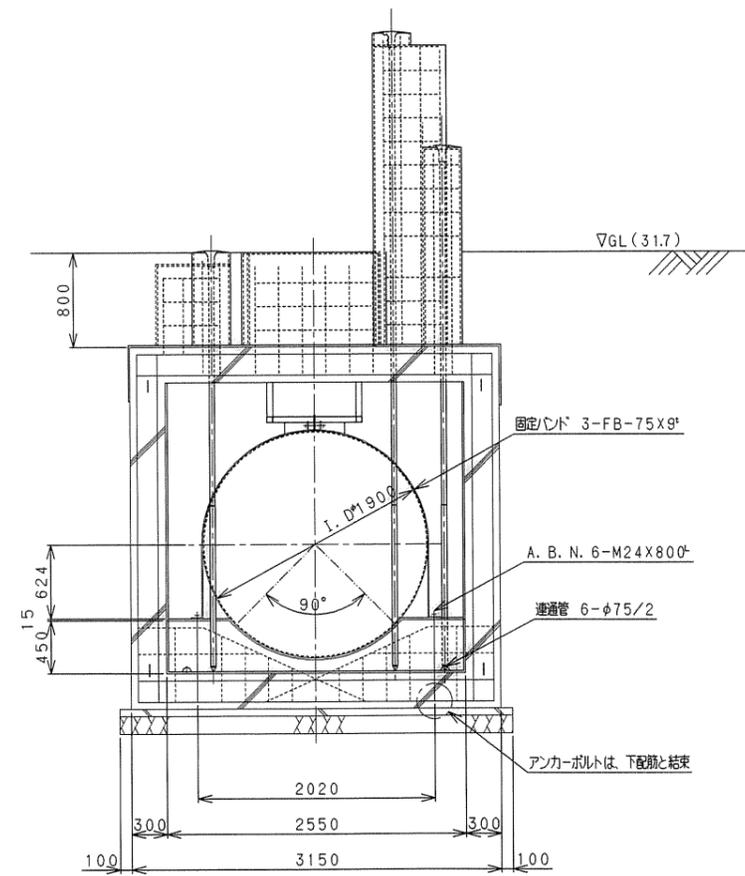
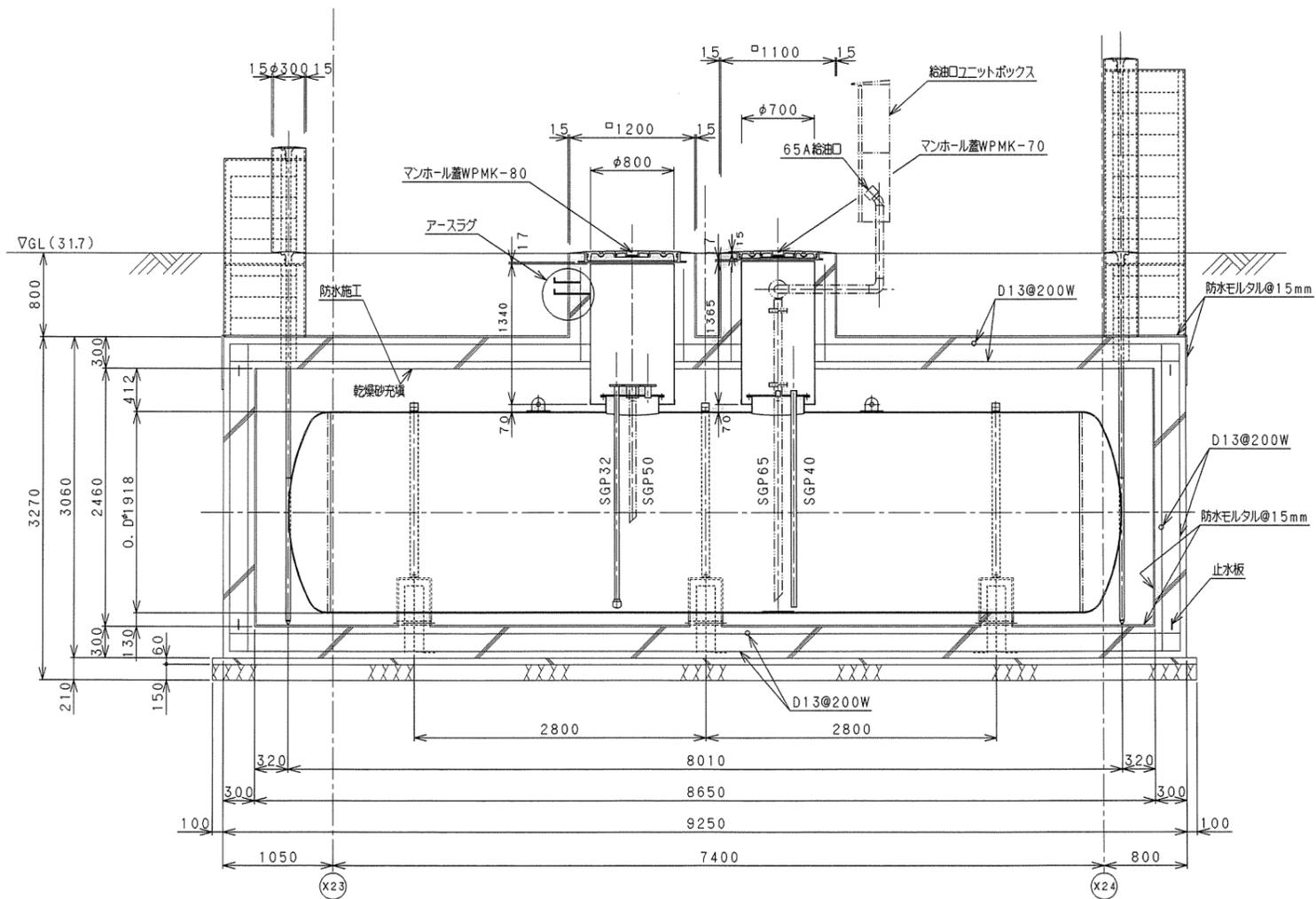
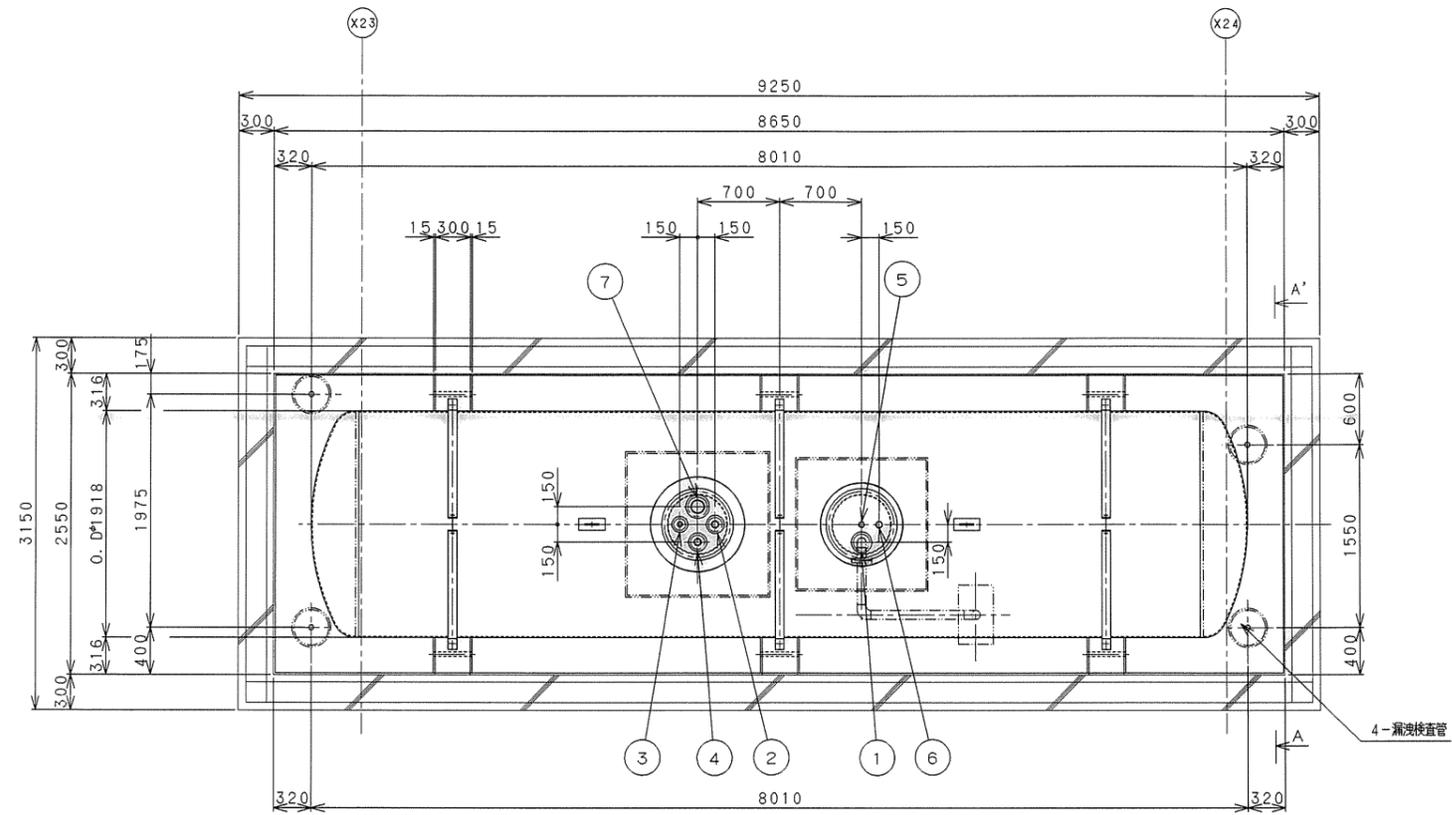


機器一覧表

番号	機器名称	備考
①	ガスタービン発電装置	750kVA
②	排気消音器	85dB(A)
③	換気ファン	
④	燃料小出槽	950L
⑤	燃料返油ポンプ	1.5kw
⑥	燃料送油ポンプ	0.75kw
⑦	自動始動発電機盤	H=2350
⑧	始動用直流電源盤	H=2350
⑨	給油口ボックス	

機器間電気配線図 S=1/50

完成	口座名	国立オリンピック記念青少年総合センター	図面番号	E-70
	所在	東京都渋谷区代々木神園町3-1	縮尺	1:50
	図面内容	カルチャー棟 自家発電設備 配管・配線配置図	調査年月日	平成13年 3月28日
			調整者	



A-A' 断面図

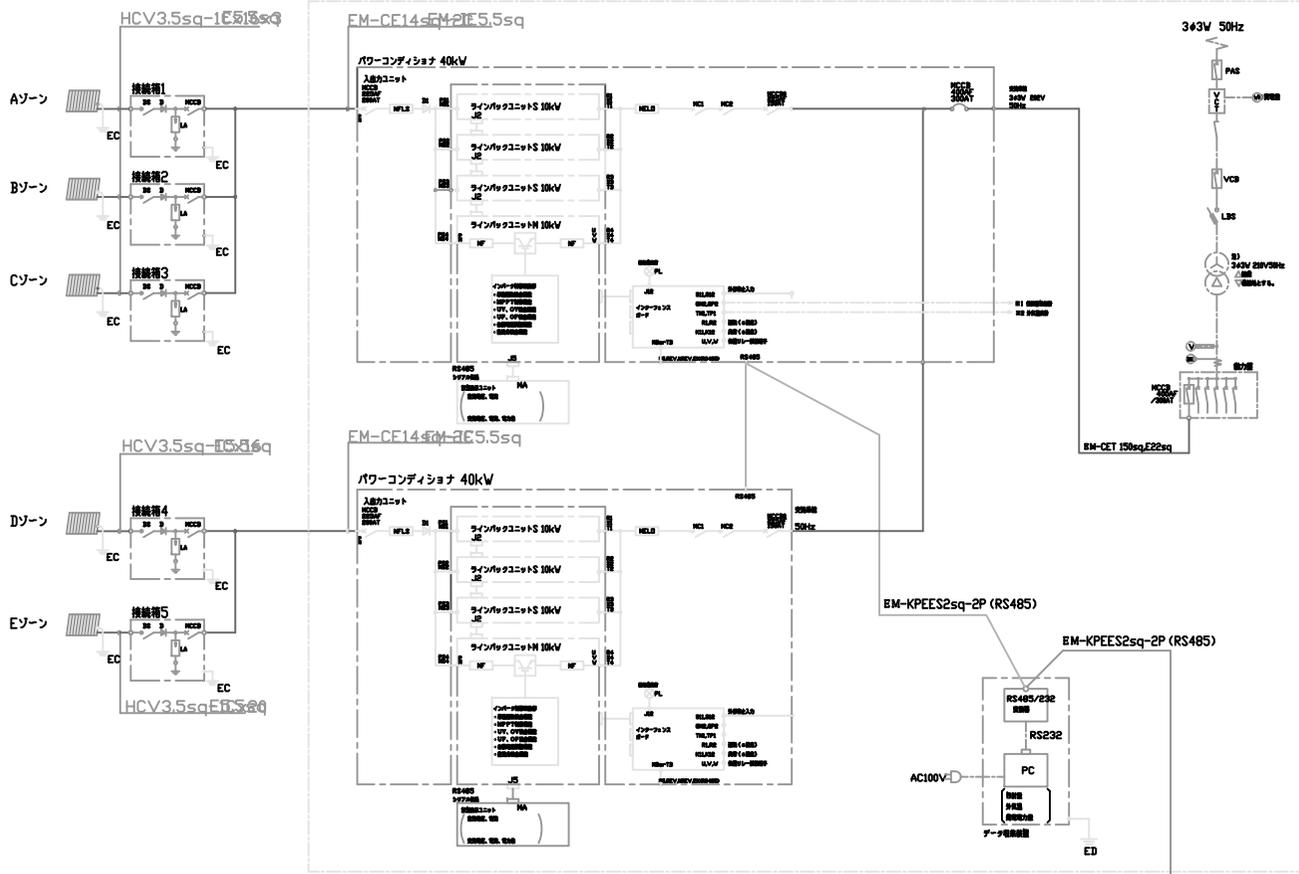
完成 図	口座名	国立オリンピック記念青少年総合センター	図面 番号	E-71
	所 在	東京都渋谷区代々木神園町3-1	縮 尺	1:30
	図 面	カルチャー棟 自家発電設備	調 査 年月日	平成13年 3月28日
	内 容	地下タンク図	調 査 者	

## 5. 直流電源設備一覽表

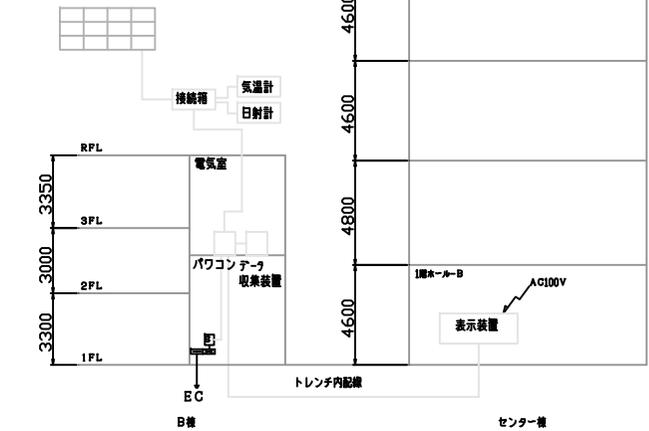
		A棟	B棟	C棟	D棟	センター棟	スポーツ棟	スポーツ棟 特高電気室 用	カルチャー棟	地下駐車場
蓄電池	製造者名	(株)ユ アサコーポ レーション	(株)ユ アサコーポ レーション	(株)ユ アサコーポ レーション	(株)ユ アサコーポ レーション	(株) ホルテックス セイワ	新神戸 電機 (株)	新神戸 電機 (株)	シンワエンジ ニアリング (株)	シンワエンジ ニア リング (株)
	型式等	MSE400- 54セル 400Ah/1 0HR	MSE- 100-6 100Ah/1 0HR	MSE-150 ×54セル 150Ah/1 0HR	MSE-200 ×54セル 200Ah/1 0HR	MSE500 ×54 DC108V, 500A h /10HR	MSE150 ×54 DC108V, 150A h /10HR	MSE- 100-6× 18セル DC108V, 100A h /10HR	BM500- 27Z×2 鉛蓄電 池54セ ル	BM100-54Z 100Ah/10H R
整流器	製造者名	(株)ユ アサコーポ レーション	(株)ユ アサコーポ レーション	(株)ユ アサコーポ レーション	(株)ユ アサコーポ レーション	古河電 池 (株)	古河電 池 (株)	日立化 成工業 (株)	古河電 池 (株)	古河電池 (株)
	型式等	GTSC100 -50V	GTSC100 -20V	GTSC100 -30V	GTSC100 -30V	THT100- 75SM	THT100- 30SM	A0-32- 120- 40BD-ME	DP2100T - 075SMBM	DP2100T- 030SMBM
交流入力		3φ3W 50Hz200	3φ3W 50Hz200	3φ3W 50Hz200	3φ3W 50Hz200	3φ3W 50Hz200	3φ3W 50Hz200	3φ3W 50Hz200	3φ3W 50Hz200	3φ3W 50Hz200V
入力容量		9.5kVA	—	6.4kVA	—	16.5kVA	6.6kVA	8.5kVA	13.4kVA	5.4kVA
直流出力		108V	108V	120.5V	120.5V	120.4V	120.4V	116- 120V	120.4V	120.4V

## 6. 太陽光発電設備図面

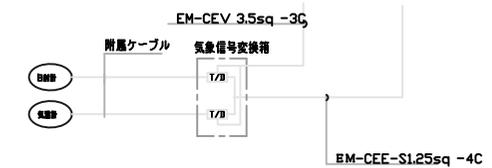
<B棟電気室設置>



太陽電池(Aゾーン~Eゾーン)



※3(AC200V電源)※1・※2に接続

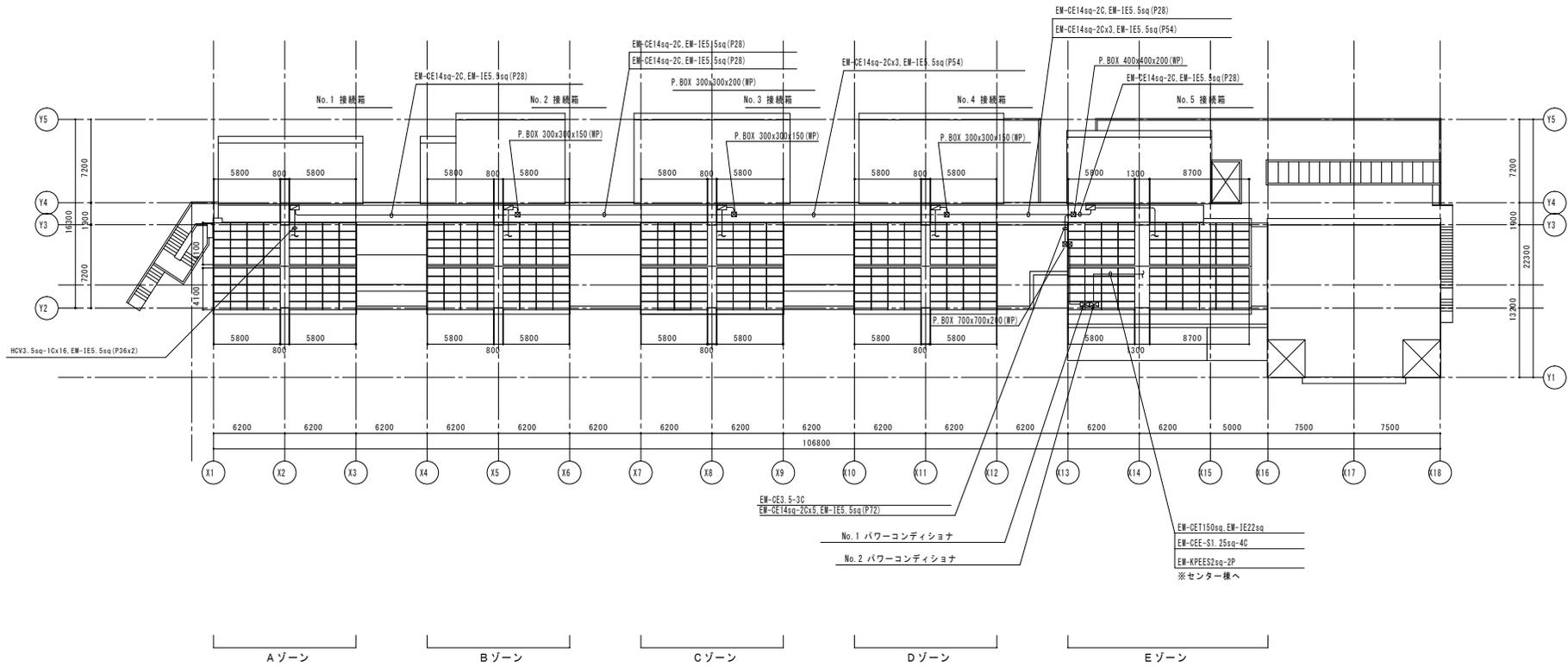


<センター機>



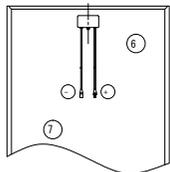
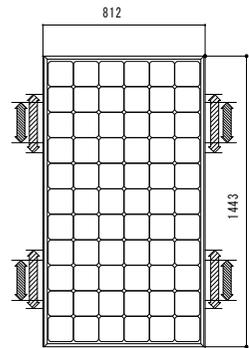
口番名	東京都立大学附属電子リサーチセンター 附属電子システム研究センター	図番	E-1
所名	東京都渋谷区代々木神園町3-1	図名	電気
図名	システム系統図	図点日	平成17年 3月28日
内容		図番	

Ｂ棟屋根伏図



完成図	口番名	独立行政法人国立オリンピック記念青少年総合センター 菅沼日穂太陽光発電設備設置工事	図面 番号	E-2
	所在	東京都渋谷区代々木神園町3-1	縮尺	1/200
	開 面	パネル割付図、電気配線図	製 定 日 月	平成17年 3月28日
	内 容		調 査 者	

太陽電池モジュール

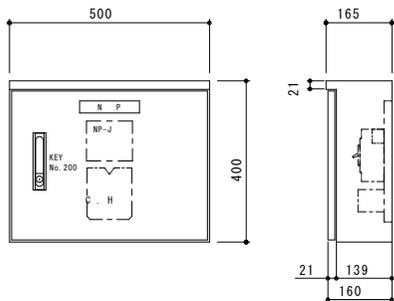


No.	部品名称	材質	備考
①	太陽電池セル	結晶系 S i	
②	受光面材	白板強化ガラス	
③	充てん材	EVA	
④	裏面材	積層フィルム	受光面：白色
⑤	フレーム	アルミ	黒色、7&7付処理、7付塗装
⑥	端子ボックス	樹脂	
⑦	3針付キケケーブル	CV	ケーブル：線径・・・1.5mm コネクタ：KTN-PVCIP

仕様  
太陽電池モジュール

- ・種類：HIT太陽電池
- ・出力特性：メーカー仕様による
- ・開放電圧：46.0V (±10%)
- ・短絡電流：5.55A (90%以上)
- ・絶縁抵抗：DC1000V 100MΩ以上
- ・絶縁耐圧：DC2000V 1分間
- ・重量：40kg/㎡以下 (下地共全ての積載荷重を含む)

接続箱



仕様

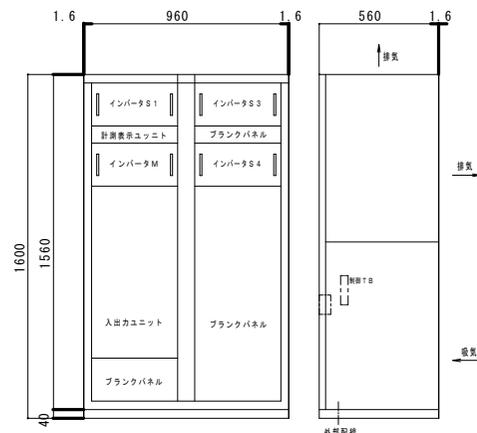
- ・外 径 寸 法：500×400×165 (mm)
- ・ケ ー ス 材 質：銅板製 (ポリウレタン焼付塗装指定色仕上)
- ・使 用 機 器：配線用遮断器 1式  
逆流防止ダイオード 1式  
入力回路遮断器 1式  
雷サージアパーサー 1式
- ・重 量：約20Kg

5台

パワーコンディショナ

2台

〈屋内仕様〉



仕様

- ・種類：高圧一般配電用
- ・インバータ容量：40kW
- ・効率：90%以上
- ・入力電圧範囲：DC200~500V
- ・定格入力電圧：300V
- ・定格出力電圧：3相3線 210V 50Hz
- ・制御方式：最大電力追従方式
- ・高周波許容範囲：電流割合5% 各自3%以下
- ・保護機能：系統連系ガイドラインに準拠
- ・附属収納機器：トランスデューサ、配線遮断器等
- ・重量：約520kg

表示装置

1台

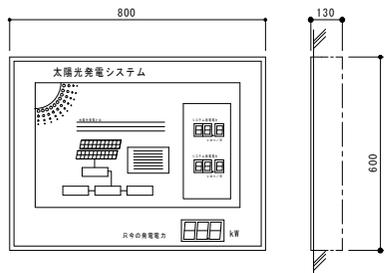
データ収集装置

気象信号変換箱

1台

日射計

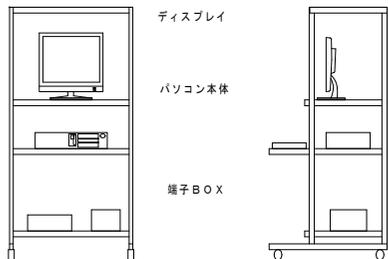
1台



仕様

- ・特注品
- ・外径寸法：800×600×130 (mm)程度
- ・ケース材質：銅板製 (ポリウレタン焼付塗装指定色仕上)
- ・使用機器：配線用遮断器 1式  
シーケンサー 1式  
表示用LED 1式
- ・形状：屋内壁埋込み型
- ・重量：約50Kg

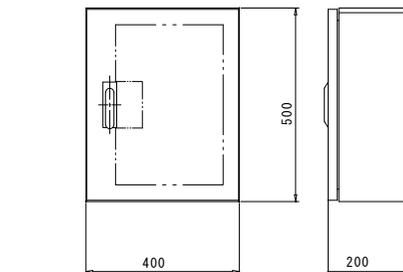
※表示内容は監督職員等の承諾を受けること



無停電電源装置

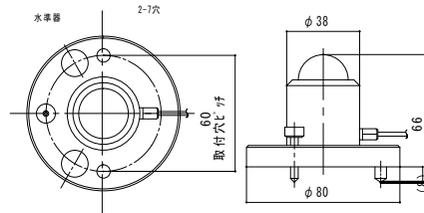
仕様

- ・使用機器：パーソナルコンピュータ (NEDOシステム計測指針準拠)
- ・測定周期：6秒
- ・演算周期：1時間
- ・質量：約40kg



仕様

- ・塗装色：ポリウレタン焼付塗装指定色仕上
- ・質量：約30kg

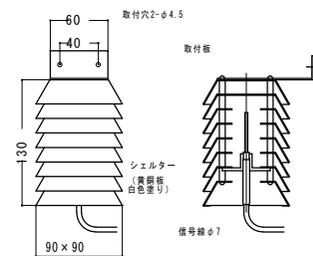


仕様

- ・種類：MS-601 (ISO Second Class)
- ・感度：約7mV/kW・m
- ・応答速度：約17秒 (95%)
- ・質量：約2kg

気温計

1台

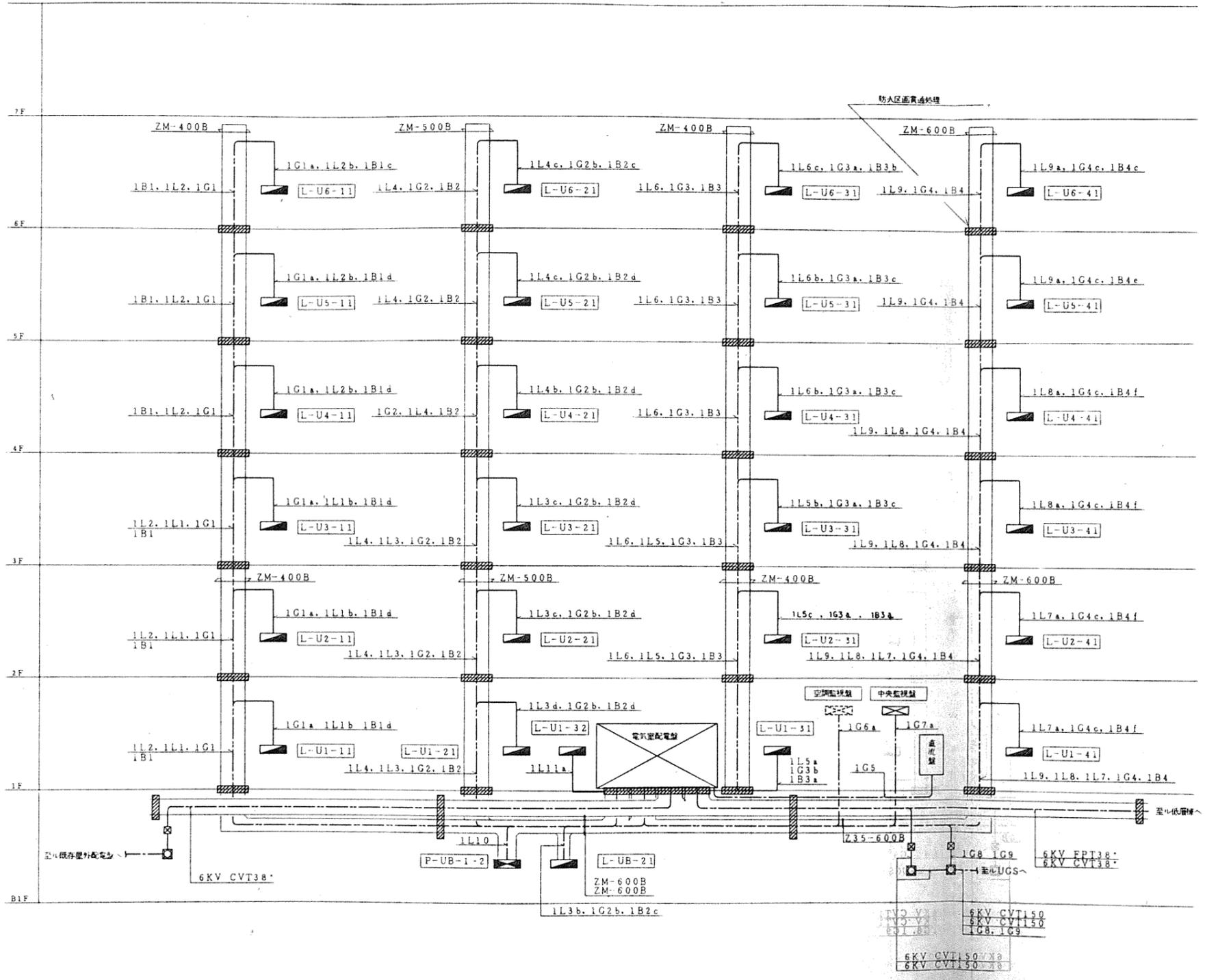


仕様

- ・種類：自然通風
- ・温度素子：樹脂抵抗体 (P:100Ω)
- ・本体材料：黄銅板 白色焼付塗装
- ・質量：2針部 約1kg、信号線部 約1kg (10m)

完 成 図	口番号	独立行政法人国立オリンピック記念 青少年総合センター 施設整備事業	図面 番号	E-3
	所在	東京都渋谷区代々木神園町3-1	縮尺	
図 面 内 容	機群実装	機 群 実 装	機 群 実 装	機 群 実 装
		機 群 実 装	機 群 実 装	機 群 実 装

## 7. 幹線系統図

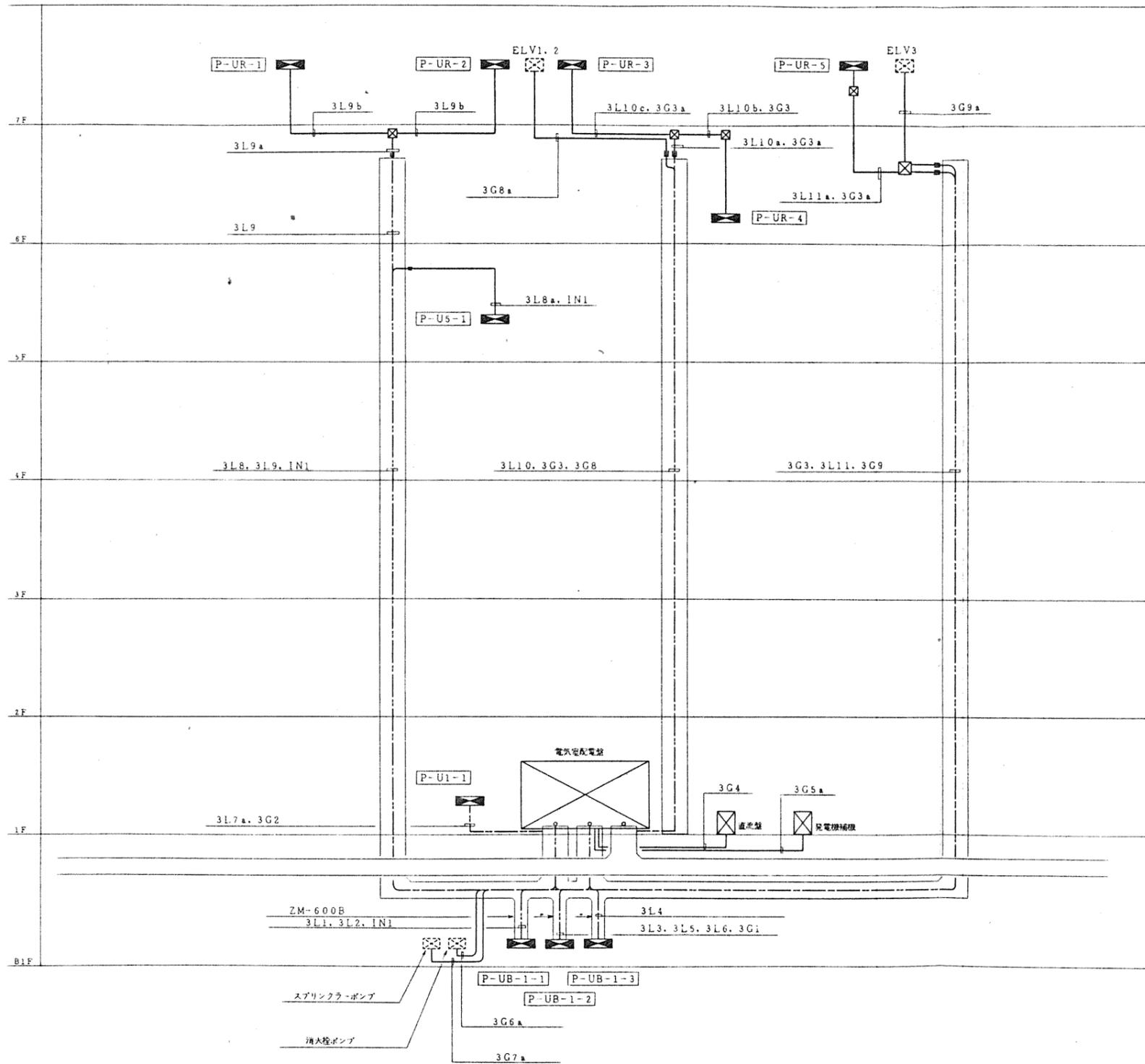


単相幹線系統図

(注記) 1) 主幹線のラック上にアースE38mm<sup>2</sup>×2を布設する。  
2) 案内ケーブルのサイズは、mm<sup>2</sup>とする。

幹線番号	主幹線ケーブルサイズ	分岐ケーブルサイズ						負荷内容
		a	b	c	d	e	f	
1L1	CVT150		CVT14. E14×2					L-U1-11~L-U3-11
1L2	CVT150		CVT14. E14×2					L-U4-11~L-U6-11
1L3	CVT150		CVT38. E14×2	CVT38. E14×2	CVT38. E14×2			L-UB-21~L-U3-21
1L4	CVT100		CVT38. E14×2	CVT14. E14×2				L-U4-21~L-U6-21
1L5	CVT100	CVT60. E14×2	CVT38. E14×2	CVT22. E14×2				L-U1-31~L-U3-31
1L6	CVT100		CVT38. E14×2	CVT22. E14×2				L-U4-31~L-U6-31
1L7	CVT150	CVT38. E14×2						L-U1-41~L-U2-41
1L8	CVT150	CVT38. E14×2						L-U3-41~L-U4-41
1L9	CVT150	CVT38. E14×2						L-U5-41~L-U6-41
1L10	CV5.5-3C							P-UB-1-2
1L11	CV5.5-3C	CV5.5-3C. E5.5×2						L-U1-32
1G1	CVT22	CV8-1C×3						L-U1-11~L-U6-11
1G2	CVT38		CV8-1C×3					L-UB-21~L-U6-21
1G3	CVT38	CVT14	CVT22					L-U1-31~L-U6-31
1G4	CVT38			CV8-1C×3				L-U1-41~L-U6-41
1G5	FP150-3C							監視盤
1G6	CV5.5-2C	CV5.5-2C. E5.5×2						中央監視盤
1G7	CV5.5-2C	CV5.5-2C. E5.5×2						空調監視盤
1G8	CV5.5-2C							UGS
1G9	CV5.5-2C							UGS
1B1	FPD100			FP8-1C×2	FP8-1C×2			L-U1-11~L-U6-11
1B2	FPD100			FP8-1C×2	FP8-1C×2			L-UB-21~L-U6-21
1B3	FPD38	FP8-1C×2	FP8-1C×2	FP8-1C×2				L-U1-31~L-U6-31
1B4	FPD100			FPD14		FPD14	FPD14	L-U1-41~L-U6-41

完成図	口番名	国立オリンピック記念青少年総合センター	図番	E-29
	所在	東京都渋谷区代々木神園町 3-1	層	尺
	図面	ユニット棟	製図年月日	平成6年12月22日
	内容	電灯幹線系統図	調整者	坂井 隆司



三相幹線系統図

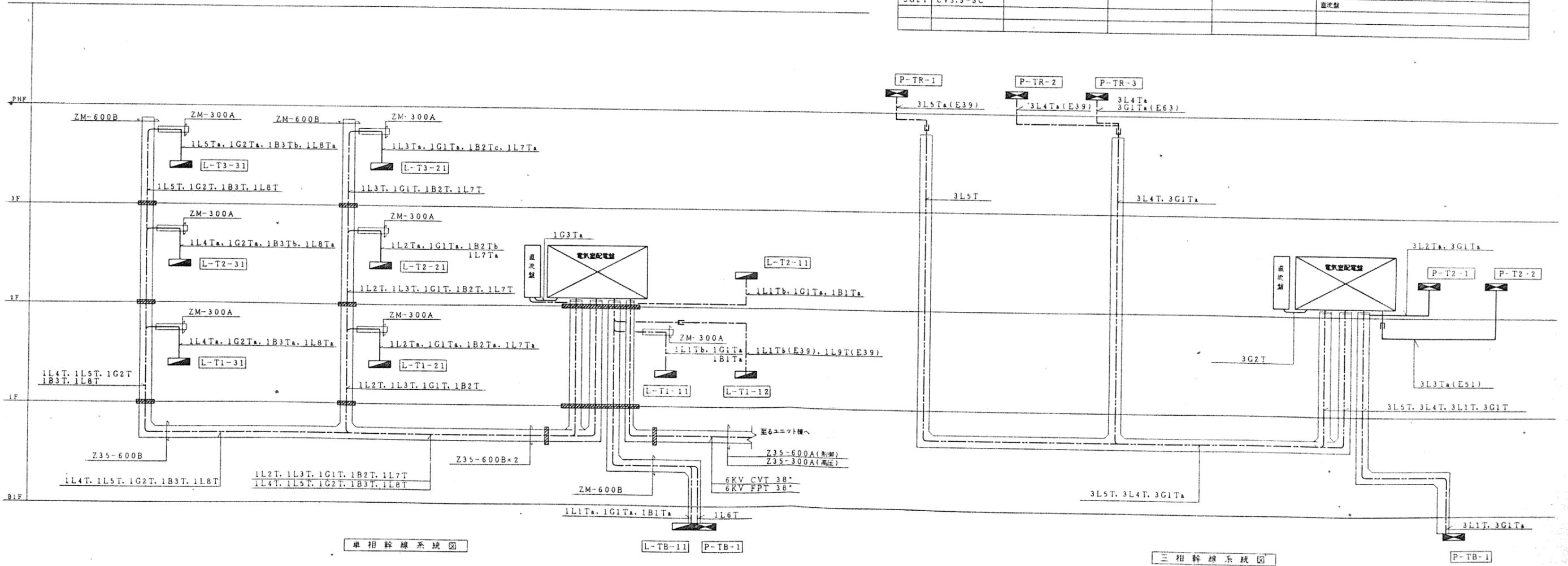
(注記) 1) 主幹線のラック上にアースE38mm' x 2を布設する。  
2) 配管ケーブルのサイズは、mm' とする。

幹線番号	主幹線ケーブルサイズ	分岐ケーブルサイズ			負荷内容
		a	b	c	
3L1	CVT60	CVT60, E38x2			P-UB-1-1
3L2	CVT60				P-UB-1-1
3L3	CVT100	CVT100, E38x2			P-UB-1-2
3L4	CVT60	CVT60, E38x2			P-UB-1-3
3L5	CVT200				P-UB-1-2
3L6	CVT14				P-UB-1-2
3L7	CVT38	CVT38, E14x2			P-U1-1
3L8	CVT60	CVT60, E22x2			P-U5-1
3L9	CVT38	CVT38, E14x2	IV14x3, E5.5x2		P-UR-1~2
3L10	CVT38	CVT38, E14x2	IV14x3, E5.5x2	IV14x3, E5.5x2	P-UR-3~4
3L11	CVT38	CVT38, E14x2			P-UR-5
3G1	CVT22				P-UB-1-2
3G2	FP100-3C				P-U1-1
3G3	CV5.5-3C	IV5.5x3			P-UR-3~5
3G4	CVT14				直流機
3G5	CV5.5-3C	CV5.5-3C, E5.5x2			発電機補機
3G6	FP8-3C	FP8-3C, E5.5x2			消火栓ポンプ
3G7	FP38-3C	FP38-3C, E14x2			スプリンクラーポンプ
3G8	CVT38	CVT38, E14x2			ELV1~2
3G9	CVT22	CVT22, E14x2			ELV3
IN1	CVV2-12C				制御線

完成図	口座名	国立オリンピック記念青少年総合センター	図面番号	E-30
	所在	東京都渋谷区代々木神園町 3-1	層	1F
	図面	ユニット機	製	平成6年3/12日
	内容	動力幹線系統図	調整者	荒井清司

(注記) 1) 主幹線のラック上にはアースE38mm<sup>2</sup>×2を布設する。  
2) 案内ケーブルのサイズは、mm<sup>2</sup>とする。

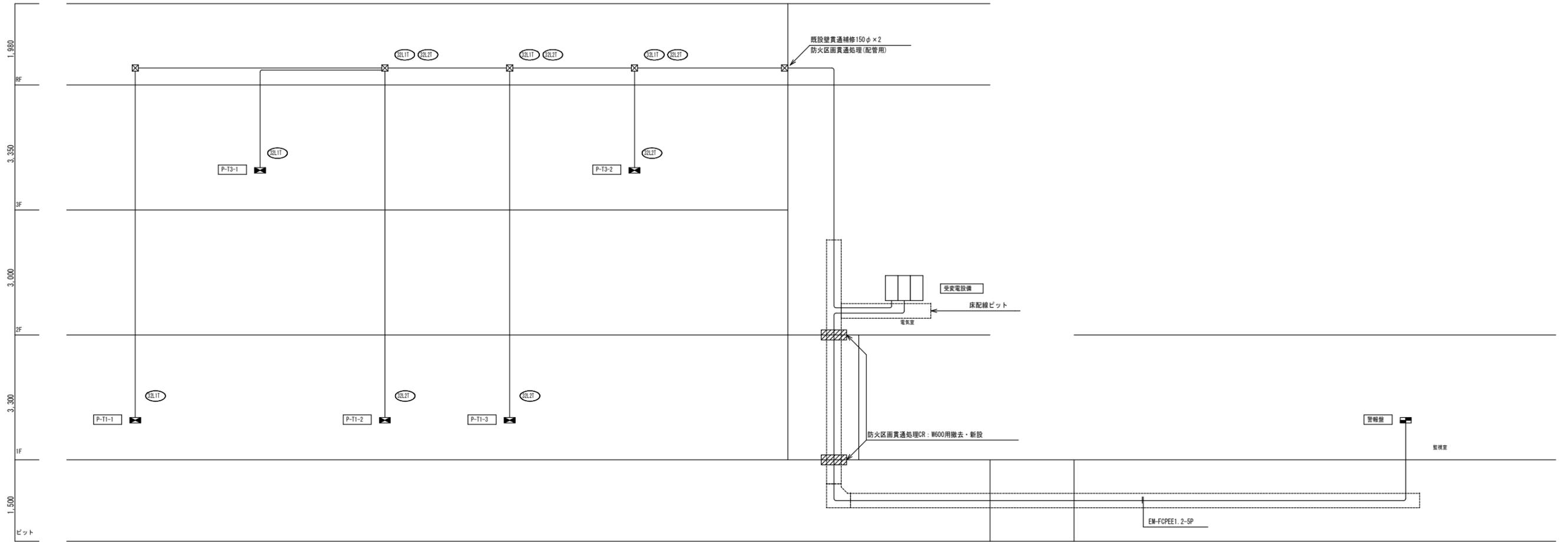
回路番号	主幹線ケーブルサイズ	分岐ケーブルサイズ			具内内容
		a	b	c	
1L1T	CVT60	CVT38	CVT22. E14×2		L-TB-11~L-T2-11, L-T1-12
1L2T	CVT100	CVT38. E14×2			L-T1-21~L-T2-21
1L3T	CVT60	CVT60. E14×2			L-T3-21
1L4T	CVT150	CVT38. E14×2			L-T1-31~L-T2-31
1L5T	CVT100	CVT100. E14×2			L-T3-31
1L6T	CV5.5-3C				P-TB-1
1L7T	CVT8	CV 5.5-3C			L-T1-21~L-T3-21
1L8T	CVT14	CV 5.5-3C			L-T1-31~L-T3-31
1L9T	CVT14				L-T1-12
1G1T	CVT22	CV 5.5-3C			L-TB-11~L-T2-11, L-T1-21~L-T3-21
1G2T	CVT8	CV 5.5-3C			L-T1-31~L-T3-31
1G3T	FP22-3C	FP22-3C. E14×2			直流盤
1B1T	FP8×2	FP5.5×2			L-TB-11~L-T2-11
1B2T	FP38×2	FP22×2	FP14×2	FP8×2	L-T1-21~L-T3-21
1B3T	FP60×2	FP14×2	FP6×2		L-T1-31~L-T3-31
3L1T	CVT60	CVT60. E38			P-TB-1
3L2T	CVT14	CVT14. E14×2			P-T2-1
3L3T	CVT14	CVT14. E14×2			P-T2-2
3L4T	CVT14	CVT8. E8×2			P-TR-2~3
3L5T	CVT14	CVT14. E14×2			P-TR-1
3G1T	CVT8	CV 5.5-3C			P-TB-1, P-T2-1, P-TR-3
3G2T	CV5.5-3C				直流盤



単相幹線系統図

三相幹線系統図

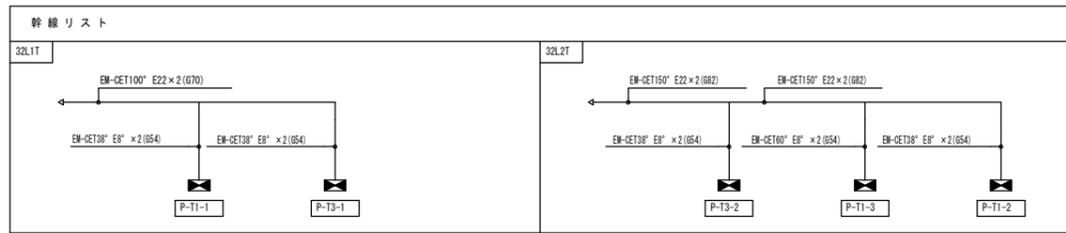
完成 図	口座名	国立オリンピック記念青少年総合センター	図面 番号	E-64
	所在	東京都渋谷区代々木神園町 3-1	層	JK
	図面 内容	低層棟 電灯・動力幹線系統図	調整 年月日	平成6年3月22日
			調整者	栗井清司



宿泊B棟

幹線系統図

宿泊A棟



注記

- 分岐接続線サイズは幹線リストによるものとし、「×2」はEO-D×1、EDELOR×1を示す。
- 幹線ケーブルの分岐はプルボックス内にてモールド分岐とすること。

凡例

記号	名称	備考
☒	動力盤	
☒	警報盤	5L
☒	プルボックス	
☒	ケーブルラック	既設
☒	防火区画貫通処理	配管用
☒	防火区画貫通処理	ケーブルラック用
—	配管配線	

警報盤 (5L) 内容表

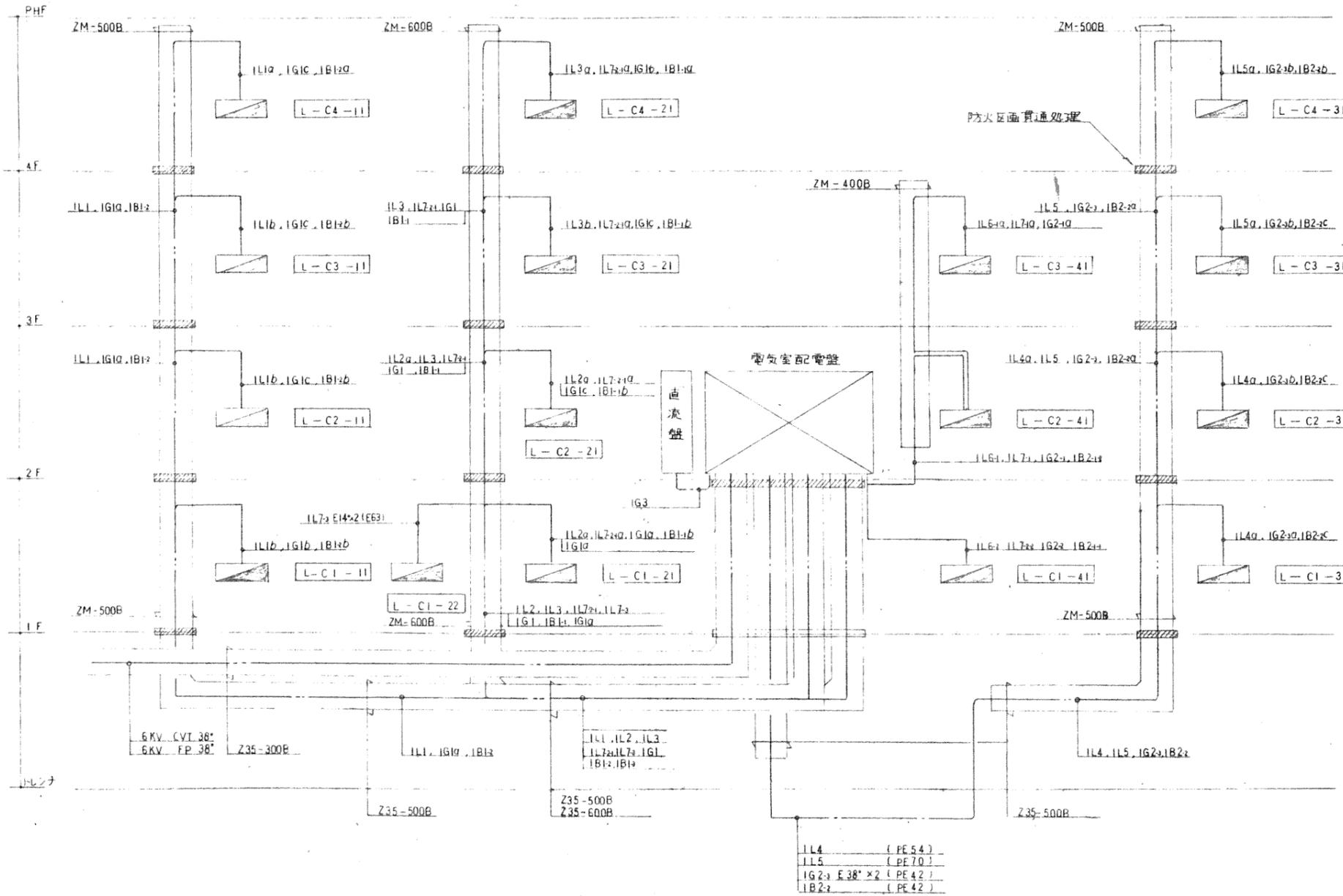
表示番号	警報名称
1	高圧き電盤 過電流5F15
2	動力盤2 限流ヒューズ溶断
3	動力盤2 配線用遮断器トリップ括
4	動力盤2 最大需要電流計
5	予備

警報盤仕様

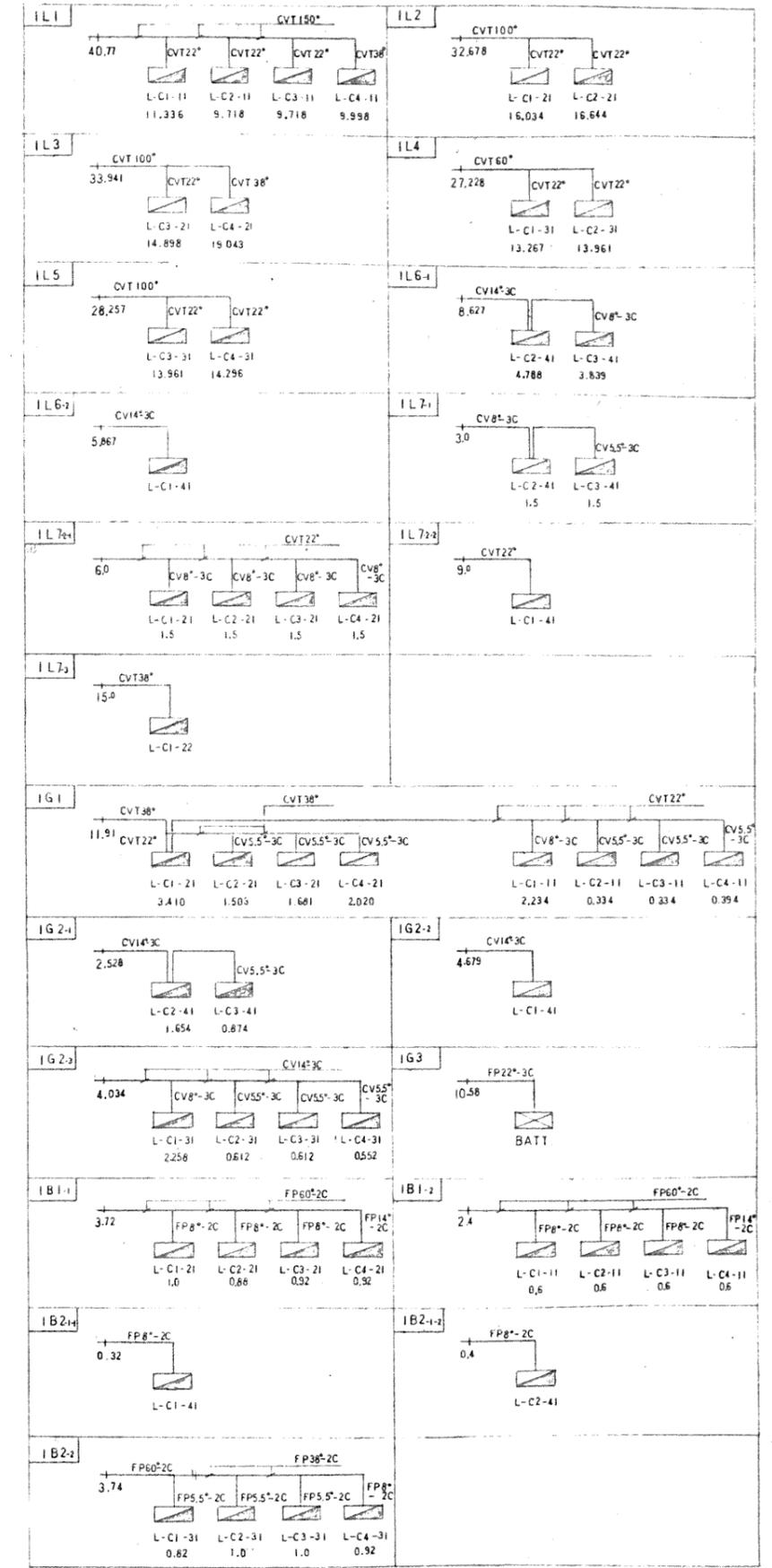
- 電源電圧 AC100V (停電補償蓄電池内蔵)
- 形状 銅板製 壁掛型
- 表示窓数 5窓 LED
- 警報入力 無電圧α接点
- 外部移報 個別・一括移報出力 (無電圧α接点)
- その他 ランプチェックボタン付  
プザー停止ボタン付  
プザー自動停止機能付

(注記) 1) 主幹線のラック上にアースE38mm<sup>2</sup>×2を布設する。ス各壁にアースE14mm<sup>2</sup>×2を設ける  
 2) 表内ケーブルサイズはmm<sup>2</sup>とする。

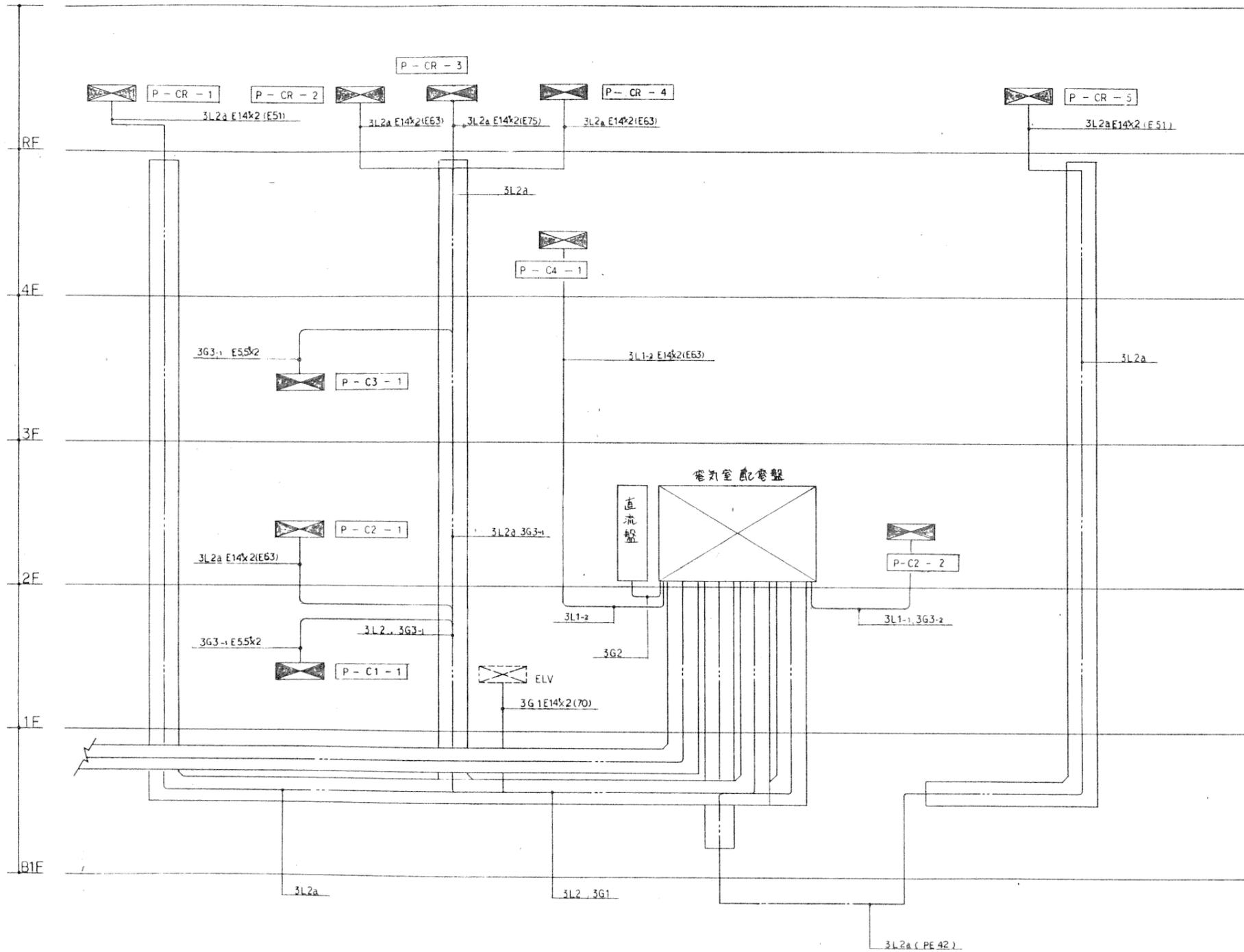
幹線番号	主幹線ケーブルサイズ	分岐ケーブルサイズ			負荷内容	幹線番号	主幹線ケーブルサイズ	分岐ケーブルサイズ			負荷内容
		a	b	c				a	b	c	
IL1	CVT150*	CVT38*	CVT22*		L-C1-11 ~ L-C4-11	IG1	CVT38*	CVT22*	CV 8*-3C	CV 55*-3C	L-C1-11 ~ L-C4-11
IL2	CVT100*	CVT22*			L-C1-21, L-C2-21	IG2-1	CV 14*-3C	CV 55*-3C			L-C1-21 ~ L-C4-21
IL3	CVT100*	CVT38*	CVT22*		L-C3-21, L-C4-21	IG2-2	CV 14*-3C				L-C1-41
IL4	CVT60*	CVT22*			L-C1-31, L-C2-31	IG2-3	CV 14*-3C	CV 8*-3C	CV 55*-3C		L-C1-31 ~ L-C4-31
IL5	CVT100*	CVT22*			L-C3-31, L-C4-31	IG3	FP 22*-3C				直流盤
IL6-1	CV 14*-3C	CV 8*-3C			L-C2-41, L-C3-41	IB1-1	FP 60*-2C	FP 14*-2C	FP 8*-2C		L-C1-21 ~ L-C4-21
IL6-2	CV 14*-3C				L-C1-41	IB1-2	FP 60*-2C	FP 14*-2C	FP 8*-2C		L-C1-11 ~ L-C4-11
IL7-1	CV 8*-3C	CV 55*-3C			L-C2-41, L-C3-41	IB2-1-1	FP 8*-2C				L-C1-41
IL7-2-1	CVT22*	CV 8*-3C			L-C1-21, L-C4-21	IB2-1-2	FP 8*-2C				L-C2-41
IL7-2-2	CVT22*				L-C1-41	IB2-2	FP 60*-2C	FP 38*-2C	FP 8*-2C	FP 55*-2C	L-C1-31 ~ L-C4-31
IL7-3	CVT38*				L-C1-22						



単相幹線系統図



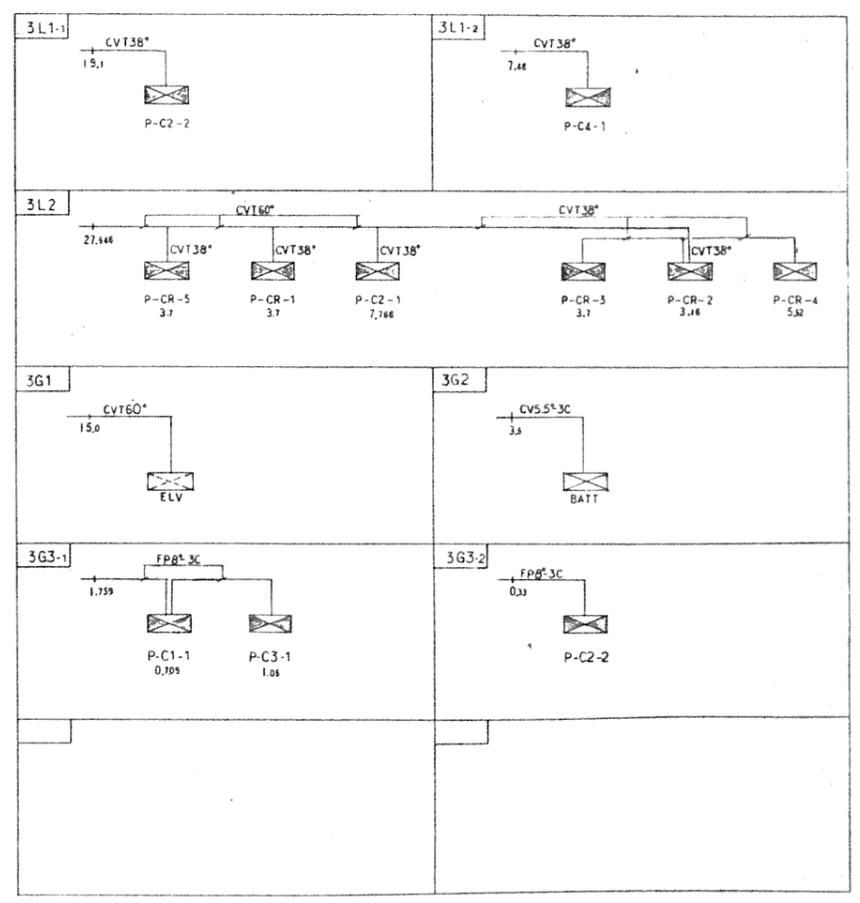
完成図	口番	国立オリンピック記念青少年総合センター	図面番号	E-24
	所在	東京都渋谷区代々木神園町 3-1	階層	R
	図面	中層棟	調製年月日	平成7年1月31日
	内容	電灯幹線系統図	調製者	奥井清司



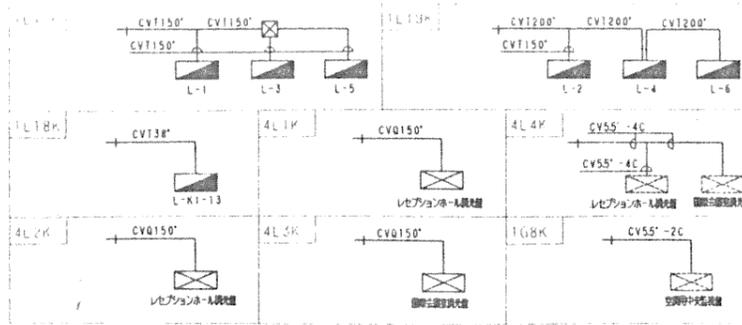
三相幹線系統図

(注記) 1) 主幹線のラック上にアース E38 mm<sup>2</sup> を布設する。  
 2) 表内ケーブルサイズは mm<sup>2</sup> とする。

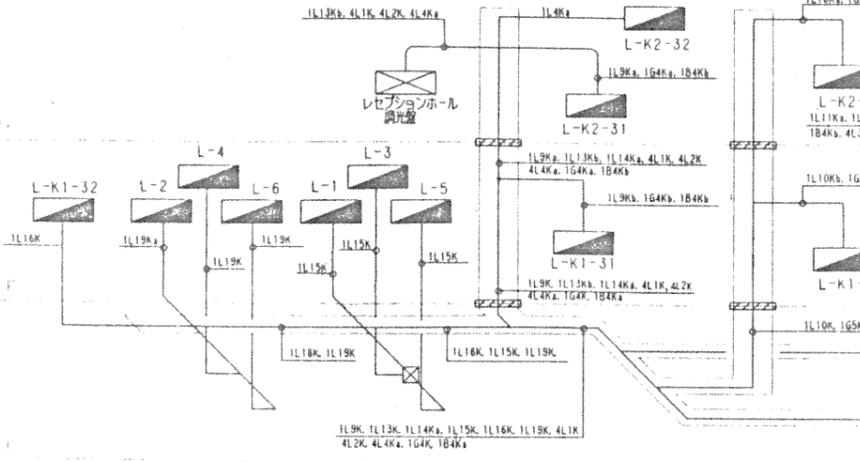
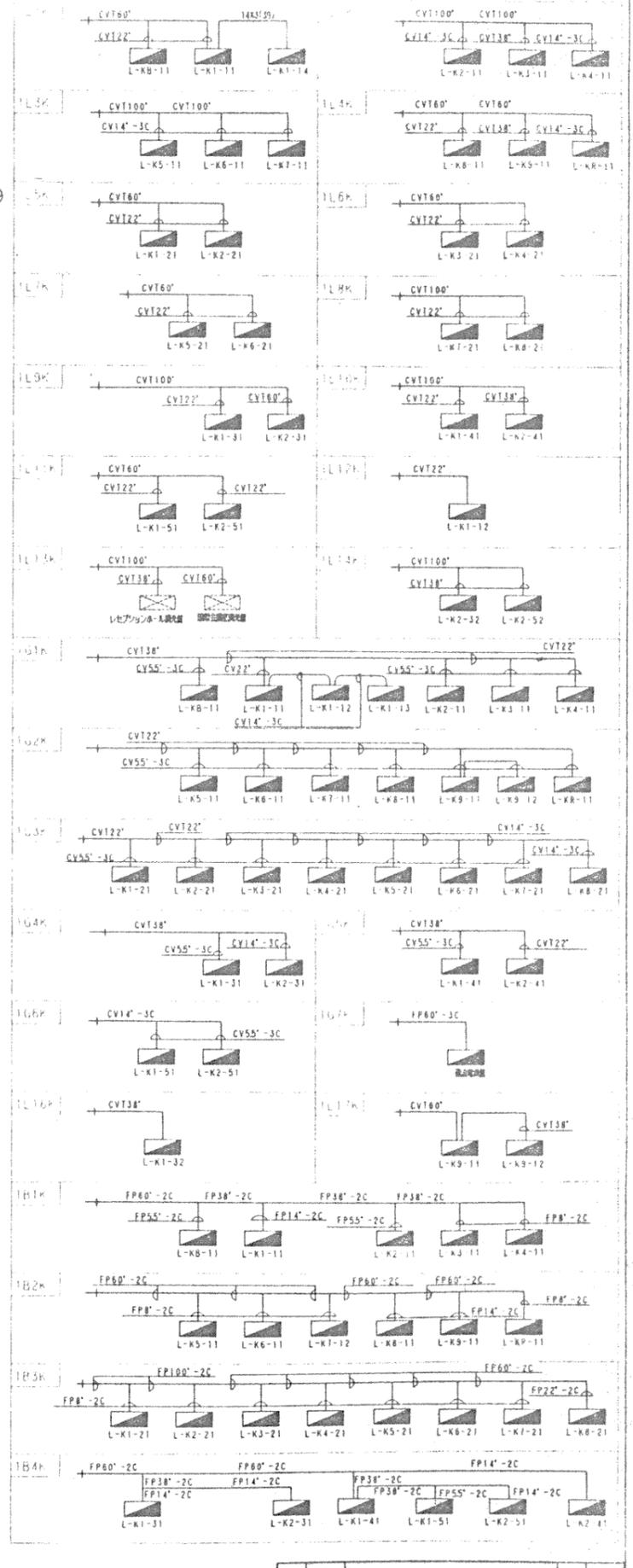
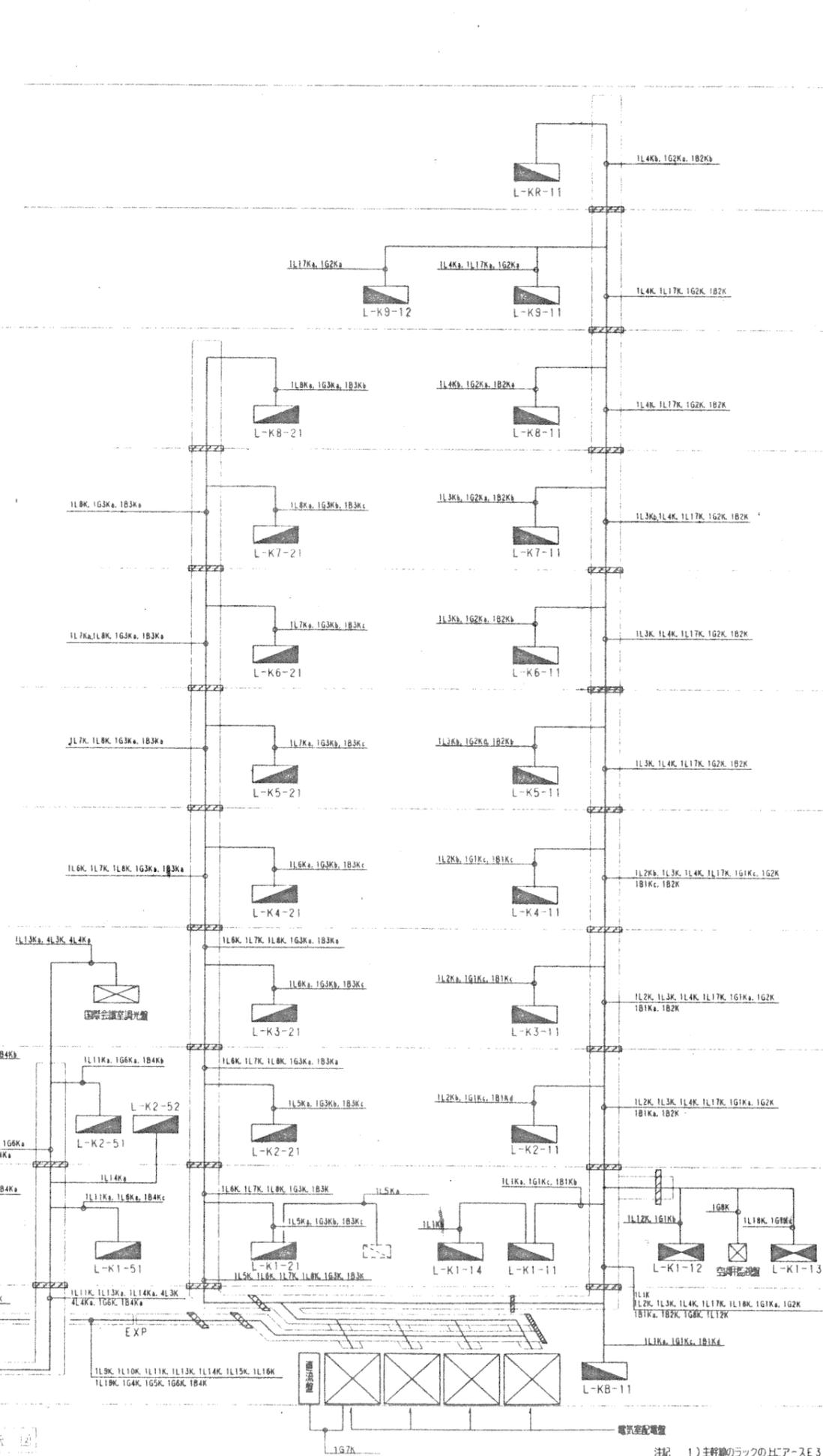
幹線番号	主幹線 ケーブルサイズ	分岐ケーブルサイズ			負荷内容
		a	b	c	
3L1-1	CVT38*				P-C2-2
3L1-2	CVT38*				P-C4-1
3L2	CVT60*	CVT38*			P-C2-1 P-CR-1 ~ P-CR-5
3G1	CVT60*				ELV
3G2	CV5.5*3C				BATT
3G3-1	FP8*3C				P-C1-1, P-C3-1
3G3-2	FP8*3C				P-C2-2



完成 図	口番名	国立オリンピック記念青少年総合センター	図面 番号	E-25
	所在	東京都武蔵野区代々木神園町 3-1	図面 種類	配線
	編者	中 藤 謙	編 年 月 日	平成 7年 1月31日
	内容	電力幹線系統図	調査者	夏井 尚 功



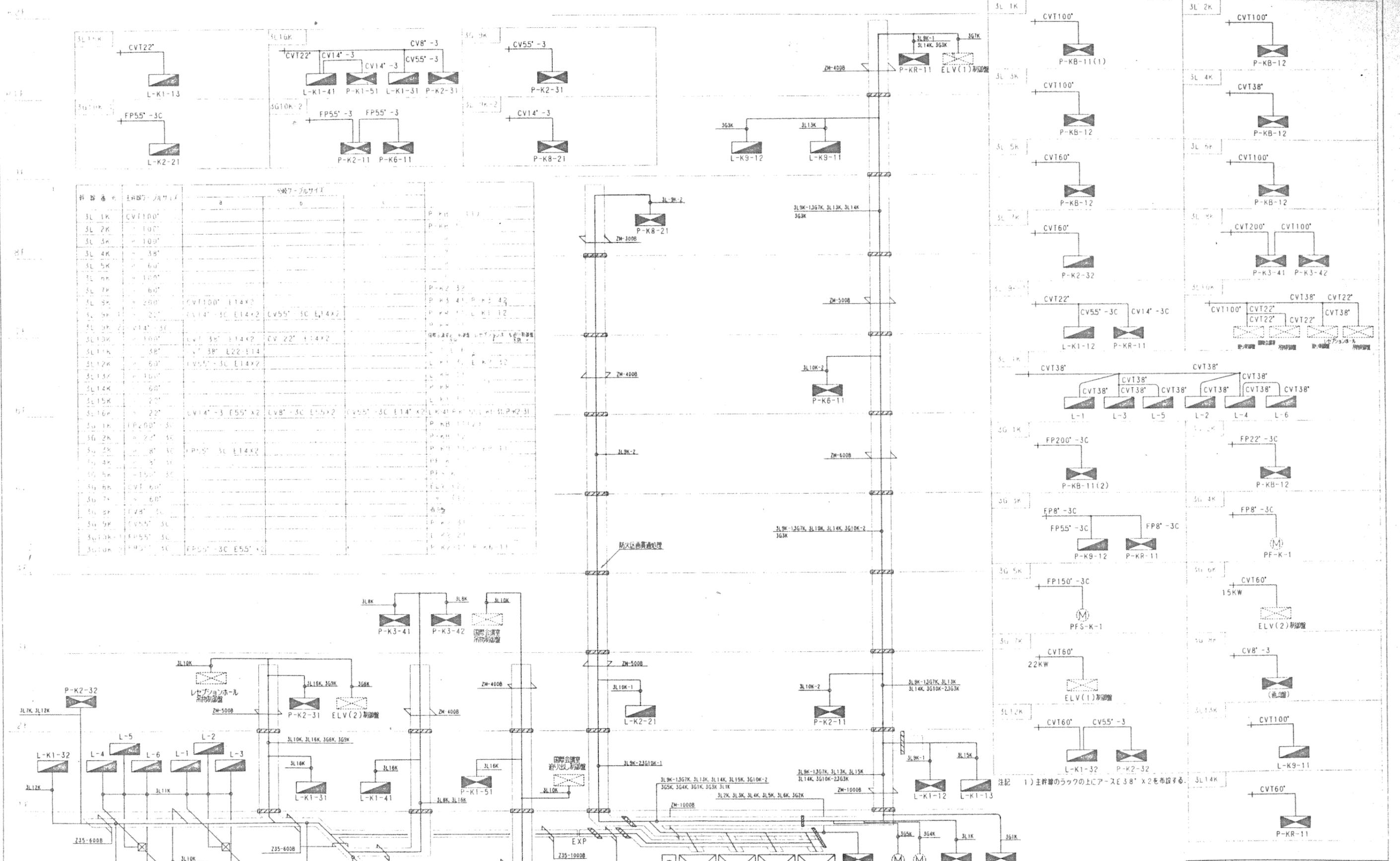
図番	記号	名称	仕様	数量	備注
1L1K	CVT160	CV122 E14x2	CV14 X3E14x2	1	L-KB-11, L-K1-11, L-K1-14
1L2K	CVT100	CV138	CV14 X3E14x2	1	L-K2-11, L-K4-11
1L3K	CVT100	CV138	CV14 X3E14x2	1	L-K5-11, L-K7-11
1L4K	CVT160	CV138 E14x2	CV14 X3E14x2	1	L-KB-11, L-KR-11
1L5K	CVT160	CV122 E14x2	CV14 X3E14x2	1	L-K1-21, L-K2-21
1L6K	CVT160	CV122 E14x2	CV14 X3E14x2	1	L-K3-21, L-K4-21
1L7K	CVT160	CV122 E14x2	CV14 X3E14x2	1	L-K5-21, L-K6-21
1L8K	CVT160	CV122 E14x2	CV14 X3E14x2	1	L-K7-21, L-KB-21
1L9K	CVT100	CV160 E14x2	CV122 E14x2	1	L-K1-31, L-K2-31
1L10K	CVT100	CV138 E14x2	CV122 E14x2	1	L-K1-41, L-K2-41
1L11K	CVT160	CV122 E14x2	CV18 X3E14x2	1	L-K1-51, L-K2-51
1L12K	CV122			1	L-K1-12
1L13K	CVT160	CV160 E22-E14	CV138 E22-E14	1	照明器具の交換 器具の交換
1L14K	CVT100	CV138 E14x2	CV14 X3E14x2	1	L-K2-32, L-K2-52
1L15K	CVT150	CV138 E14x2	CV14 X3E14x2	1	L-1, L-3, L-5
1L16K	CV138			1	L-K1-32
1L17K	CVT160	CV138 E14x2	CV14 X3E14x2	1	L-K9-11, L-K9-12
1L18K	CV138			1	L-K1-13
1L19K	CVT200	CV150 E22-E14	CV14 X3E14x2	1	L-2, L-4, L-6
1G1K	CV138	CV122	CV14-3C, CV55-3C	1	L-KB-11, L-K1-11, L-K1-14
1G2K	CV122	CV55-3C	CV14-3C, CV55-3C	1	L-K5-11, L-KR-11, L-K9-11
1G3K	CV122	CV14-3C, CV55-3C	CV14-3C, CV55-3C	1	L-K1-21, L-KB-21
1G4K	CV138	CV14-3C, CV55-3C	CV14-3C, CV55-3C	1	L-K1-31, L-K2-31
1G5K	CV138	CV122, CV55-3C	CV14-3C, CV55-3C	1	L-K1-41, L-K2-41
1G6K	CV14-3C, CV55-3C	CV14-3C, CV55-3C	CV14-3C, CV55-3C	1	L-K1-51, L-K2-51
1G7K	FP60-2C	FP38-2C, FP14-2C, FP55-2C	FP14-2C, FP55-2C	1	照明器具の交換
1B1K	FP60-2C	FP38-2C, FP14-2C, FP55-2C	FP14-2C, FP55-2C	1	照明器具の交換
1B2K	FP60-2C	FP38-2C, FP14-2C, FP55-2C	FP14-2C, FP55-2C	1	照明器具の交換
1B3K	FP100-2C	FP60-2C, FP22-2C, FP8-2C	FP8-2C	1	L-K1-21, L-KB-21
1B4K	FP60-2C	FP38-2C, FP14-2C, FP55-2C	FP14-2C, FP55-2C	1	L-K1-31, L-K2-31, L-K1-41, L-K2-41
4L1K	CVQ150			1	照明器具の交換
4L2K	CVQ150			1	照明器具の交換
4L3K	CVQ150			1	照明器具の交換
4L4K	CV55-4C	CV55-4C	CV55-4C	1	照明器具の交換



電圧降下計算表

図名	国立オリンピック記念青少年総合センター	図番	F-61
所在	東京都渋谷区代々木神園町 3-1	階数	1F
図面	国際交流館電線図	図名	完成図
内容	電灯制御系統図	作成日	平成7年12月31日
		図監査	荒井清司

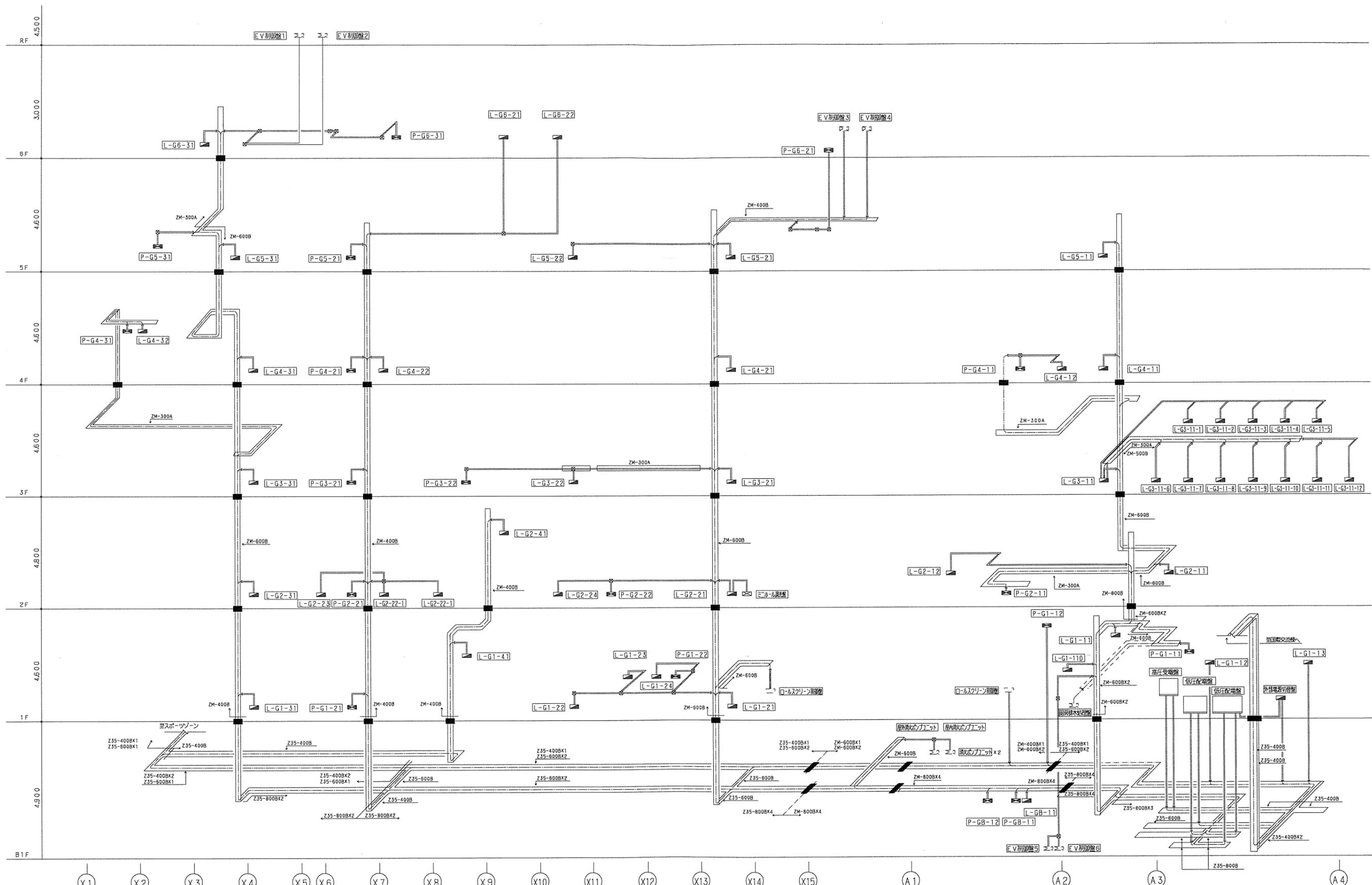
注記 1) 主幹線のラックの上アース38' X2を施設とする。



階層番号	設備名・仕様	寸法	設置位置	備考
3L 1K	CVT100°			
3L 2K	CVT100°			
3L 3K	CVT100°			
3L 4K	CVT38°			
3L 5K	CVT100°			
3L 6K	CVT100°			
3L 7K	CVT100°			
3L 8K	CVT100°			
3L 9K	CVT100°			
3L 10K	CVT100°			
3L 11K	CVT100°			
3L 12K	CVT100°			
3L 13K	CVT100°			
3L 14K	CVT100°			
3L 15K	CVT100°			
3L 16K	CVT100°			
3L 17K	CVT100°			
3L 18K	CVT100°			
3L 19K	CVT100°			
3L 20K	CVT100°			
3L 21K	CVT100°			
3L 22K	CVT100°			
3L 23K	CVT100°			
3L 24K	CVT100°			
3L 25K	CVT100°			
3L 26K	CVT100°			
3L 27K	CVT100°			
3L 28K	CVT100°			
3L 29K	CVT100°			
3L 30K	CVT100°			

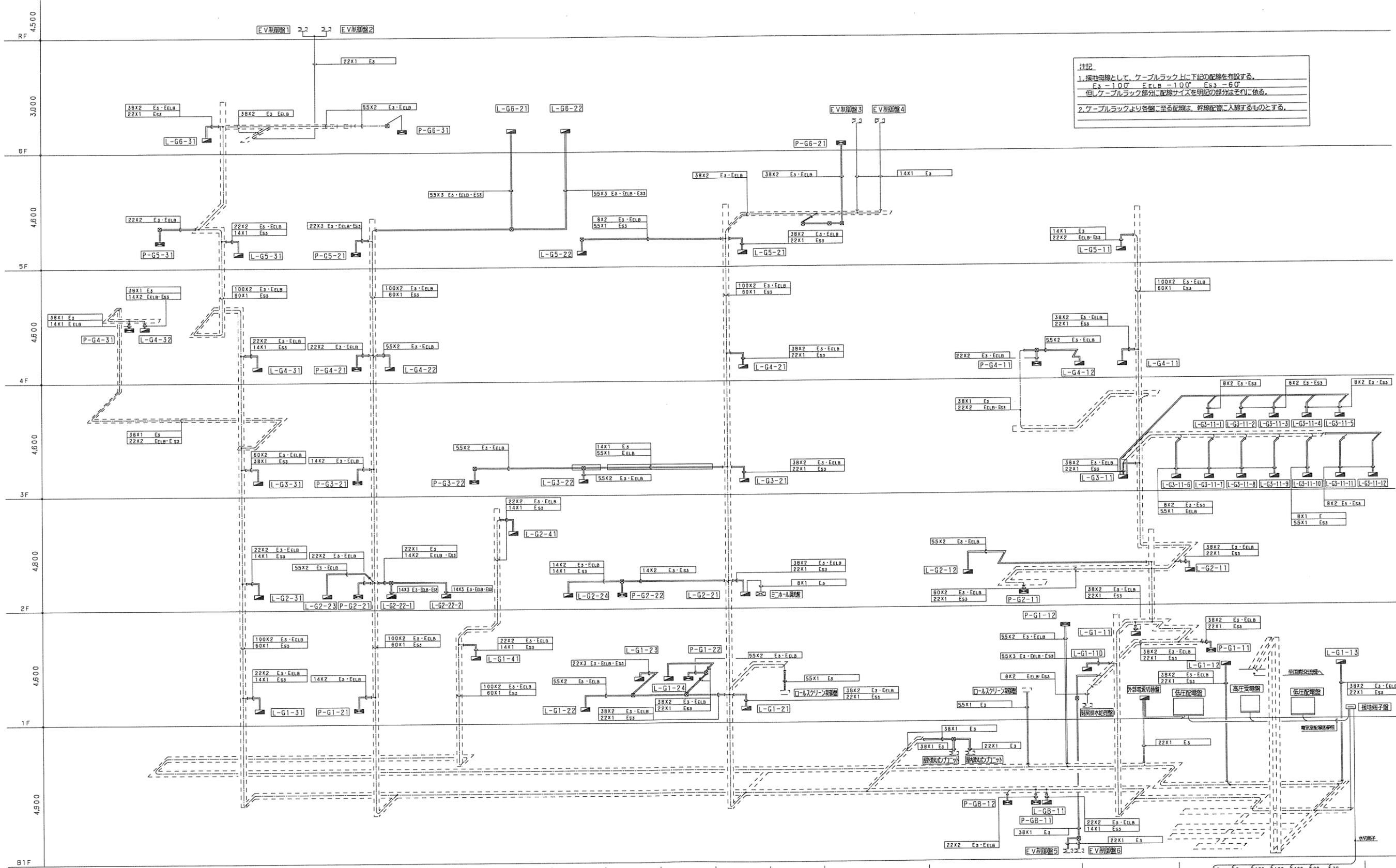
完成図	図名	国立オリンピック記念青少年総合センター	図番	E-62
	所在	東京都渋谷区代々木神園町 3-1	階層	1F
	図種	国際会議室給排水	製図年月日	平成 7年 1月 31日
	内容	動力系統系統図	製図者	荒井 尚司

注記 1) 主幹線のラックの上にアース 38' x 2 を布設する。



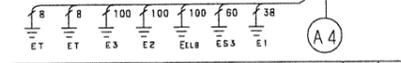
研修棟 幹線系統図

完 成 図	□ 廠名	国立オリンピック記念青少年総合センター Ⅱ・Ⅲ区電気設備(電力)工事	図面 番号	E-50
	所 在	東京都渋谷区代々木神園町3-1	縮 尺	
	調 査 年 月 日	平成10年 2月10日	調 査 者	佐々木茂雄
	図 面 内 容	研修棟 幹線系統図		

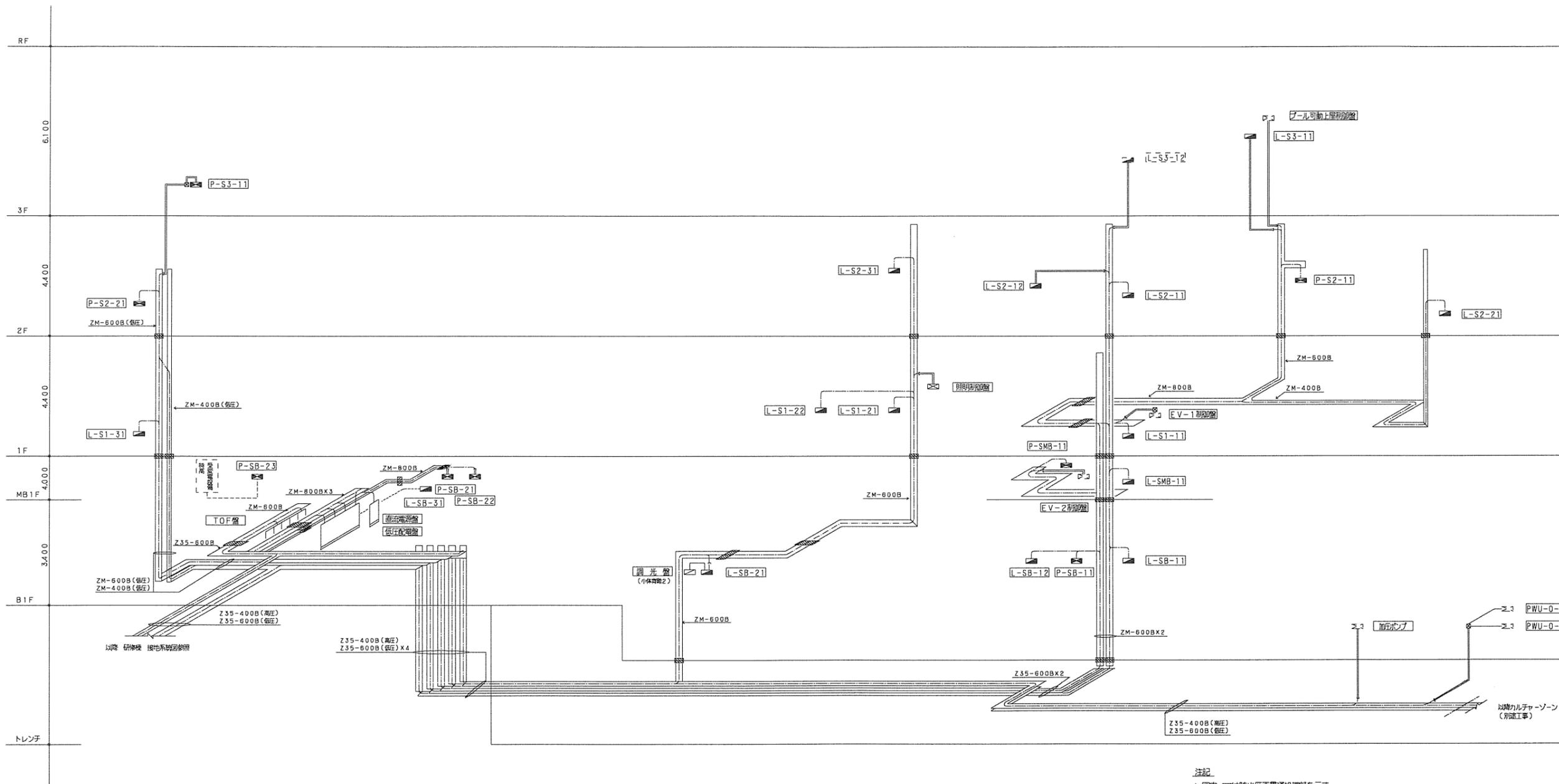


注記  
 1. 接地母線として、ケーブルラックに下記の配線を布設する。  
 Es-100' E-LB-100' Es-60'  
 但しケーブルラック部分に配線サイズを明記の部分はそれに依る。  
 2. ケーブルラックより各層に至る配線は、幹線配線に接続するものとする。

研修棟 接地線系統図



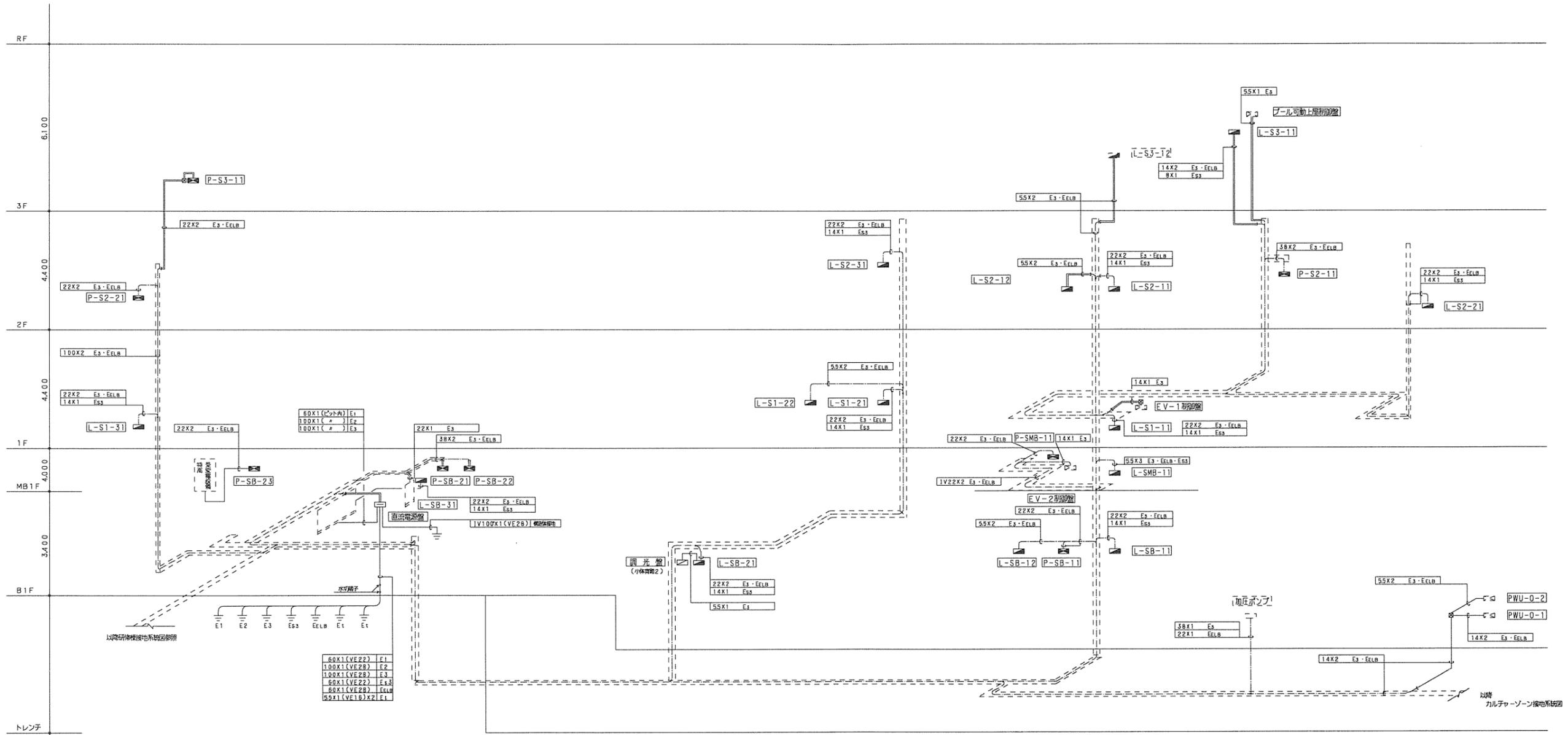
完成図	□ 図名	国立オリンピック記念青少年総合センター Ⅱ・Ⅲ工区電気設備(電力)工事	図面 番号	E-51
	所在	東京都渋谷区代々木神園町3-1	種別	R
	図面 内容	研修棟 接地線系統図	調整 年月日	平成10年 2月10日
		調整者	在々本茂雄	



注記  
 1. 図中 は防火区画貫通処理部を示す。

体育館 幹線系統図

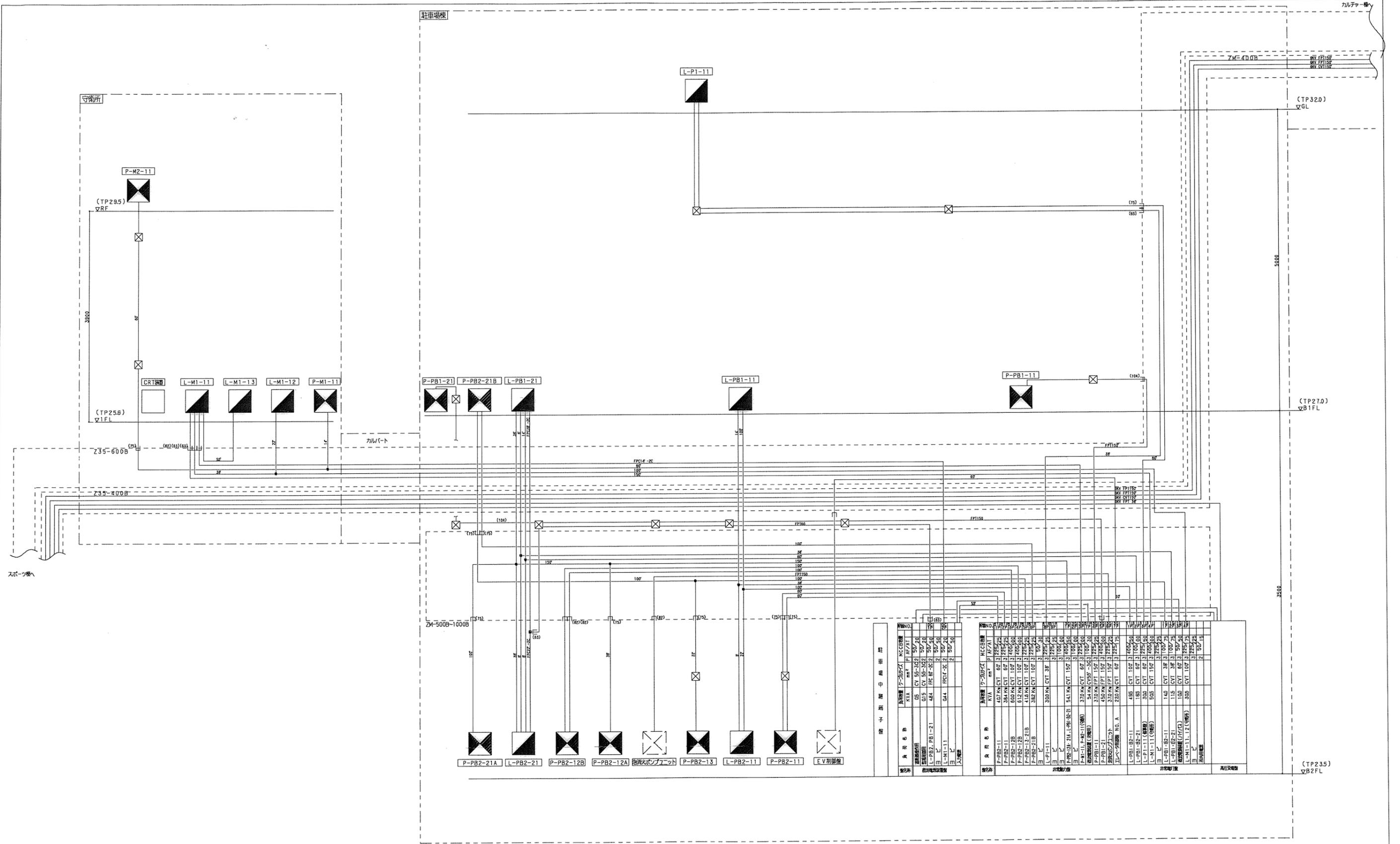
完成図	口座名	国立オリンピック記念青少年総合センター Ⅱ・Ⅲ工区電気設備(電力)工事	図面 番号	E-26
	所在	東京都渋谷区代々木神園町3-1	縮 尺	
	図面 内容	体育館 幹線系統図	調 整 年月日	平成10年 9月30日
			調整者	笠原 康成



体育館 接地線系統図

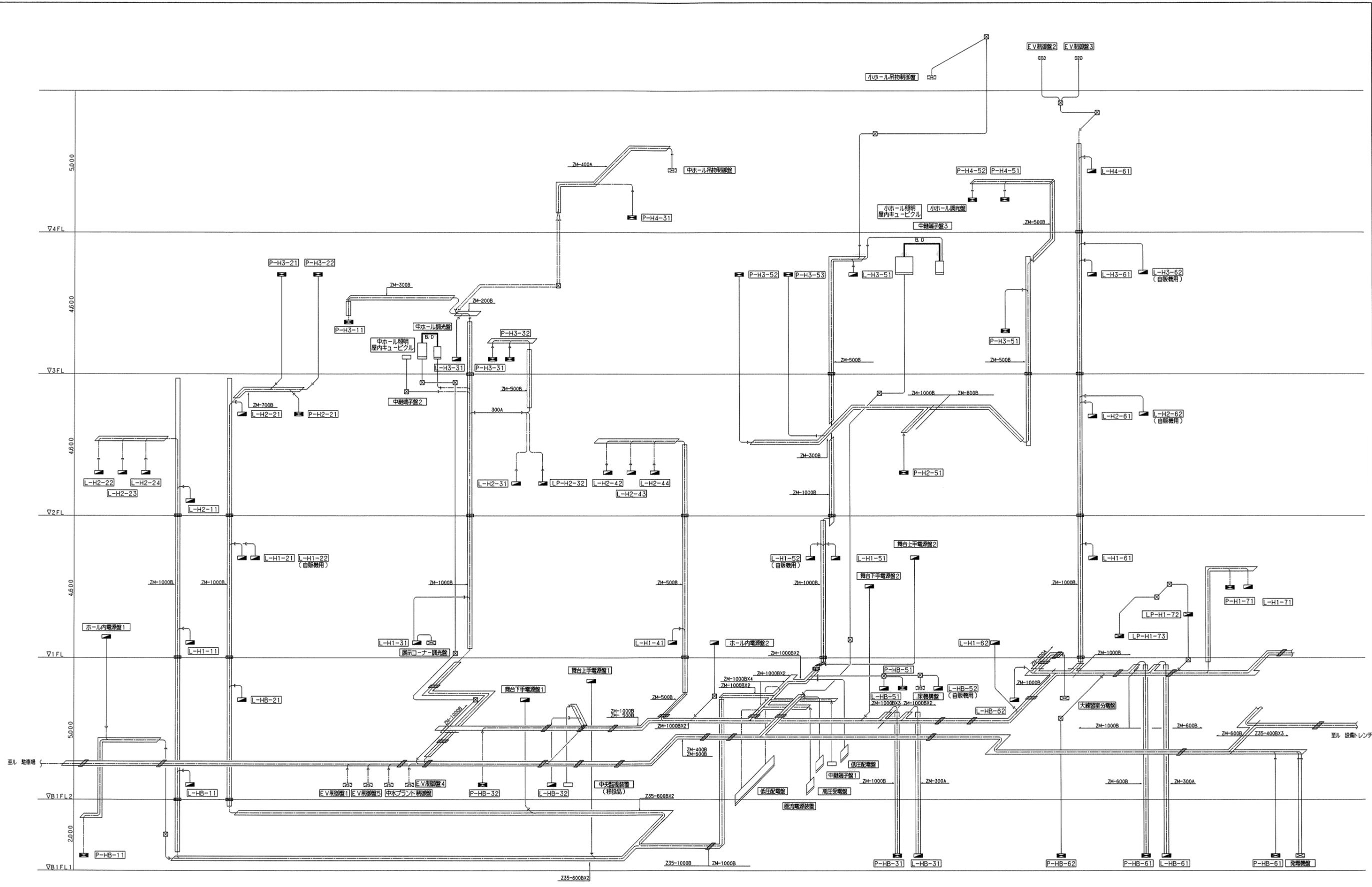
注記  
 1. 接地母線として、ケーブルラック上にて下記を配線の事。  
 E100X1(E3), E60X1(Es3), E100X1(EELB)  
 2. 各盤への接地線は幹線用配管に入線するものとする。

完成図	図名	国立オリンピック記念青少年総合センター Ⅱ・Ⅲ工区電気設備(電力)工事	図面 番号	E-27
	所在	東京都渋谷区代々木神園町3-1	規模	R
	図面 内容	体育館 接地線系統図	図 年月日	平成10年 9月30日
			調整者	笠原 康成



名称	規格	数量	単位	備注
分岐ケーブル	分岐ケーブル	100	m	
ケーブル	ケーブル	200	m	
ケーブル	ケーブル	300	m	
ケーブル	ケーブル	400	m	
ケーブル	ケーブル	500	m	
ケーブル	ケーブル	600	m	
ケーブル	ケーブル	700	m	
ケーブル	ケーブル	800	m	
ケーブル	ケーブル	900	m	
ケーブル	ケーブル	1000	m	
ケーブル	ケーブル	1100	m	
ケーブル	ケーブル	1200	m	
ケーブル	ケーブル	1300	m	
ケーブル	ケーブル	1400	m	
ケーブル	ケーブル	1500	m	
ケーブル	ケーブル	1600	m	
ケーブル	ケーブル	1700	m	
ケーブル	ケーブル	1800	m	
ケーブル	ケーブル	1900	m	
ケーブル	ケーブル	2000	m	

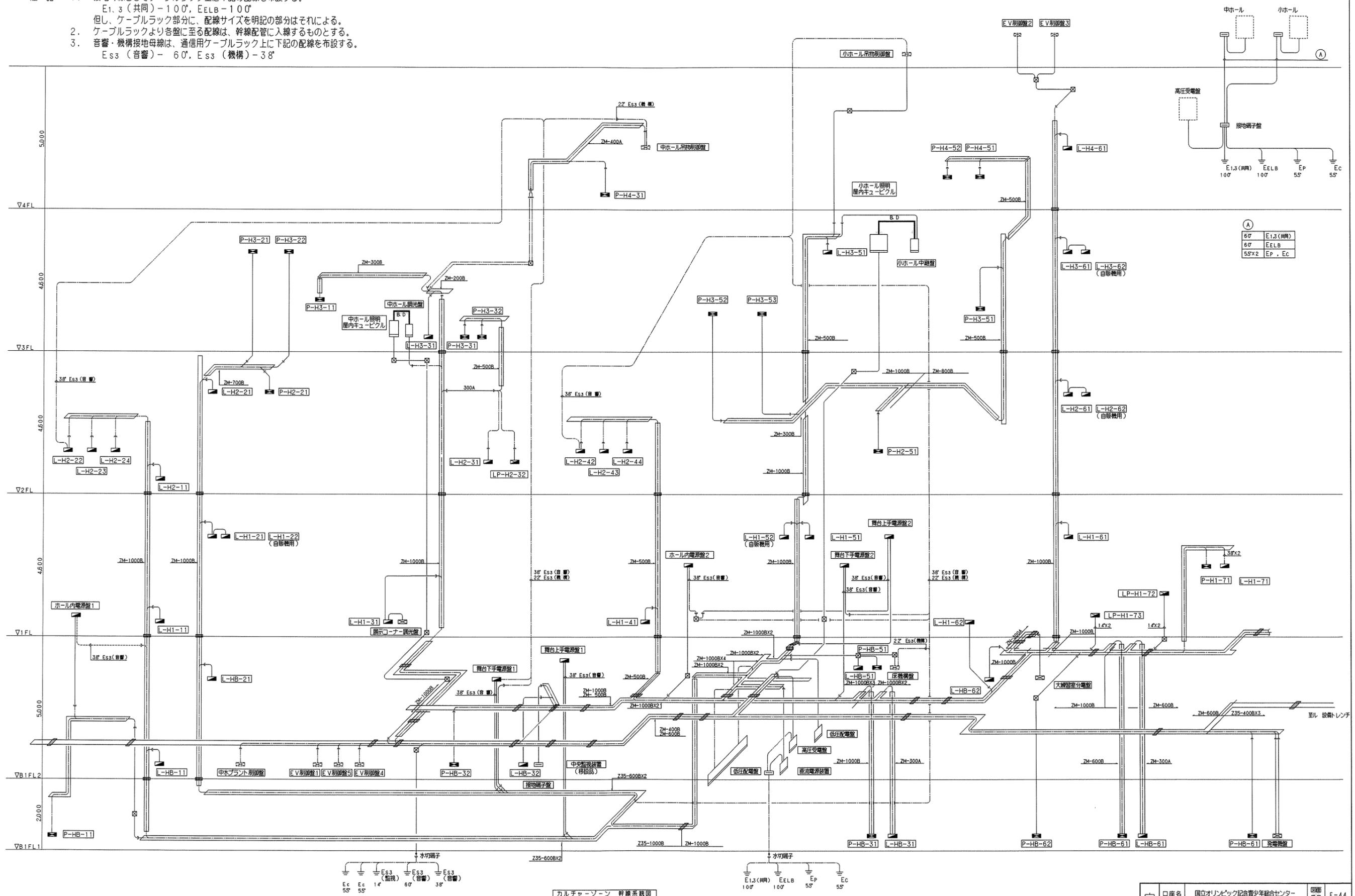
完成図	□ 図名	国立オリンピック記念青少年総合センター	図面番号	E-17
	所 在	東京都渋谷区代々木神園町3-1	縮 尺	
	図 面	駐車場	調 査 年 月 日	平成12年 3月28日
	内 容	幹線系統図	調 整 者	立 原 康 成



カルチャーゾーン 幹線系統図

完成	口座名	国立オリンピック記念青少年総合センター	図面番号	E-43
	所在	東京都渋谷区代々木神園町3-1	縮尺	
	図面年月日	カルチャー棟	調査年月日	平成13年 3月28日
	内容	幹線系統図	調整者	森村 高志

- 注記 1. 接地母線としてケーブルラック上に下記の配線を布設する。  
 E1, 3 (共同) - 100φ, EELB - 100φ  
 但し、ケーブルラック部分に、配線サイズを明記の部分はそれによる。  
 2. ケーブルラックより各盤に至る配線は、幹線配管に入線するものとする。  
 3. 音響・機構接地母線は、通信用ケーブルラック上に下記の配線を布設する。  
 E<sub>SS</sub> (音響) - 60φ, E<sub>SS</sub> (機構) - 38φ



60φ	E1,3 (共同)
60φ	EELB
55φx2	E <sub>p</sub> , E <sub>c</sub>

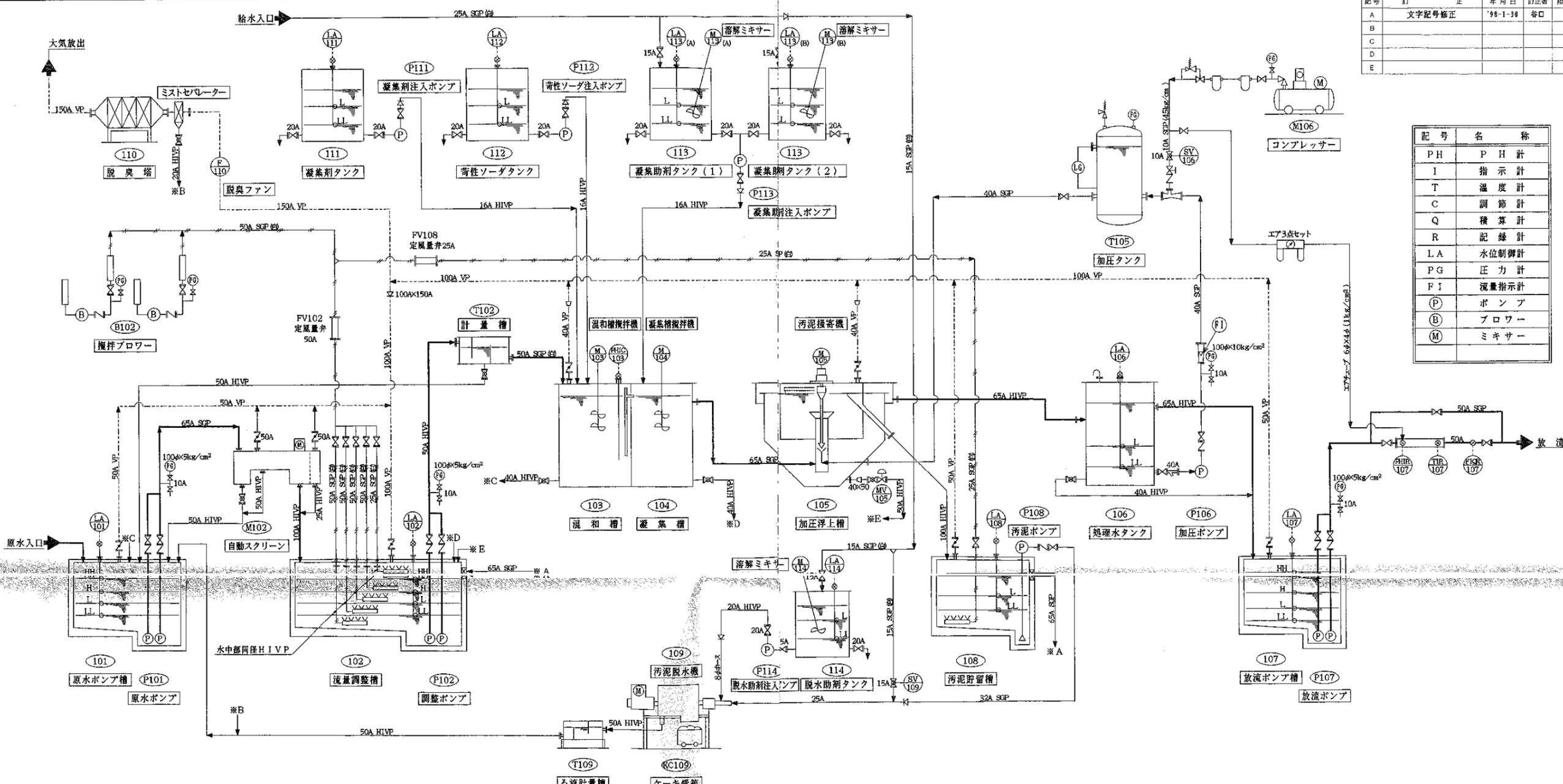
完成 図	口座名	国立オリンピック記念青少年総合センター	図面 番号	E-44
	所在	東京都渋谷区代々木神園町3-1	縮尺	
	図面 年月日	カルチャー社	調整 年月日	平成13年 3月28日
	内容	接地線・制御系統図	調整者	峯村 高志

カルチャーゾーン 幹線系統図

## 8. 厨房排水处理系统图

記号	訂正	年月日	訂正者	相当承認
A	文字記号修正	'98-1-30	谷口	
B				
C				
D				
E				

記号	名称
PH	PH計
I	指示計
T	温度計
C	調整計
Q	積算計
R	記録計
LA	水位制御計
PG	圧力計
FI	流量指示計
P	ポンプ
B	ブロー
M	ミキサー



名称	P113	P114	B102 (A, B)	F110	M102	M103	M104	M105	M106	M113 (A) (B)	M114	SV106	SV109	MV105
数量	1	1	2 (内1台予備)	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1
材質	PVC	PVC	FC	PVC	SUS	SUS	SUS	SS/タールエゴ	SI	SUS	SUS	BC	FC	FC
要項	ダイヤフラム可変式	ダイヤフラム可変式	ルーツ型	ターボファン	自動揚上式	整型ベルト減速式	整型ギア減速式	中心駆動式	圧力閉閉式	可搬式	可搬式	直動	直動	直動
付属品			定風量弁×2						圧力計			電磁弁	電磁弁	電磁弁

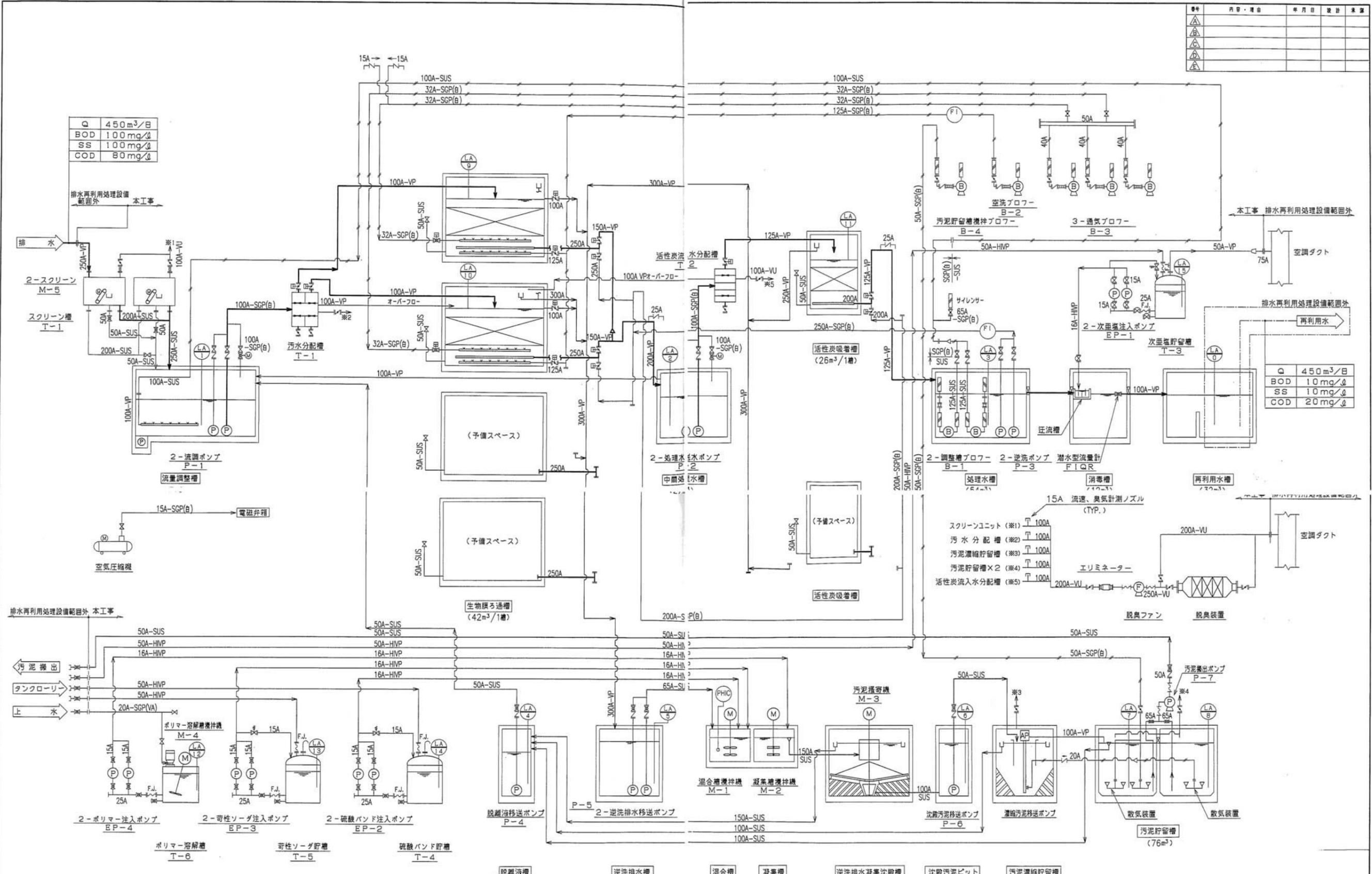
名称	114	T102	T105	T109	KC109	P101	P102	P106	P107	P108	P111	P112	FV102	FV108
数量	1	1	1	1	2	2	2	1	2	1	1	1	1	1
材質	ポリエチレン	SS/タールエゴ	SS	SS/タールエゴ	SS/タールエゴ	FC	FC	FC	FC	FC	PVC	PVC	FC	FC
要項	φ0.9m×0.9mH	0.4m×0.8m×0.5mH	φ0.3×0.8mH (直動部)	0.4m×0.8m×0.5mH	0.45m×0.28m×0.5mH	管脱式水中汚物ポンプ	管脱式水中汚物ポンプ	横型濾過ポンプ	管脱式水中汚物ポンプ	流量可変モノポンプ	ダイヤフラム可変式	ダイヤフラム可変式	50A	25A
付属品	LA114	三角ノッチ	圧力計	三角ノッチ	4輪車付	圧力計	圧力計	FI	圧力計	FI	圧力計	圧力計		

名称	101	102	103	104	105	106	107	108	109	110	111	112	113
数量	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2
材質	R.C	R.C	SS/タールエゴ	SS/タールエゴ	SS/タールエゴ	SS/タールエゴ	R.C	R.C	SUS	PVC	ポリエチレン	ポリエチレン	ポリエチレン
要項	2.9m×3.3m×1.5mD	(6m×13)-(3×4×3)×1.5mD	0.7m×1.0m×1.8mD	0.7m×1.0m×1.8mD	φ1.6m×1.8mH	φ1.1m×1.8mH	2.895m×5.6m×1.5mD	2.895m×4.3m×1.5mD	6kgφ2.2KW	2.02m×0.665m×0.66H	φ655×660H	φ655×660H	φ655×660H
付属品	LA101	LA102	PHIC103	PHIC103	MV105	LA106	LA107	LA108	SUS304/SV109		LA111	LA112	LA113 (A) (B)

工事番号	W-950439	設計者	旭シロテック株式会社	設計者	旭シロテック株式会社
図名		設計者	旭シロテック株式会社	設計者	旭シロテック株式会社
設計者		設計者	旭シロテック株式会社	設計者	旭シロテック株式会社
設計者		設計者	旭シロテック株式会社	設計者	旭シロテック株式会社
設計者		設計者	旭シロテック株式会社	設計者	旭シロテック株式会社
設計者		設計者	旭シロテック株式会社	設計者	旭シロテック株式会社
設計者		設計者	旭シロテック株式会社	設計者	旭シロテック株式会社
設計者		設計者	旭シロテック株式会社	設計者	旭シロテック株式会社
設計者		設計者	旭シロテック株式会社	設計者	旭シロテック株式会社
設計者		設計者	旭シロテック株式会社	設計者	旭シロテック株式会社

## 9. 排水再利用処理設備系統図

番号	内容・理由	年月日	設計	承認
△				
△				
△				
△				



Q	450 m <sup>3</sup> /日
BOD	100 mg/ℓ
SS	100 mg/ℓ
COD	80 mg/ℓ

Q	450 m <sup>3</sup> /日
BOD	10 mg/ℓ
SS	10 mg/ℓ
COD	20 mg/ℓ

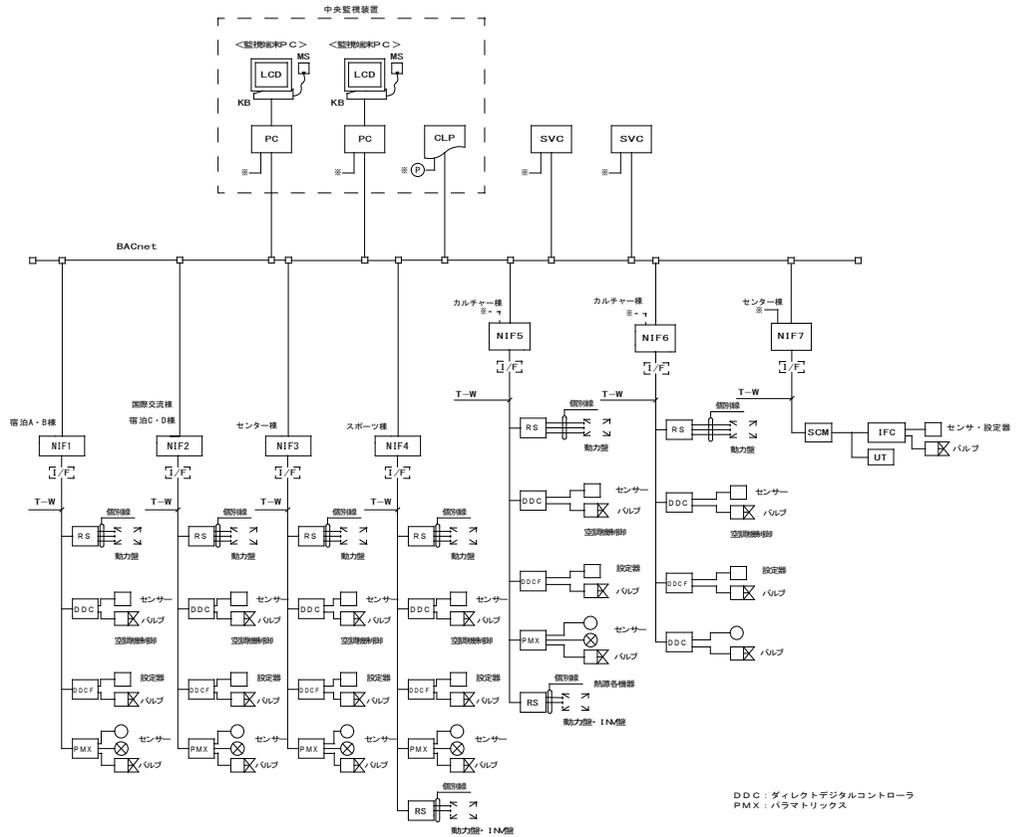
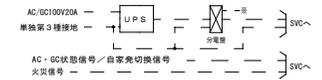
充て紙名	監村バグ処理機メーカー 飲料用浄水器	図番	3/16
所在	東京都渋谷区代々木神宮町3-1	縮尺	-
成図	フローシート	調整日	平成13年3月30日
図内容		調整者	中田 修

## 10. 自動制御システム一式及び点検仕様

# 1. 自動制御システム構成図

記号	名称	概要	参考仕様
PC	中央監視端末	システム管理情報の表示・操作及び、各種プログラムの設定、変更を行う。 マウスにて画面の選択及び、操作を行う。	CPU : Intel Core i3-5167U以上 グラフィック : Intel HD 5500以上 メモリ : 8GB以上 ストレージ(SSD) : 推奨256GB以上(40GB以上の空き容量) DVD-ROMドライブ : DVD-ROM8倍速、CD-ROM24倍速 電源 : AC100V±10%、50Hz、360VA(LCD含む) OS : Microsoft Windows 10(64ビット) ライセンス : IoT Enterprise プラグイン : Microsoft Excel (システム機能説明を満たすバージョンとすること) 周辺機器 : マウス(MS)、キーボード(KB)、スピーカー(SP)
LCD (PC)	液晶ディスプレイ	表示の中心となるユニットで、各種のリストやグラフの表示を行う。 又、マルチウィンドウ表示により複数のグラフ、データの同時表示を行う。	表示サイズ : 27型 表示色 : 1619万色以上 表示文字 : 英数字、カナ、ひらがな、漢字(JIS第1、第2水準)、記号及び、図形 解像度 : 1920x1080ドット
CLP	カラーレーザプリンタ	各種データの印刷を行う。 1. 日報、月報、年報 2. トレンドデータ 3. 各種一覧リスト 4. 画面	印字方法 : 電子写真方式 印字色 : フルカラー 印字用紙 : A4 電源 : AC100V±10%、50Hz、1500VA 温度条件 : 10~30℃
Ethernet (BACnet 1P)		中央監視装置の基幹をなす伝送線であり、各種データ伝送を行う。 通信プロトコルはBACnet 2012(プロトコルレビジョン14)、HTTPSなど。	通信方式 : Ethernet、TCP/IPプロトコル群、IPv4対応 通信速度 : 100Mbps ケーブル仕様 : 100BASE-T(カテゴリ5e以上)、100BASE-FX(エコマテリアル)
SVC	統合コントローラ	PC(中央監視端末)のシステム全体の管理情報(グラフィック画面、ポイント、プログラム等)の表示、設定、操作を行うための情報の一元管理を行う。 また、システム全体の管理、定期でのデータ収集、蓄積、加工及び、下記の周辺装置への入出力を制御する。(24時間常時動作対応) 各コントローラと伝送を行い、ポイントデータ、スケジュール制御等を管理する。 又、トレンドデータの蓄積を行う。	主処理装置 : 64ビットCPU 主記憶容量 : 2GB以上 補助記憶装置 : SSD等 (システム機能仕様を満たすこと) OS : Linux 最大管理点数 : 8000ポイント 電源 : AC100~240V、50Hz、60VA 画面枚数 : 120枚(参考枚数)
NIF	NC-busインターフェース	中央監視装置とNC-bus通信リモート機器との通信を行う。	通信方式 : 上位レベル BACnet 1P 下位レベル NC-bus(専用通信) NC-busライン数 : 4ライン/ユニット 電源 : AC100~240V、50Hz、63VA

既存メーカー：アズビル(株)



DDC: デジタルディジタルコントローラ  
PMX: パラマトリックス

## 2. 計装設備

### － 点検対象系統 －

区 分	対象設備	数 量	点検種別					点検回数	
			遠隔	オンサイト	実測	総合	基本		
セントラル側	中央監視装置/savic-netG5	1 式						年 12 回	
	SVC・NIF		○					年 1 回	
	監視用PC・プリンタ他周辺装置	1 式	○	○				年 12 回	
	伝送端末装置	1 式	○					年 12 回	
	無停電電源装置	1 台		○				年 1 回	
ローカル側 A・B・C棟	熱源廻り制御	1 式	○					年 2 回	
				○	○			年 1 回	
	熱源バルブ開閉制御	1 式			○	○		年 1 回	
	冷却塔制御	1 式				○		年 1 回	
	外調機制御	11 式	○					年 2 回	
				○				年 1 回	
	貯湯槽制御	6 式					○	年 1 回	
	熱交換器制御 (1)	4 式					○	年 1 回	
	熱交換器制御 (2)	2 式					○	年 1 回	
	還水槽制御	1 式					○	年 1 回	
	水槽制御	1 式					○	年 1 回	
	ファン発停制御	3 式					○	年 1 回	
	蒸気発生器制御	1 式			○	○		年 1 回	
	D棟・国際交流棟	熱源廻り制御	1 式	○					年 2 回
					○	○			年 1 回
		冷却塔制御	2 式			○	○		年 1 回
		空調機制御 (1)	10 式	○					年 2 回
					○				年 1 回
		空調機制御 (2)	2 式	○					年 2 回
					○				年 1 回
空調機制御 (3)		7 式	○					年 2 回	
				○				年 1 回	
貯湯槽制御		3 式					○	年 1 回	
パッケージ制御 (1)		1 式					○	年 1 回	
パッケージ制御 (2)		3 式					○	年 1 回	
ファンコイルユニット制御 (1)		6 式	○					年 1 回	
ファンコイルユニット制御 (2)		7 式	○					年 1 回	
熱交換器制御	2 式					○	年 1 回		
蒸気発生器制御	1 式			○	○		年 1 回		
計測系統						○	年 1 回		
センター棟	熱源廻り制御	1 式	○					年 2 回	
				○	○			年 1 回	
	冷却塔制御	2 式			○	○		年 1 回	

区 分	対象設備	数 量	点検種別					点検回数
			遠隔	オンサイト	実測	総合	基本	
センター棟	空調機制御 (1)	2 式	○	○				年 2 回
	外調機制御 (1)	7 式	○	○				年 1 回
	外調機制御 (1)			○				年 2 回
	外調機制御 (2)	1 式	○	○				年 1 回
	外調機制御 (3)	3 式	○	○				年 2 回
	パッケージ制御	3 式					○	年 1 回
	水槽制御	1 式					○	年 1 回
	水槽監視	1 式					○	年 1 回
	ファン発停制御	1 式					○	年 1 回
	ファンコイルユニット制御	3 式					○	年 1 回
	空調機制御 (2)	3 式	○	○				年 2 回
	外調機制御 (4)	1 式	○	○				年 1 回
	ソーラーシステム廻り制御	1 式					○	年 2 回
	外気温湿度計測	1 式			○			年 1 回
	蒸気発生器制御	1 式			○	○		年 1 回
	コイルユニット制御	2 式					○	年 1 回
	加湿器ユニット制御	22 式					○	年 1 回
	スポーツ棟	熱源廻り制御	1 式	○	○	○		
冷却塔制御		2 式			○	○		年 1 回
空調機制御 (1)		5 式	○	○				年 2 回
空調機制御 (2)		1 式	○	○				年 1 回
外調機制御 (1)		3 式	○	○				年 2 回
蒸気発生器制御		1 式			○	○		年 1 回
パッケージ制御		3 式					○	年 1 回
熱交換器廻り制御 (2)		1 式					○	年 1 回
水槽制御		1 式					○	年 1 回
水槽監視		1 式					○	年 1 回
オーバーフロー用水槽制御		1 式					○	年 1 回
貯湯槽制御		2 式					○	年 1 回
ファン発停制御		2 式					○	年 1 回
パネルヒーター制御		1 式					○	年 1 回
外気温湿度計測		1 式			○			年 1 回
カルチャー棟	熱源廻り制御	1 式	○	○	○			年 2 回
	蒸気ボイラ廻り制御	1 式			○	○		年 1 回
	冷却塔制御	2 式			○	○		年 1 回

区 分	対象設備	数 量	点検種別					点検回数
			遠隔	オンサイト	実測	総合	基本	
カルチャー棟	空調機制御 (1)	1 式	○	○				年 2 回
	空調機制御 (2)	7 式	○	○				年 1 回
	空調機制御 (3)	1 式	○	○				年 2 回
	空調機制御 (4)	1 式	○	○				年 1 回
	空調機制御 (5)-1	2 式	○	○				年 2 回
	空調機制御 (5)-2	1 式	○	○				年 1 回
	空調機制御 (6)	2 式	○	○				年 2 回
	空調機制御 (7)	3 式	○	○				年 1 回
	空調機制御 (8)	2 式	○	○				年 2 回
	空調機制御 (9)	1 式	○	○				年 1 回
	空調機制御 (10)	1 式	○	○				年 2 回
	パッケージ制御	2 式		○			○	年 1 回
	ファン発停制御	7 式					○	年 1 回
	蒸気発生器制御	1 式			○	○		年 1 回
	貯湯槽制御	2 式			○	○		年 1 回
	ボイラードレン水中和システム	1 式			○	○		年 1 回
	上水送水系廻り	1 式					○	年 1 回
	井水廻り	1 式					○	年 1 回
	雨水散水系廻り	1 式					○	年 1 回
	中水原水系廻り	1 式					○	年 1 回
	水槽廻り制御	2 式					○	年 1 回
	中水槽水槽廻り制御	1 式					○	年 1 回
	外気温湿度計測	1 式			○			年 1 回
	カロリメーター計量	2 式					○	年 1 回
	還水槽廻り制御	4 式					○	年 1 回
	緊急保守	作業時間／平日昼間 9:00 ～ 17:00 点検対象の自動制御機器において不具合発生時、技術員を派遣し不具合状況の確認を行う。 機器故障の場合は、機器及び交換作業費を含んだ別途見積書の提出を行うこと。						
遠隔点検	中央監視装置メーカー（アズビル社）標準の遠隔収集装置を使用の事。 通信回線費は契約費に含む事とする。							

### 3. 計装設備

### セントラル側点検仕様

[点検業務項目]

機器名称	点検項目	点検周期	
セントラル側 :	<u>s a v i c - n e t G 5</u>		
スーパーバイザリデバイス	: 統合コントローラ SVC		
	型番構成の記録	12回 /年	遠隔
	IPアドレスの記録	12回 /年	遠隔
	供給電圧の測定を行い基準値以内であることを確認し記録	1回 /年	オンサイト
	時刻設定の調整※NTP・他社デバイス時刻マスタを使用している場合は除く	1回 /年	オンサイト
	内部電圧毎正時の測定記録と自動判定	12回 /年	遠隔
	Ethernet通信毎正時の状態記録と自動判定	12回 /年	遠隔
	記憶装置状態の自動判定と記憶媒体使用率の記録	12回 /年	遠隔
	記憶装置のキャパシタ電圧の異常記録自動判定	12回 /年	遠隔
	内部温度毎正時の状態記録と自動判定	12回 /年	遠隔
	ファン状態毎正時の回転数記録と自動判定	12回 /年	遠隔
	各インジケータ表示状態・通信用インジケータの表示状態の確認	1回 /年	オンサイト
	通信状態エラー診断	12回 /年	遠隔
	デバイス通信正常判定	12回 /年	遠隔
	データファイルセーブ	12回 /年	遠隔
	ソフトウェアバージョンの記録	12回 /年	遠隔
	ソフトウェアバージョンの更改	必要 時	オンサイト
	バックアップバッテリー電圧低下レベル自動判定	12回 /年	遠隔
	バックアップバッテリー交換	1回 /5年	オンサイト
	バックアップバッテリー交換年月日の確認と記録	12回 /年	遠隔
	エンジニアリングツール用セキュリティキー情報の更新	1回 /年	オンサイト
プライマリデバイス	: 制御装置 DDC, RS, PMX		
リモートユニット	型番構成の記録	1回 /年	遠隔
	識別ラベルにてIPアドレスの記録	1回 /年	遠隔
	エラーログ確認と診断	12回 /年	遠隔
	通信状態エラー診断	12回 /年	遠隔
	デバイス通信正常判定	12回 /年	遠隔
	データファイルセーブ	12回 /年	遠隔
	ソフトウェアバージョンの記録	1回 /年	遠隔
	バックアップバッテリー電圧低下レベル自動判定	12回 /年	遠隔
	バックアップバッテリー交換年月日の確認と記録	1回 /年	オンサイト

[点検業務項目]

機器名称	点検項目	点検 周期	
セントラル側 :	s a v i c - n e t G 5		
周辺装置	: 監視用PC, 液晶ディスプレイ		
	型番構成・OS・ライセンス形態・バージョンの記録	1回 /年	オンサイト
	監視用PCのIPアドレスの確認と記録	1回 /年	オンサイト
	操作性・視認性・設置環境の確認と記録	1回 /年	オンサイト
	PC本体塵埃除去清掃	1回 /年	オンサイト
	コネクタ類接続確認	1回 /年	オンサイト
	ストレージ空き容量の確認と記録	1回 /年	オンサイト
	スピーカーより警報音鳴動の確認と記録	1回 /年	オンサイト
	時刻設定の調整	1回 /年	オンサイト
周辺装置	: プリンタ P R T, スイッチングハブ E S W		
	型番構成の記録	1回 /年	オンサイト
	表示インジケータ状態の確認	1回 /年	オンサイト
	コネクタ類接続確認	1回 /年	オンサイト
	PRTのIPアドレスの記録	1回 /年	オンサイト
	監視用PCからPRTテスト印字	1回 /年	オンサイト
	PRT本体塵埃除去清掃	1回 /年	オンサイト

〔点検業務項目〕

機器名称	点検項目	点検 周期	
周辺装置	：無停電電源装置 UPS		
	型番構成の記録	1回 /年	オンサイト
	インバータ運転表示インジケータ状態の確認	1回 /年	オンサイト
	冷却ファン動作状態の確認と清掃※冷却ファン取外し可能なものに限る	1回 /年	オンサイト
	バッテリーチェックによる内部蓄電池自動診断	1回 /年	オンサイト
	入出力電圧の測定と記録	1回 /年	オンサイト
	外装を外しての本体塵埃除去清掃	1回 /年	オンサイト
	入力電源を遮断し負荷側への電源供給が継続するか試験を行う	1回 /年	オンサイト
	内部蓄電池の交換年月日の確認と記録	1回 /年	オンサイト
	本体自動診断によるバッテリー寿命の確認と記録	1回 /年	オンサイト
	本体の交換年月日の確認と記録	1回 /年	オンサイト

## 4. 計装設備 ローカル側点検仕様（遠隔＋オンサイト）

－ 対象設備 －

各棟 熱源廻り制御

### 〔遠隔点検業務項目〕

機器名称	点検項目	点検周期
台数制御	: 負荷（流量・熱量）による熱源機器台数制御状態の評価	
・熱源機・ポンプ	実制御状態における制御精度の確認	2回 /年
	実制御状態における制御の安定性の確認	2回 /年
	適正な制御パラメータへの補正	必要時
	機器の動作確認	2回 /年

### 〔オンサイト点検業務項目〕

機器名称	点検項目	点検周期
検出部	: 温度〔配管挿入形〕	
	外見目視、設置環境及び、取付位置・状態の確認	1回 /年
	入力部側表示または監視画面において欠測が無いこと、固定値となっていない事の確認	1回 /年
	デジタル計測器を用いて保護管内もしくは取外して実測し、入力部側指示と誤差測定し記録	1回 /年
	実測定による誤差の有無を確認し、誤差有の場合は入力部側にて許容範囲で補正を行う	1回 /年
検出部	: 圧力〔ねじ込み形〕	
	外見目視、設置状況、結露有無の確認	1回 /年
	入力部側表示または監視画面において欠測が無いこと、固定値となっていない事の確認	1回 /年
	マルチテスターを用いてチェック用出力電流測定端子にて出力信号の測定と記録	1回 /年
	付近の圧力ゲージと入力部指示値と誤差比較を行い記録	1回 /年
検出部	: 差圧・圧力	
	外見目視、設置状況、結露有無の確認	1回 /年
	入力部側表示または監視画面において欠測が無いこと、固定値となっていない事の確認	1回 /年
	付近の圧力ゲージと入力部指示値と誤差比較を行い記録	1回 /年
検出部	: 流量計〔電磁流量計/積算熱量計〕	
	外見目視、設置状況、結露有無の確認	1回 /年
	入力部側表示または監視画面において欠測が無いこと、固定値となっていない事の確認	1回 /年
	変換器部のデータ設定器の表示状態・エラーコード表示有無確認と表示窓清掃	1回 /年
	変換器よりアナログ出力(4-20mA)チェック機能より出力確認を行う	1回 /年
操作部	: 制御弁	
	型番構成の記録	1回 /年
	外観目視、設置状況、動作異音の有無、水漏れ目視	1回 /年
	動作不可の場合、駆動部異常か弁体固着等の判断を行う	1回 /年

〔オンサイト点検業務項目〕

機器名称	点検項目	点検周期
演算部	：リモートユニット／熱源・空調制御コントローラ+OIディスプレイ	
	各インジケータ表示状態・通信用インジケータの表示状態の確認	1回 /年
	デバイス通信正常判定	1回 /年
	エンジニアリングツールによりデータファイルの記録	1回 /年
	OIディスプレイの表示状態・名称確認・タッチ操作位置ズレ確認	1回 /年
演算部	：デジタル指示調節計	
	型番構成の記録	1回 /年
	外見目視、組付状況、PV/SP表示部確認	1回 /年
	設定パラメータの確認と記録	1回 /年
入出力制御部	：制御盤・計装盤	
	盤名称の記録と盤図設置の有無確認	1回 /年
	外観・内観目視、据付状況、表示灯の点灯状態確認	1回 /年
	冷却ファン用温度設定値の確認記録と設定変更による動作試験	1回 /年

## 5. 計装設備 ローカル側点検仕様（遠隔+オンサイト）

－ 対象設備 －

各棟 空調機・外調機制御

D棟, 国際交流棟 ファンコイルユニット制御

### 〔遠隔点検業務項目〕

機器名称	点検項目	点検周期
温度制御 ・空調機、外調機	：室内・給気・還気温度制御における評価	
	実制御状態における制御精度の確認	2回 /年
	実制御状態における制御の安定性の確認	2回 /年
	適正な制御パラメータへの補正	必要時
	機器の動作確認	2回 /年
湿度制御 ・空調機、外調機	：室内・還気温度制御における評価	
	実制御状態における制御精度の確認	2回 /年
	実制御状態における制御の安定性の確認	2回 /年
	適正な制御パラメータへの補正	必要時
	機器の動作確認	2回 /年
露点温度制御 ・空調機、外調機	：給気露点温度制御における評価	
	実制御状態における制御精度の確認	2回 /年
	実制御状態における制御の安定性の確認	2回 /年
	適正な制御パラメータへの補正	必要時
	機器の動作確認	2回 /年
給気風量制御 ・空調機、外調機	：給気風量制御における評価	
	実制御状態における制御精度の確認	2回 /年
	実制御状態における制御の安定性の確認	2回 /年
	適正な制御パラメータへの補正	必要時
	機器の動作確認	2回 /年
温度制御 ・ファンコイルユニット	：室内/還気制御における評価	
	運転時間に対して設定値における閾値範囲内時間の集計確認	1回 /年
	適正な制御パラメータへの補正	必要時

## 〔オンサイト点検業務項目〕

機器名称	点検項目	点検周期
操作部	: 制御弁	
	型番構成の記録	1回 /年
	外観目視、設置状況、動作異音の有無、水漏れ目視	1回 /年
	動作不可の場合、駆動部異常か弁体固着等の判断を行う	1回 /年
演算部	: リモートユニット/空調制御コントローラ	
	各インジケータ表示状態・通信用インジケータの表示状態の確認	1回 /年
	デバイス通信正常判定	1回 /年
	エンジニアリングツールによりデータファイルの記録	1回 /年
操作部	: ダンパ操作器	
	型番構成の記録	1回 /年
	外見目視、組付状況、動作異音の有無	1回 /年
	動作不可の場合、操作器異常かダンパ固着等の判断を行う	1回 /年
入出力制御部	: 制御盤・計装盤	
	盤名称の記録と盤図設置の有無確認	1回 /年
	外観・内観目視、据付状況、表示灯の点灯状態確認	1回 /年
	冷却ファン用温度設定値の確認記録と設定変更による動作試験	1回 /年

## 6. 計装設備 ローカル側点検仕様（総合点検）

－ 対象設備 －

A, B, C棟	熱源バルブ開閉制御、冷却塔制御、蒸気発生器制御
D棟, 国際交流棟	冷却塔制御、蒸気発生器制御
センター棟	冷却塔制御、蒸気発生器制御
スポーツ棟	冷却塔制御、蒸気発生器制御
カルチャー棟	蒸気ボイラ廻り制御、冷却塔制御、蒸気発生器制御、貯湯槽制御、 ボイラードレン水中和システム

### 〔点検業務項目〕

機器名称	点検項目	点検周期
検出部	: 温度〔配管挿入形〕	
	型番構成の記録	1回 /年
	外見目視、設置状況	1回 /年
	入力部側表示または監視画面において欠測が無いこと、固定値となっていない事の確認	1回 /年
	制御盤側の外線(センサ側配線)を離線しマルチスターを使用し入力信号の確認と記録	1回 /年
	デジタル計測器を用いて保護管内もしくは取外して実測し、入力部側指示と誤差測定し記録	1回 /年
	実測定による誤差の有無を確認し、誤差有の場合は入力部側にて許容範囲で補正を行う	1回 /年
	制御入力として使用している場合、設定値変更を行い偏差による動作試験と記録	1回 /年
	凍結防止制御が機能する疑似的環境を作り設定温度に対しての動作試験を行う	1回 /年
	※設置環境により上記仕様が遵守出来ない場合は要御相談とさせていただきます。	
検出部	: 温度調節器/湿度調節器	
	型番構成の記録	1回 /年
	外見目視、設置状況	1回 /年
	内部機械的可動部分の動作試験	1回 /年
	実測定による誤差の確認と校正及び調整	1回 /年
	制御状態における操作部等関連部とのループ動作点検	1回 /年
	凍結防止制御が機能する疑似的環境を作り設定温度に対しての動作試験を行う	1回 /年
	※設置環境により上記仕様が遵守出来ない場合は要御相談とさせていただきます。	
検出部	: 感震器	
	型番構成の記録	1回 /年
	外見目視、設置状況	1回 /年
	ツマミを試験に切り替え内部機械的可動部分の動作試験	1回 /年
	※設置環境により上記仕様が遵守出来ない場合は要御相談とさせていただきます。	
検出部	: 煤煙濃度計	
	型番構成の記録	1回 /年
	投光器の投光ランプ点灯状態の確認と記録	1回 /年
	投光器・受光器それぞれのファン動作状態・異音有無の確認と記録	1回 /年
	投光器・受光器のフィルタAss'y及び集光レンズの清掃、光軸調整	1回 /年
	指示計において零点調整実施及び警報設定変更による出力表示灯点灯確認と記録	1回 /年
	指示計における濃度値の外部出力値の測定と記録	1回 /年
	※設置環境により上記仕様が遵守出来ない場合は要御相談とさせていただきます。	

## 〔点検業務項目〕

機器名称	点検項目	点検周期
検出部	: 圧力〔ねじ込み形〕	
	型番構成の記録	1回 /年
	外見目視、設置状況、結露有無の確認	1回 /年
	入力部側表示または監視画面において欠測が無いこと、固定値となっていない事の確認	1回 /年
	マルチテスターを用いてチェック用出力電流測定端子にて出力信号の測定と記録	1回 /年
	付近の圧力ゲージと入力部指示値と誤差比較を行い記録	1回 /年
	誤差が有る場合、ストップバルブを閉めてセンサ本体を取外し受圧部を大気開放させゼロ調整ボリュームにて調整を行う	1回 /年
	制御入力として使用している場合、設定値変更を行い偏差による動作試験と記録	1回 /年
	※設置環境により上記仕様が遵守出来ない場合は要御相談とさせていただきます。	
検出部	: 差圧・圧力	
	型番構成の記録	1回 /年
	外見目視、設置状況、結露有無の確認	1回 /年
	入力部側表示または監視画面において欠測が無いこと、固定値となっていない事の確認	1回 /年
	3方マニホールド弁の開閉状態を確認（高圧：全開/低圧：全開/均圧：全閉）	1回 /年
	コミュニケータを用いてチェック用出力電流測定端子にて出力信号の測定と記録	1回 /年
	付近の圧力ゲージと入力部指示値と誤差比較を行い記録	1回 /年
	制御入力として使用している場合、設定値変更を行い偏差による動作試験と記録	1回 /年
	※設置環境により上記仕様が遵守出来ない場合は要御相談とさせていただきます。	
検出部	: 流量計〔電磁流量計/積算熱量計〕	
	型番構成、TAG No. プレートの記録	1回 /年
	外見目視、設置状況、結露有無の確認	1回 /年
	入力部側表示または監視画面において欠測が無いこと、固定値となっていない事の確認	1回 /年
	変換器部のデータ設定器の表示状態・エラーコード表示有無確認と表示窓清掃	1回 /年
	変換器よりアナログ出力(4-20mA)チェック機能より出力確認を行う	1回 /年
	変換器よりパルス出力チェック機能より出力確認を行う	1回 /年
	制御入力として使用している場合、設定値変更を行い偏差による動作試験と記録	1回 /年
	※設置環境により上記仕様が遵守出来ない場合は要御相談とさせていただきます。	
検出部	: 冷却塔コントローラ	
	型番構成の記録と電極ケーブル寸法の確認と記録	1回 /年
	設定値の確認と記録	1回 /年
	指示表示部にアラーム(AL)もしくはエラー(Er)表示が無い事を確認	1回 /年
	電極の洗浄	1回 /年
	設定値変更による電動弁の動作試験と記録	1回 /年
	槽内導電率の計測と指示値の比較	1回 /年
	※設置環境により上記仕様が遵守出来ない場合は要御相談とさせていただきます。	
検出部	: レベルスイッチ・電極棒+電極保持器、フロートレススイッチ	
	型番構成の記録とフロート・電極棒数量の確認と記録	1回 /年
	制御盤内の外見目視、設置状況、表示インジケータ点灯状態確認	1回 /年
	電極保持器の錆びの有無確認	1回 /年
	フロートレススイッチ(電極保持器)端子にて短絡または離線による動作試験	1回 /年
	※設置環境により上記仕様が遵守出来ない場合は要御相談とさせていただきます。	

## 〔点検業務項目〕

機器名称	点検項目	点検周期
操作部	：制御弁	
	型番構成の記録	1回 /年
	外観目視、設置状況、動作異音の有無、水漏れ目視	1回 /年
	制御盤側にてマルチテスターによる供給電圧の測定と記録	1回 /年
	比例式は各開度(0・25・50・75・100%)による動作試験、二位置式は全開・全閉の動作試験	1回 /年
	動作不可の場合、駆動部異常か弁体固着等の判断を行う	1回 /年
	ストロークタイプについてはリンケージ調整により締め切り調整を行う	1回 /年
	制御条件等の設定値変更を行い偏差による動作試験と記録	1回 /年
	※設置環境により上記仕様が遵守出来ない場合は要御相談とさせていただきます。	
演算部	：制御コントローラ+OIディスプレイ	
	型番構成の記録	1回 /年
	IPアドレスの記録	1回 /年
	各インジケータ表示状態・通信用インジケータの表示状態の確認	1回 /年
	デバイス通信正常判定	1回 /年
	エンジニアリングツールによりデータファイルの記録	1回 /年
	ファームウェアバージョンの記録	1回 /年
	ファームウェアバージョンの更改	必要 時
	OIディスプレイの表示状態・名称確認・タッチ操作位置ズレ確認	1回 /年
	設定値変更または疑似的環境による制御動作試験	1回 /年
	※設置環境により上記仕様が遵守出来ない場合は要御相談とさせていただきます。	
演算部	：デジタル指示調節計	
	型番構成の記録	1回 /年
	外見目視、組付状況、PV/SP表示部確認	1回 /年
	制御盤側にてマルチテスターによる供給電圧の測定と記録	1回 /年
	設定パラメータの確認と記録	1回 /年
	デジタルマルチメーターを用いて模擬信号入力(抵抗・電流・電圧)による試験と記録	1回 /年
	主設定及びイベント設定変更による出力動作試験と記録	1回 /年
	制御が安定しない場合、PID設定の見直しと記録	1回 /年
	※設置環境により上記仕様が遵守出来ない場合は要御相談とさせていただきます。	
電源部	：直流電源装置 (DC電源)	
	型番構成の記録と表示灯の点灯確認と記録	1回 /年
	出力先の検出部における計測値の表示確認と記録	1回 /年
	出力先のリレー表示灯の点灯確認もしくはリレー動作目視	1回 /年
	制御盤側にてマルチテスターによる供給電圧の測定と記録	1回 /年
	※設置環境により上記仕様が遵守出来ない場合は要御相談とさせていただきます。	
入出力部	：変換器	
	型番構成の記録	1回 /年
	外見目視、組付状況、表示部確認	1回 /年
	制御盤側にてマルチテスターによる供給電圧の測定と記録	1回 /年
	入力信号に対する出力信号の点検及び必要に応じて調整	1回 /年
	必要に応じて標準試験器によるゼロ・スパン調整	1回 /年
	※設置環境により上記仕様が遵守出来ない場合は要御相談とさせていただきます。	

## 〔点検業務項目〕

機器名称	点検項目	点検周期
入出力制御部	: 制御盤・計装盤	
	盤名称の記録と盤図設置の有無確認	1回 /年
	外観・内観目視、据付状況、表示灯の点灯状態確認	1回 /年
	盤内外のクリーンアップ及び端子増し締め	1回 /年
	冷却ファン用温度設定値の確認記録と設定変更による動作試験	1回 /年
	盤防塵フィルタの状態確認と清掃	1回 /年
	盤防塵フィルタの交換	1回 /年
	リレー動作試験と記録	1回 /年
	故障盤内機器の型番構成及び数量の記録	1回 /年
	※設置環境により上記仕様が遵守出来ない場合は要御相談とさせていただきます。	

## 7. 計装設備

## ローカル側点検仕様（基本点検）

－ 対象設備 －

A, B, C棟	貯湯槽制御、熱交換器制御、還水槽制御、水槽制御、ファン発停制御
D棟, 国際交流棟	貯湯槽制御、パッケージ制御、熱交換器制御、計測系統
センター棟	パッケージ制御、水槽制御、水槽監視、ファン発停制御、ファンコイルユニット制御 ソーラーシステム廻り制御、外気温湿度計測、コイルユニット制御 加湿器ユニット制御
スポーツ棟	パッケージ制御、熱交換器廻り制御、水槽制御、水槽監視、オーバーフロー用水槽制御 貯湯槽制御、ファン発停制御、パネルヒーター制御、外気温湿度計測
カルチャー棟	パッケージ制御、ファン発停制御、上水送水系廻り、井水廻り、雨水散水系廻り 中水原水系廻り、水槽廻り制御、中水槽水槽廻り制御、外気温湿度計測 カロリーメーター計量、還水槽廻り制御

### 〔点検業務項目〕

機器名称	点検項目	点検周期
演算部	: 熱量演算器	
	識別ラベルにてアドレスの記録	1回 /年
	デバイス通信正常判定	1回 /年
	小型I/Oモジュールとの接続異常検知有無確認	1回 /年
	エンジニアリングツールによりパラメータファイルの記録	1回 /年
	故障判定時の型番構成の記録	1回 /年
	※設置環境により上記仕様が遵守出来ない場合は要御相談とさせていただきます。	
検出部	: 温度〔配管挿入形〕	
	入力部側表示または監視画面において欠測が無いこと、固定値となっていない事の確認	1回 /年
	制御入力として使用している場合、設定値変更を行い偏差による動作試験と記録	1回 /年
	故障判定時の型番構成の記録	1回 /年
	凍結防止制御が機能する疑似的環境を作り設定温度に対しての動作試験を行う	1回 /年
	※設置環境により上記仕様が遵守出来ない場合は要御相談とさせていただきます。	
検出部	: 温度, 湿度, 露点温度〔ダクト挿入形〕	
	入力部側表示または監視画面において欠測が無いこと、固定値となっていない事の確認	1回 /年
	制御入力として使用している場合、設定値変更を行い偏差による動作試験と記録	1回 /年
	凍結防止制御が機能する疑似的環境を作り設定温度に対しての動作試験を行う	1回 /年
	故障判定時の型番構成の記録	1回 /年
	※設置環境により上記仕様が遵守出来ない場合は要御相談とさせていただきます。	
検出部	: 温度, 湿度〔室内形〕	
	入力部側表示または監視画面において欠測が無いこと、固定値となっていない事の確認	1回 /年
	制御入力として使用している場合、設定値変更を行い偏差による動作試験と記録	1回 /年
	故障判定時の型番構成の記録	1回 /年
	※設置環境により上記仕様が遵守出来ない場合は要御相談とさせていただきます。	
検出部	: 温度調節器/湿度調節器	

〔点検業務項目〕

機器名称	点検項目	点検周期
	制御状態における操作部等関連部とのループ動作点検	1回 /年
	凍結防止制御が機能する疑似的環境を作り設定温度に対しての動作試験を行う	1回 /年
	故障判定時の型番構成の記録	1回 /年
	※設置環境により上記仕様が遵守出来ない場合は要御相談とさせていただきます。	
検出部	：感震器	
	ツマミを試験に切り替え内部機械的可動部分の動作試験	1回 /年
	故障判定時の型番構成の記録	1回 /年
	※設置環境により上記仕様が遵守出来ない場合は要御相談とさせていただきます。	
検出部	：煤煙濃度計	
	投光器の投光ランプ点灯状態の確認と記録	1回 /年
	投光器・受光器それぞれのファン動作状態・異音有無の確認と記録	1回 /年
	投光器・受光器のフィルタAss'y及び集光レンズの清掃、光軸調整	1回 /年
	故障判定時の型番構成の記録	1回 /年
	※設置環境により上記仕様が遵守出来ない場合は要御相談とさせていただきます。	
検出部	：圧力〔ねじ込み形〕	
	入力部側表示または監視画面において欠測が無いこと、固定値となっていない事の確認	1回 /年
	制御入力として使用している場合、設定値変更を行い偏差による動作試験と記録	1回 /年
	故障判定時の型番構成の記録	1回 /年
	※設置環境により上記仕様が遵守出来ない場合は要御相談とさせていただきます。	
検出部	：差圧・圧力	
	入力部側表示または監視画面において欠測が無いこと、固定値となっていない事の確認	1回 /年
	制御入力として使用している場合、設定値変更を行い偏差による動作試験と記録	1回 /年
	故障判定時の型番構成の記録	1回 /年
	※設置環境により上記仕様が遵守出来ない場合は要御相談とさせていただきます。	
検出部	：微差圧〔静圧/動圧〕	
	入力部側表示または監視画面において欠測が無いこと、固定値となっていない事の確認	1回 /年
	制御入力として使用している場合、設定値変更を行い偏差による動作試験と記録	1回 /年
	故障判定時の型番構成の記録	1回 /年
	※設置環境により上記仕様が遵守出来ない場合は要御相談とさせていただきます。	
検出部	：微差圧スイッチ	
	設定値変更を行い偏差による動作試験と記録	1回 /年
	故障判定時の型番構成の記録	1回 /年
	※設置環境により上記仕様が遵守出来ない場合は要御相談とさせていただきます。	

〔点検業務項目〕

機器名称	点検項目	点検周期
検出部	: 流量計〔電磁流量計/積算熱量計〕 外見目視、設置状況、結露有無の確認 入力部側表示または監視画面において欠測が無いこと、固定値となっていない事の確認 制御入力として使用している場合、設定値変更を行い偏差による動作試験と記録 故障判定時の型番構成の記録 ※設置環境により上記仕様が遵守出来ない場合は要御相談とさせていただきます。	1回 /年 1回 /年 1回 /年 1回 /年
検出部	: 漏水検知器+漏水検知帯 制御盤内における検知器表示インジケータ点灯確認 感度ボリュームを回し警報発報試験を行う 故障判定時の型番構成の記録 ※設置環境により上記仕様が遵守出来ない場合は要御相談とさせていただきます。	1回 /年 1回 /年 1回 /年
検出部	: レベルスイッチ・電極棒+電極保持器、フロートレススイッチ 制御盤内の外見目視、設置状況、表示インジケータ点灯状態確認 制御盤内の外部端子にて短絡または離線による動作試験 電極保持器の錆びの有無確認 故障判定時の型番構成の記録 ※設置環境により上記仕様が遵守出来ない場合は要御相談とさせていただきます。	1回 /年 1回 /年 1回 /年 1回 /年
操作部	: 制御弁 外観目視、設置状況、動作異音の有無、水漏れ目視 制御条件等の設定値変更を行い偏差による動作試験と記録 故障判定時の型番構成の記録 ※設置環境により上記仕様が遵守出来ない場合は要御相談とさせていただきます。	1回 /年 1回 /年 1回 /年
操作部	: 制御弁(FCU用) 制御条件等の設定値変更を行い偏差による動作試験を吹き出し温度にて判定 故障判定時の型番構成の記録 ※設置環境により上記仕様が遵守出来ない場合は要御相談とさせていただきます。	1回 /年 1回 /年
操作部	: ダンパ操作器 外見目視、組付状況、動作異音の有無 制御条件等の設定値変更を行い偏差による動作試験と記録 動作不可の場合、操作器異常かダンパ固着等の判断を行う 故障判定時の型番構成の記録 ※設置環境により上記仕様が遵守出来ない場合は要御相談とさせていただきます。	1回 /年 1回 /年 1回 /年 1回 /年
演算部	: 制御コントローラ+OITディスプレイ IPアドレスの記録 デバイス通信正常判定 エンジニアリングツールによりデータファイルの記録 設定値変更または疑似的環境による制御動作試験 故障判定時の型番構成の記録 ※設置環境により上記仕様が遵守出来ない場合は要御相談とさせていただきます。	1回 /年 1回 /年 1回 /年 1回 /年 1回 /年

〔点検業務項目〕

機器名称	点検項目	点検周期
演算部	: デジタル指示調節計	
	外見目視、組付状況、PV/SP表示部確認	1回 /年
	設定パラメータの確認と記録	1回 /年
	主設定及びイベント設定変更による出力動作試験と記録	1回 /年
	故障判定時の型番構成の記録	1回 /年
	※設置環境により上記仕様が遵守出来ない場合は要御相談とさせていただきます。	
電源部	: 直流電源装置 (DC電源)	
	出力先の検出部における計測値の表示確認と記録	1回 /年
	出力先のリレー表示灯の点灯確認もしくはリレー動作目視	1回 /年
	故障判定時の型番構成の記録	1回 /年
	※設置環境により上記仕様が遵守出来ない場合は要御相談とさせていただきます。	
入出力部	: 変換器	
	外見目視、組付状況、表示部確認	1回 /年
	検出部と演算部間また操作部間のループによる動作試験と調整	1回 /年
	故障判定時の型番構成の記録	1回 /年
	※設置環境により上記仕様が遵守出来ない場合は要御相談とさせていただきます。	
入出力制御部	: 制御盤・計装盤	
	盤名称の記録と盤図設置の有無確認	1回 /年
	外観・内観目視、据付状況、表示灯の点灯状態確認	1回 /年
	冷却ファン用温度設定値の確認記録と設定変更による動作試験	1回 /年
	盤防塵フィルタの状態確認と清掃	1回 /年
	故障盤内機器の型番構成及び数量の記録	1回 /年
	※設置環境により上記仕様が遵守出来ない場合は要御相談とさせていただきます。	

## 11. 厨房排水处理施設保守点検要綱

### 厨房排水処理施設保守点検要綱

	名称	保守点検要綱	毎日	週数回	月数回	その他
1	自動スクリーン	①スクリーンし渣の除去と清掃	○			
		②スクリーン駆動チェーンの作動確認	○			
2	原水ポンプ槽	①流入原水の状況確認（水量、性状）	○			
		②原水ポンプ運転確認	○			
		③槽内水位、フロートスイッチの状況確認	○			
3	流量調整槽	①流入水の異物混入状況の確認	○			
		②液位制御、フロートスイッチの状況確認	○			
		③調整ポンプ運転状況確認	○			
		④エア攪拌状況確認及びエア量調整	○			
		⑤攪拌ブロワの運転状況確認	○			
4	計量槽	①流入量のチェックと調整	○			
		②V ノッチ箇所の清掃	○			
5	混和槽、凝集槽 薬注設備	①薬注量の適正状況確認及び調整	○			
		②攪拌機の稼動状況点検	○			
		③攪拌状況及びフロック形成状況確認	○			
		④薬剤残量確認及び補充	○			
		⑤薬注ポンプ運転状況点検	○			
		⑥タンク配管漏れの有無確認	○			
		⑦pH 計の作動確認	○			
		⑩pH 計の洗浄及び校正 pH				1 回
6	加圧浮上槽 処理水タンク 加圧ポンプ 加圧タンク コンプレッサー	①加圧混合水の浮上槽拡散状況確認調整	○			
		②加圧水の適量圧入確認調整	○			
		③適正エア圧量の確認調整	○			
		④加圧タンク水位確認及び調整	○			
		⑤加圧タンク余剰エア適正排出確認調整	○			
		⑥搔き寄せ状態の確認	○			
		⑦スカムボックス体積汚泥確認清掃	○			
		⑧加圧処理水状況確認（性状、水量）	○			
		⑨沈殿汚泥の適正引抜	○			
		⑩ロンダー、V ノッチ状況確認及び清掃	○			
		⑪加圧ポンプ運転状況点検	○			
		⑬コンプレッサー運転状況点検	○			
		⑭コンプレッサードレン抜き及び安全弁確認	○			
		⑮エアコントローラー作動確認調整	○			
		⑯加圧タンク水位センサー分解点検			1 回	
		⑰処理水タンク清掃			1 回	

	名称	保守点検要綱	毎日	週数回	月数回	その他
7	汚泥貯留槽	①汚泥貯留状況の確認及び液位測定	○			
		②エア攪拌状況の確認調整	○			
		③汚泥濃度測定				脱水日
8	放流槽	①流入放流水の状況確認	○			
		②放流ポンプの運転状況確認	○			
		③槽内水位、液位制御フロート作動確認	○			
		④放流水量計の作動確認	○			
		⑤放流水 pH 計の作動確認	○			
		⑥放流水 pH 計の洗浄及び校正			1回	
9	汚泥脱水装置	①脱水機の運転状況確認及び調整				脱水日
		②汚泥ポンプの運転確認及び調整				脱水日
		③脱水助剤ポンプの運転確認及び著製				脱水日
		④脱水助剤の使用量確認と補充				脱水日
		⑤脱水ケーキの含水率測定				脱水日
		⑥脱離液の性状確認及び調整				脱水日
		⑦脱水機廻りの洗浄及び清掃				脱水日
		⑧脱水処理量の確認				脱水日
		⑨脱水ケーキ搬出の手配			1回	
10	脱臭装置	①脱臭ファン運転状況点検	○			
		②臭気感知	○			
		③静圧測定				年4回
		④生物脱臭塔状況確認	○			
		⑤活性炭交換				年3回
11	動力制御盤	①盤内湿気の有無確認	○			
		②盤内機器の状況確認	○			
		③配線接続状況の確認	○			
		④機器の電流測定	○			
		⑤機器の絶縁抵抗測定				年4回
12	その他	①厨房上水使用量検針	○			
		②施設内気温測定	○			
13	水質分析	①流入原水の採取分析 (pH,BOD,SS,N-Hex)			1回	
		②処理水の採取分析 (pH,BOD,SS,N-Hex)			1回	

\* 休館日など施設自体の停止日については対象外とする。

\* 脱水作業頻度実績は施設稼動中においては週3回程度。

\* 各機器のオイル交換及びグリスアップ、簡単な整備（フィルター交換、パッキン交換など）などは随時実施する。

## 12. 排水再利用処理施設保守点検要綱

## 排水再利用処理施設保守点検要綱

	名称	保守点検要綱	毎日	週数回	月数回	その他
1	スクリーン	①スクリーンし渣の除去と清掃			3回	
		②スクリーン駆動チェーンの作動確認	○			
2	流量調整槽	①流入水異物混入の状況確認			3回	
		②液面制御、フロートスイッチの状況確認			3回	
		③流調ポンプの吐出量及び運転確認	○			
		④エア攪拌状況確認			3回	
		⑤調整槽ブロワー作動確認	○			
		⑥水質測定 (pH、水温、透視度、色度、濁度)	○			
3	汚水分配槽	①揚水量のチェック及び調整。	○			
		②V ノッチの清掃	○			
4	生物膜ろ過槽	①ろ過状態の確認 (通気状態、ろ抗高さ)	○			
		②通気ブロワの作動確認	○			
		③レベルスイッチの状況確認	○			
		④逆洗時の各機器連動運転の確認				逆洗時
		⑤空洗空気量の確認調整				逆洗時
		⑥空洗ブロワの作動確認				逆洗時
		⑦逆洗水量の調整				逆洗時
		⑧逆洗の時期周期の良否判定と調整			適時	
		⑨コンプレッサーの圧力調整及びドレン抜き	○			
		⑩各電磁弁作動確認	○			
5	中間処理水槽	①中間処理水の状況確認	○			
		②処理水送水ポンプの運転確認	○			
		③槽内水位、フロートスイッチの状況確認	○			
		④水質測定 (pH、水温、透視度、濁度)	○			
6	活性炭流入計量槽	①揚水量のチェック及び調整	○			
		②V ノッチの清掃	○			
7	活性炭吸着槽	①吸着槽内の状況確認 (水位上昇など)	○			
		②逆洗時の各機器連動運転の確認				逆洗時
		③逆洗水量の調整				逆洗時
		④逆洗の時期周期の良否判定と調整			適時	
		⑤各電磁弁の作動確認	○			
8	処理水槽	①槽内の処理水の状況確認	○			
		②逆洗ポンプの運転確認				逆洗時
		③レベルスイッチの作動確認	○			
9	消毒槽	①薬品との混合状態確認	○			
		②次亜塩注入量の調整	○			
		③次亜塩注入ポンプの運転確認	○			

	名称	保守点検要綱	毎日	週数回	月数回	その他
9	消毒槽	④次亜塩残存量の確認	○			
		⑤流量計作動確認及び検針	○			
		⑥水質測定 (pH、水温、透視度、濁度、色度、残留塩素)	○			
10	再利用水槽	①再利用水の状況確認	○			
		②レベルセンサーの作動確認	○			
11	逆洗排水槽	①逆洗排水の状況確認				逆洗時
		②逆洗排水移送ポンプの運転確認				逆洗時
12	混合槽、凝集槽 薬注装置	①薬注量の適正状況確認及び調整				逆洗時
		②攪拌機の稼動状況確認				逆洗時
		③フロックの形成状況の確認				逆洗時
		④薬品残存量の確認	○			
		⑤各機器の連動運転確認				逆洗時
		⑥pH計の洗浄及び校正			1回	
13	沈殿槽、汚泥ピット	①水面の状況確認 (スカムの有無など)	○			
		②脱離液の状況確認 (透視度、フロック越流)				逆洗時
		③掻寄機の運転状況確認	○			
		④沈殿汚泥界面高さ測定と引抜量調整	○			
		⑤沈殿汚泥移送ポンプの運転確認		1回		
		⑥沈殿汚泥ピットの内部確認	○			
14	汚泥濃縮槽	①水面の状況確認 (スカムの有無など)	○			
		②沈殿汚泥界面高さ測定	○			
		③エアリフトポンプ運転による汚泥引抜			適時	
15	汚泥貯留槽	①槽内の汚泥の状況確認	○			
		②エア攪拌状況の確認	○			
		③汚泥貯留槽攪拌ブロワの運転確認	○			
		④汚泥搬出の手配と搬出ポンプ運転確認				搬出時
16	脱離液槽	①槽内部の状況確認 (スカム発生の有無など)	○			
		②脱離液移送ポンプの運転状況確認				逆洗時
		③レベルスイッチの状況確認	○			
17	脱臭装置	①脱臭状況の確認 (臭気発生の有無など)	○			
		②脱臭ファン運転状況の確認	○			
18	動力制御盤	①盤内湿気の有無確認	○			
		②盤内機器の状況確認	○			
		③配線接続状況の確認	○			
		④機器全般の電流値測定	○			
		⑤機器全般の絶縁抵抗測定				年4回
19	その他	①中水使用量検針	○			
		②上水バックアップ量予測	○			
		③施設内室温測定	○			

	名称	保守点検要綱	毎日	週数回	月数回	その他
20	水質分析	①流入原水の採取分析(pH、BOD、SS、COD、N-Hex)			1回	
		②処理水の採取分析(pH、BOD、SS、COD、N-Hex、ABS、全硬度、全蒸発残留物、アンモニア性窒素、大腸菌群)			1回	
		センター棟 5F 末端での中水残留塩素測定			1回	

\* 各機器のオイル交換及びグリスアップ、簡単な整備（フィルター交換、パッキン交換など）などは随時実施する。但し、逆洗ポンプ及び調整ブロワは除く。

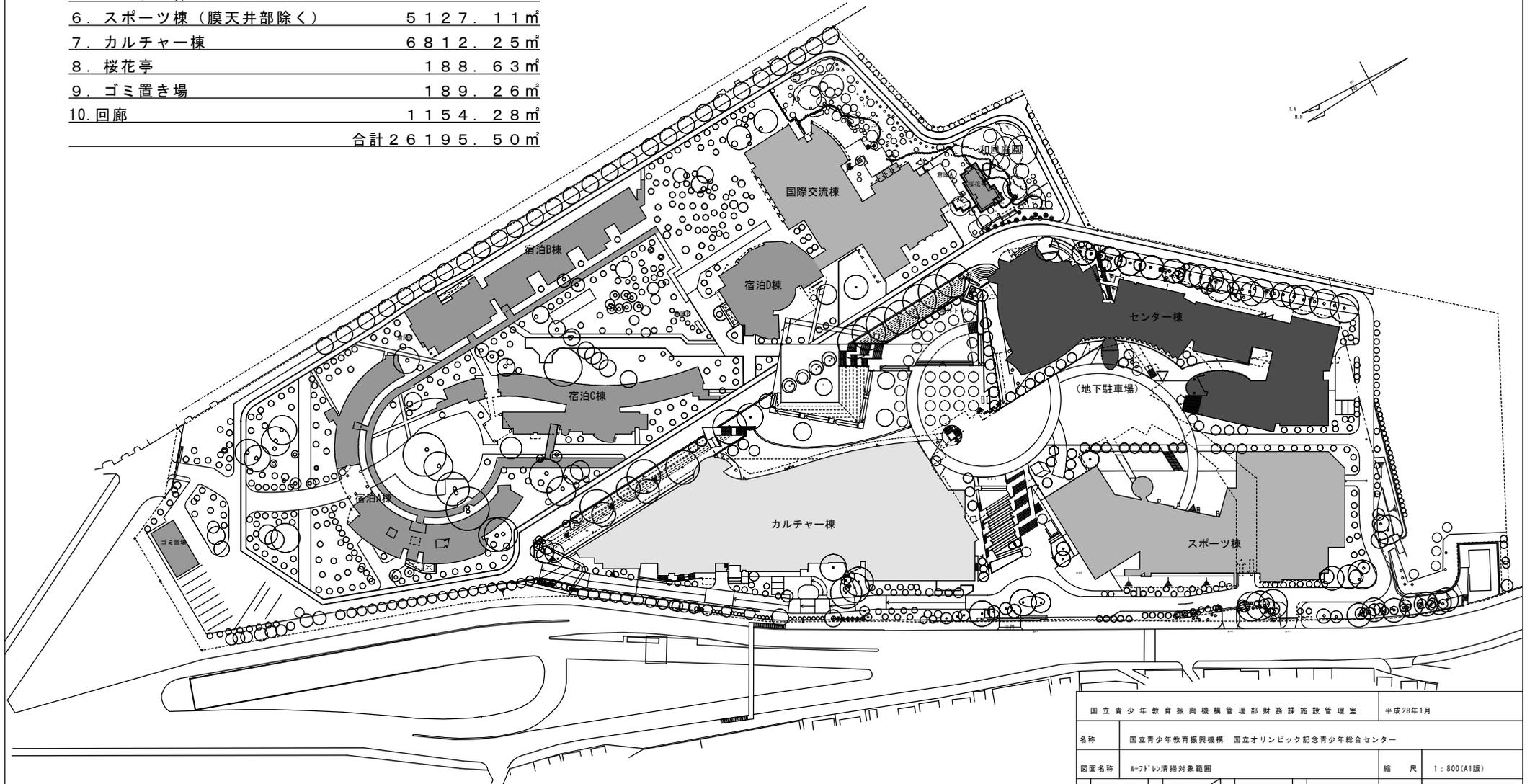
\* 逆洗頻度実績は週1回以上。

### 13. ルーフドレン清掃対象範囲

ルーフドレン清掃 対象範囲

下記建物・構造物を対象とする。

	建 物 面 積
1. 宿泊A棟	1 7 2 6 . 5 3 m <sup>2</sup>
2. 宿泊B棟	1 6 8 8 . 2 3 m <sup>2</sup>
3. 宿泊C棟	1 6 8 1 . 4 6 m <sup>2</sup>
4. 宿泊D棟及び国際交流棟	3 8 8 0 . 8 7 m <sup>2</sup>
5. センター棟	5 4 7 3 . 4 1 m <sup>2</sup>
6. スポーツ棟（膜天井部除く）	5 1 2 7 . 1 1 m <sup>2</sup>
7. カルチャー棟	6 8 1 2 . 2 5 m <sup>2</sup>
8. 桜花亭	1 8 8 . 6 3 m <sup>2</sup>
9. ゴミ置き場	1 8 9 . 2 6 m <sup>2</sup>
10. 回廊	1 1 5 4 . 2 8 m <sup>2</sup>
	合計 2 6 1 9 5 . 5 0 m <sup>2</sup>



国立青少年教育振興機構 管理運営部 財務課 施設管理室		平成28年1月	
名称	国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター		
図面名称	ルーフドレン清掃対象範囲	縮尺	1:800 (A1版)
課長	補佐	係長	係員
図面番号			M-00

## 参考資料一覧

- ボイラー施設運転保守管理日誌
- 電気施設運転保守日誌
- 電気施設運転保守管理月報一式
- 厨房排水処理施設運転管理業務日誌
- 排水再利用処理施設運転管理業務日誌
- 建物等設備保全業務出勤表

# ボイラー施設運転保守管理日誌

# ボイラー施設運転保守管理日誌

施設管理課				

年 月 日 ( )

各棟蒸気系外観点検	貯湯槽														備考 (故障原因・措置・気づいたこと)			
	蒸気圧力					タンク内圧力					タンク内温度						通気時間	
	NO.1	NO.2	NO.3	弁類	管路	NO.1	NO.2	NO.3	弁類	管路	NO.1	NO.2	NO.3	弁類			開始時	閉止時
A棟	MPa	MPa	/			MPa	MPa	/			°C	°C	/					
B棟	MPa	MPa	MPa			MPa	MPa	MPa			°C	°C	°C					
C棟	MPa	/	/			MPa	/	/			°C	/	/					
D棟	MPa	MPa	/			MPa	MPa	/			°C	°C	/					
センター棟	MPa	MPa	/			MPa	MPa	/			°C	°C	/					
スポーツ棟	MPa	MPa	/			MPa	MPa	/			°C	°C	/					
カルチャー棟	MPa	- MPa	/			MPa	- MPa	/			°C	- °C	/					

各棟空調系外観点検	冷暖房		通気時間		熱源系	ボイラー										水槽水位			外気温度		水道使用量		
	機器	管路	開始時	閉止時		時間	BS1-1	BS1-2	BS1-3	BS1-4	BS1-5	BS2-1	BS2-2	弁類	蒸気圧	排ガス温度	給水	環水	薬液層	温度	湿度	前日検針値①	
A棟					ボイラー系監視項目	6									MPa	°C				°C	RH%		
B棟						8									MPa	°C				°C	RH%	#VALUE!	
C棟						10									MPa	°C				°C	RH%	#VALUE!	
D棟	交流プラザ他					12									MPa	°C				°C	RH%		
	個室					14									MPa	°C				°C	RH%		
国際交流棟	レストラン他					16									MPa	°C				°C	RH%		
	共用					18									MPa	°C				°C	RH%		
センター棟	会議室他					20									MPa	°C				°C	RH%		
	事務室					22									MPa	°C				°C	RH%		
カルチャー棟	研究室					24									MPa	°C				°C	RH%		
	食堂				ブロー量 (ℓ)																		
スポーツ棟					清缶剤追加量 (ℓ)																		
全ボイラー1日当たりの給水量																							
*異常がある場合は別途特記する					全ボイラーガス使用量										外観点検								
本日総利用者数					本日検針値①										国際交流棟								
日帰り団体	宿泊個人	宿泊団体		前日検針値②										センター棟									
昨日B棟入浴者数					ガス使用量 (本日値①-前日値②)										スポーツ棟								
					m³										カルチャー棟								

記事:	本業務で求める最低限の内容を示す。 訂正する場合は協議する。	○=比例燃焼
		P=パイロット運転
		点検者

水道使用量	
前日検針値①	m³
本日検針値②	#VALUE! m³
都水使用量 (本日値②-前日値①)	#VALUE! m³
A棟	m³
B棟	m³
C棟	m³
D棟	m³
交流棟	m³
センター棟	-
スポーツ棟	m³
カルチャー棟	m³
その他	/
地下駐車場	
消火設備タンク圧力	MPa
スポーツ棟詳細	
スポーツ棟	m³
プール	m³

B棟 熱源機械室 本日指針 (15時)	
昇温用熱交換機 (吐出)	
NO.1	°C
NO.2	°C
NO.3	°C
NO.4	°C

財務課施設管理室

空気調和設備点検日誌

年 月 日 ( )

建物名	暖房、冷房、中間期	異常の有無	備 考	点検者
宿泊A棟	暖 ・ 冷 ・ 中	有 ・ 無		
宿泊B棟	暖 ・ 冷 ・ 中	有 ・ 無		
宿泊C棟	暖 ・ 冷 ・ 中	有 ・ 無		
宿泊D棟	暖 ・ 冷 ・ 中	有 ・ 無		
国際交流会館	暖 ・ 冷 ・ 中	有 ・ 無	本業務で求める最低限の内容を示す。 訂正する場合は協議する。	
センター棟	暖 ・ 冷 ・ 中	有 ・ 無		
スポーツ棟	暖 ・ 冷 ・ 中	有 ・ 無		
カルチャー棟	暖 ・ 冷 ・ 中	有 ・ 無		
駐車場	換気	有 ・ 無		
その他		有 ・ 無		

暖房:空調機、ボイラー運転、熱交換器、蒸気発生器、軟水器  
 冷房:空調機、ボイラー、冷凍機運転  
 中間期:空調機運転

給排水その他修理及び点検日誌 \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_月 \_\_\_\_日 ( )

施設管理室

点検施設	時 間	点 検 者 名	備 考

(凡 例)

種 別	大	大便器箇所	FC	ファンコイルユニット	○	完 了
	小	小便器箇所	管	管 関 係	×	未
	洗	洗面器箇所	計	計 器 関 係	No.	廊下からの番号
	浴	浴室箇所				

修理施設	階別	場 所	種別	No.	カ ラ ン 取 替	取 替 シ ュ ッ	パ ツ キ ン 取 替	排 水 修 理	そ の 他 修 理	未	完	未 修 理 理 由		備 考	修 理 者 名	
												部品なし(部品名)	修理不能			
												点 検 者	修 理 者	責 任 者	人 員	
															名	
												(請負業者名)				

本業務で求める最低限の内容を示す。  
訂正する場合は協議する。

# 電気施設運転保守管理日誌



電気施設点検保守管理日誌

\_\_\_\_年 \_\_\_\_月 \_\_\_\_日 ( \_\_\_\_ )

点検機器	日常点検項目	電気使用量												
		A棟	B棟	C棟	D棟	センター棟	スポーツ棟	地下駐車場	守衛所	カルチャー棟	電気使用量			
1 特高機器	モールド変圧器	温度の適否を温度計の指示値により確認し、異常な高温の場合は負荷電流状態を調査する。異音、異臭及び異常振動の有無を点検し、異常のある場合は過電流等の有無を調査する。										構内総計	KWH	
	交流遮断器	異音、異臭及び異常振動の有無を点検する。 開閉表示状態(指示灯)及び作動回数(カウンター)を点検する。										指針誤差	KWH	
	計器用変成器(計器用変圧器、変流器、零相変流器等)	異音、異臭及び異常振動の有無を点検し、異常のある場合は過電流等の有無を調査する。										合計	KWH	
	指示計器、表示操作、保護継電器	操作、切替スイッチ等の状態を点検する。 各計器の指示値の適否を点検する。 保護継電器の動作表示を点検し、動作表示がある場合は原因を調査し復旧する。										特高変所内	KWH	
2 高圧機器	変圧器(モールド変圧器)	異音、異臭及び異常振動の有無を点検し、異常のある場合は過電流等の有無を調査する。										スポーツ棟	KWH	
	交流遮断器、負荷開閉器	異音、異臭及び異常振動の有無を点検する。 開閉表示状態(指示灯)及び作動回数(カウンター)を点検する。										センター棟	KWH	
	指示計器、表示操作、保護継電器	操作、切替スイッチ等の状態を点検する。 各計器の指示値の適否を点検する。 保護継電器の動作表示を点検し、動作表示がある場合は原因を調査し復旧する。										A棟変受電	KWH	
	高圧進相コンデンサ	異音、異臭、変形、ふくらみ等の有無を点検する。										A棟	KWH	
3 低圧機器	開閉器類(配線用遮断器、漏電遮断器、電磁接触器、双投電磁接触器等)	異音、異臭、損傷、過熱、変色等の有無を点検する。 開閉表示状態(指示、点灯)を確認する。										B棟	KWH	
	計器用変成器(計器用変圧器、変流器、零相変流器等)	異音、異臭及び異常振動の有無を点検し、異常のある場合は原因を調査する。										C棟	KWH	
	指示計器、表示操作、保護継電器	操作、切替スイッチ等の状態を点検する。 各計器の指示値の適否を点検する。 保護継電器の動作表示を点検し、動作表示がある場合は原因を調査し復旧する。										D棟・国際交流棟	KWH	
	配電盤類	保護継電器の動作表示を点検し、動作表示がある場合は原因を調査し復旧する。 遮断器、切替用開閉器等の開閉状態が正常であることを確認する。										指針誤差	KWH	
4 自家発電設備	自家発電装置(原動機と発電機を連結したもの)	共通台板、台上に搭載された機器等の変形、損傷、脱落等の点検をする。 燃料油及び潤滑油の漏れの有無を点検する。 冷却水の漏れの有無を点検する。 自家発電装置が始動及び自動運転待機状態(切替スイッチの自動側位置等)にあることを確認する。										地下駐車場	KWH	
	始動用空気圧縮設備	充气された空気を圧力計指示値により確認する。										カルチャー棟	KWH	
	燃料タンク、燃料移送ポンプ等	タンク、ポンプ及び配管の油漏れ、変形、損傷等の有無を点検する。										本日最大電力	kW	
	冷却水タンク、冷却塔、冷却水ポンプ	タンク、ポンプ及び配管の水漏れ、変形、損傷等の有無を点検する。										当月最大電力	kW	
5 直流電源設備	整流装置	汚れ、損傷、過熱等の温度上昇、変形、異音、異臭、腐食等の有無を点検する。										同記録日	月 日	
6 交流無停電電源設備	整流装置、インバーター装置	汚れ、損傷、過熱等の温度上昇、変形、異音、異臭、腐食等の有無を点検する。										※特記事項		
		点検者										検収者	責任者	人員
		(請負業者名)												

# 電氣施設運転保守管理月報一式

A棟 変電 月例点検記録

記入者 \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_月 \_\_\_\_\_日( \_\_\_\_\_曜日)

国立オリンピック記念青少年総合センター

(請負業者名)

A棟(ユニット棟)																															
高圧き電(NO 6)												高圧き電(NO 5)						高圧受電(非常用)			高圧受電(常用)										
B棟非常主52FG103				C棟非常主52FG104				D棟非常主幹52FG105				A棟非常灯52FG101			A棟非常力52FG102																
kW	A	kWH(9)		kW	A	kWH(11)		kW	A	kWH(13)		kW	A	kWH(5)		kW	A	kWH(6)		kV	A	%	kW	kV	A	%	kW				
先月メータ値																															
今月使用量		× 10		× 10		× 10		× 100		× 100		× 10		× 10		× 10															
先月使用量																															

A棟(ユニット棟)																	
高圧き電(NO 1)							高圧き電(NO 2)										
A棟動力主幹52F101			A棟電灯主幹52F102				B棟常用主幹52F103			C棟常用主幹52F104			D棟常用主幹 52F105				
コンデンサ	A	kW	A	kWH(8)	kW	A	kWH(7)	kW	A	kWH(10)	kW	A	kWH(12)	kW	A	kWH(14)	
先月メータ値																	
今月使用量		× 10		× 10		× 10		× 10		× 10		× 10		× 10		× 100	
先月使用量																	

パッケージ 圧 力				表示灯テスト	
左 側		右 側			
吸込		吸込			
吐出		吐出			
Igr表示				電気室温	
				℃	

場所	低圧電灯				低圧動力				低圧非常				整流器盤							
常用電灯 52F102-No.1	常灯 52F102-No.2				常用動力 52F101				非常動 52FG102				非常灯 52FG101				直流電圧 V	電流 A		
項目	V	A	L-U1-32 1L11	項目	V	A	項目	V	A	項目	V	A	項目	V	A	整流器	直流電流			
現在			自販機kWH	現在			現在			現在			現在			蓄電池	負荷電流			
Max			今月	Max			Max			Max			Max			負荷	表示			
Im/It(%)			先月	Im/It(%)			Im/It(%)			Im/It(%)			Im/It(%)			備考				
It(A)	476		使量	It(A)	476		It(A)	825		It(A)	275		It(A)	357						
Tr温度	℃		前回	Tr温度	℃		Tr温度	℃		Tr温度	℃		Tr温度	℃						

備考	

- 注意 (1) 異臭・異音・異常表示・水やほこり・係員以外の入室の有無等に注意する。
- (2) Maxには、電流計赤針の表示値を記入する。
- (3) 全記入後、全電流計の赤針を黒針位置に軸ボタンを押して戻す。
- (4) Im/Itは、定格電流に対する最大電流の比率で、変圧器の利用効果を示す値。

接地端子盤 接地線漏電電流(mA)			
E1	E2	E3	特A3

B・C棟 変電 月例点検記録

点検者 \_\_\_\_\_

国立オリンピック記念青少年総合センター

年 月 日

(請負業者名)

B棟(低層棟)																													
常用電灯 52F202				常用動力 52F201		非常動力 52FG202		非常電灯 52FG201			高圧き電(No.2)				高圧受電				高圧き電(No.1)										
V		A		V		A		V(R)		V(T)		A		52FG201		52FG202		52R202				52F201		52F202					
項目	R-N	T-R	R-N	項目	V	A	V	A	V(R)	V(T)	A	項目	非常電灯	非常動力	非常用回路				動力主幹	電灯主幹									
現在				現在								現在									現在								
I max (赤針)				I max (赤針)				Imax		Imax(赤針)			現在				現在												
I max / It (%)				I max / It (%)				Im/It		Im/It (%)			今月				今月												
It(A)				It(A)				It(A)		It(A)			先月				先月												
浴室棟電灯 1L1T		B棟北側 1L7T		B棟南側 1L8T		浴室洗濯 1L9T		整流器盤				使量				使量													
								直流電圧		V		電流		A		×10				×10									
								整流器		直流		負荷		パッケージ エアコン				表示灯テスト											
								蓄電池		表示		吸入圧力				kg/cm2													
								負荷		吐出圧力				kg/cm2															
								* (R) : R-N ,(T):T-R		Igr 表示				電気室温度				記事											
										Tr温度				常用電灯				常用動力				非常動力				非常電灯			
										°C				°C				°C				°C							

C棟(宿泊中層棟)																											
高圧き電(No.2)				高圧受電				高圧き電(No.1)				低圧電灯				低圧動力		非常動力		非常電灯		接地端子盤					
52FG301		52FG302		52R302				52F302		52F301		52F302		52F301		52FG302		52FG301		接地線漏電電流(mA)							
非常電灯		非常動力		非常用回路				電灯主幹		動力主幹		項目		V		A		V		A		E1		E2			
kW		A		kW		A		kV		A		kVar		kW		kW		A		V		A		V		A	
現在		現在		現在				現在		現在		現在		現在		現在		現在		現在		現在		現在		現在	
I max (赤針)				I max (赤針)				Imax		Imax(赤針)		現在				Imax		Imax		Imax		E3		ES3			
I max / It (%)				I max / It (%)				Im/It		Im/It (%)		今月				Im/It		Im/It		Im/It							
It(A)				It(A)				It(A)		It(A)		先月				It(A)		It(A)		It(A)							
自販機 1L7-2		洗濯コンセント 1L7-3		整流器盤				×10		×10		今月				パッケージ		左側		右側							
												使量				吸入圧力		kg/cm2		kg/cm2							
												前回				吐出圧力		kg/cm2		kg/cm2							
												Tr 温度				常用電灯		常用動力		非常用動力		非常用電灯					
												°C				52F302		52F301		52FG302		52FG301		°C			
												Igr表示				°C		°C		°C		°C					
												記事															

D棟・国際交流棟 変電 月例点検記録

点検者 \_\_\_\_\_

国立オリンピック記念青少年総合センター

年 月 日

(請負業者)

D 棟																		電気室温度 ℃	
高圧き電(No.2)				高圧受電								高圧き電(No.1)							
52FG401		52FG402		52R402				52R401				52F401		52F403		52F402			
非常電灯		非常動力		非常				常用				電灯動力主幹		電灯主幹		動力主幹			
項目	KW	A	KW	A	KV	A	kVar	KW	KV	A	kVar	KW	KW	A	KW	A	KW	A	
現在値																			
倍率	×10		×10										倍率	×10		×10		×10	
今月					表示灯テスト								今月						
先月													先月						
使用量													使用量						
前回													前回						

D 棟																					
低圧電灯(No.1)			低圧電灯(No.2)			低圧動力(No.1)			低圧動力(No.2)			低圧非常動力		低圧非常電灯		ホール 動力		ホール 通信		ホール 電灯	
52 F 403			52 F 402			52 F 402			52 F 402			52 FG 402		52 FG 401		52 F 401					
項目	V	A	V	A	V	A	V	A	V	A	V	A	V	A	V	A	V	A	V	A	
現在値																					
Max(赤針)			Max		Max		Max		Max		Max		Max		Max		Max		Max		
Im/It			Im/It		Im/It		Im/It		Im/It		Im/It		Im/It		Im/It		Im/It		Im/It		
It=		476	It=	476	It=	825	It=	550	It=	550	It=	357	It=	275	It=	143	It=	952			

場所	パントリー 1 L 16 K		1F 売店 1 L 18 K		9F レストラン 1 L 17 K		パントリー 3 L 12 K		9F レストラン 3 L 14 K		1F 売店 3 L 15 K		場所	9F レストラン 3 L 13 K	
今月													今月		
先月													先月		
使量													使量		
前回													前回		

Tr温度			℃			℃			℃			℃			℃			℃			℃
------	--	--	---	--	--	---	--	--	---	--	--	---	--	--	---	--	--	---	--	--	---

整流器盤		
直流電圧 V	直流電流 A	
整流器	直流電流	
蓄電池	負荷電流	
負荷	表示	

パッケージ	左側	右側
吸入圧力	kg/cm2	kg/cm2
吐出圧力	kg/cm2	kg/cm2

接地端子盤 接地線漏電電流(mA)			
E1	E2	E3	ES3

- 注意 (1) 異臭・異音・異常表示・水やほこり・係員以外の入室の有無等に注意する。  
 (2) Maxには、電流計赤針の表示値を記入する。  
 (3) 全記入後、全電流計の赤針を黒針位置に軸ボタンを押して戻す。  
 (4) Im/Itは、定格電流に対する最大電流の比率で、変圧器の利用効果を示す値。

記事

# \* カルチャーホール変電月例点検記録

ボイラー ⑳ カルチャー棟空調室 又は 48 カルチャー棟空調室マスターキー借用

年 月 日 曜日

国立オリンピック記念青少年総合センター

(請負業者名)

記入者

中ホール舞台照明盤  
受電(地下変電 52F804)

(大ホールの神宮側袖階段3F)

表示灯(赤・緑)及び表示灯試験

	V	KW	A
R・S			R
S・T			S
T・R			T
IGR表示異常			

特別記事	
室温	°C

トランス2次側 低圧回路

	V	最大電流	Im/It(%)
R・S		R相	
S・T		S相	
T・R		T相	
定格 476A			

変圧器 T-A

温度	°C		
3φ 150KVA 6600/182-105V			
接地端子盤 接地線漏電電流(mA)			
E 1	E 2	E 3	E 4
		E1と 共用	

小ホール舞台照明盤  
受電(地下変電 52F805)

(小ホールの小田急側袖階段3F)

表示灯(赤・緑)及び表示灯試験

	V	KW	A
R・S			R
S・T			S
T・R			T
IGR表示異常			

特別記事	
室温	°C

トランス2次側 低圧回路

	V	最大電流	Im/It(%)
R・S		R相	
S・T		S相	
T・R		T相	
定格 952A			

変圧器 T-A

温度	°C		
3φ 150KVA 6600/182-105V			
接地端子盤 接地線漏電電流(mA)			
E 1	E 2	E 3	E 4
		E1と 共用	

# スポーツ棟変電月例点検記録

年 月 日

記入者

## 国立オリンピック記念青少年総合センター

(請負業者名)

### 高圧受電盤 (常用)

供給源 特高変52F4

52R601 (特高変52F4)				
電圧	kV	kW	電流	A
R・S			R	
S・T			S	
T・R			T	

表示灯 試験	
--------	--

### 高圧き電盤 NO.1

52F602 動力主幹				
kW	電流	A	積算計	指針
	R		今回	
	S		先月	
	T		差	
			kWH (差 X10)	

52F601 電灯主幹				
kW	電流	A	積算計	指針
	R		今回	
	S		先月	
	T		差	
			kWH (差 X10)	

### 高圧き電盤 NO.2

52FG601 非常動力・電灯主幹				
kW	電流	A	積算計	指針
	R		今回	
	S		先月	
	T		差	
			kWH(差X10)	

パッケージ 圧力		
No.1	D	S
左		
右		

### 高圧受電盤 (非常用)

供給源 特高変 52FG4

52R602 (特高変電 52FG4)				
電圧	kV	kW	電流	A
R・S			R	
S・T			S	
T・R			T	

Igr 表示	電気室温度
	°C

### 低圧 非常電灯盤

### 低圧 非常動力盤

### 低圧 電灯盤

### 体育館 照明盤

### 低圧 動力盤

### 蓄電池設備 備考・その他

52FG601-2 供給源 52FG601		52FG601-1 供給源 52FG601		52F601-1 供給源 52F601		52F601-2 供給源 52F601		52F602 供給源 52F602		供給源 52FG601 低圧 非常電灯盤		備考・その他
電 圧	V	電 圧	V	電 圧	V	電 圧	V	電 圧	V	直 流 電 圧	V	
R-N		R-S		R-N		R-S		R-S		蓄電池		
N-T		S-T		N-T		S-T		S-T		整流器		
T-R		T-R		T-R		T-R		T-R		負荷		
電 流	A	電 流	A	電 流	A	電 流	A	電 流	A	直 流 電 流	A	
R相現在		R相現在		R相現在		R相現在		R相現在		整流出力		
Max		Max		Max		Max		Max		負荷		
Imax/It %		Imax/It %		Imax/It %		Imax/It %		Imax/It %		ランプテスト		
T相現在		T相現在		T相現在		T相現在		T相現在				
Max		Max		Max		Max		Max				
Imax/It %		Imax/It %		Imax/It %		Imax/It %		Imax/It %				
変圧器温度		変圧器温度		変圧器温度		変圧器温度		変圧器温度				
°C		°C		°C		°C		°C				
75kW	357A	150kW	412A	100kW	476A	200kW	549A	500kW	1375A			

接地端子盤				
接地線漏電電流(mA)				
E 1	E 2	E 3	ES3	E3(ELB)

# センター棟変電月例点検記録

国立オリンピック記念青少年総合センター

年 月 日

記入者

高圧 受電盤 (常用)			
52R501			
V	kW	A	
R-S		R	
S-T		S	
T-R		T	
表示灯 試験			
高圧 受電盤 (非常用)			
52R502			
V	kW	A	
R-S		R	
S-T		S	
T-R		T	

高圧 き電盤 NO. 1		高圧 き電盤 NO. 2		高圧 き電盤 NO. 3	
52 F 501	52 F 502	52 F 503	52 F 504	52 FG 502	52 FG 501
電灯 NO. 1, 2 主幹	電灯 NO. 3, 4 主幹	動力 NO. 1, 2 主幹	動力 NO. 3, 4 主幹	予備	非常動力・電灯主幹
A	A	A	A	A	A
R	R	R	R	R	R
S	S	S	S	S	S
T	T	T	T	T	T
kW	kW	kW	kW	kW	kW
積算電力計	積算電力計	積算電力計	積算電力計	積算電力計	積算電力計
乗率 × 10	乗率 × 10	乗率 × 100	乗率 × 10	乗率 × 100	乗率 × 10
今月	今月	今月	今月	今月	今月
先月	先月	先月	先月	先月	先月
差	差	差	差	差	差
使用量	使用量	使用量	使用量	使用量	使用量

低圧非常動力トランス盤 52FG501				低圧非常電灯トランス盤 52FG501				低圧動力NO2トランス盤52F503-②				低圧動力NO1トランス盤52F503-①			
電圧(V)		電流(A)		電圧(V)		電流(A)		電圧(V)		電流(A)		電圧(V)		電流(A)	
R-S		R相	T相	R-N		R相	T相	R-S		R相	T相	R-S		R相	T相
S-T	黒針			N-T	黒針			S-T	黒針			S-T	黒針		
T-R	赤針			T-R	赤針			T-R	赤針			T-R	赤針		
Imax / It (%)				Imax / It (%)				Imax / It (%)				Imax / It (%)			
200 KVA		550 A		150 KVA		714 A		500 KVA		1375 A		500 KVA		687 A	
変圧器温度		℃		変圧器温度		℃		変圧器温度		℃		変圧器温度		℃	

低圧電灯NO4トランス盤52F502-②				低圧電灯NO3トランス盤52F502-①				低圧電灯NO2トランス盤52F501-②				低圧電灯NO1トランス盤52F501-①			
電圧(V)		電流(A)													
R-N		R相	T相												
N-T	黒針			N-T	黒針			N-T	黒針			N-T	黒針		
T-R	赤針			T-R	赤針			T-R	赤針			T-R	赤針		
Imax / It (%)				Imax / It (%)				Imax / It (%)				Imax / It (%)			
200 KVA		952 A		200 KVA		952 A		200 KVA		952 A		200 KVA		952 A	
変圧器温度		℃		変圧器温度		℃		変圧器温度		℃		変圧器温度		℃	

低圧動力NO3トランス盤 52F504				蓄電池 設備			
電圧(V)		電流(A)		直流電圧(V)		直流電流(A)	
R-S		R相	T相	蓄電池		整流出	
S-T	黒針			整流器		負荷	
T-R	赤針			負荷		表示灯試験	
Imax / It (%)							
500 KVA		1375 A					
変圧器温度		℃					

パッケージ		吐出	
圧力		吸引	
Igr表示	電気室温度		
	℃		

接地端子盤 接地線漏電電流 (mA)			
E 1	E 2	E 3	E S 3
備考			

# 駐車場変電(B2F) 月例点検記録

記入者 \_\_\_\_\_

## 国立オリンピック記念青少年総合センター

\_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_月 \_\_\_\_\_日

(請負業者名) \_\_\_\_\_

非常動力盤				非常電灯盤				高圧 受電盤			
電圧計 (V)		電流計 (A)		電圧計 (V)		電流計 (A)		電圧計 (V)		電流計 (A)	
R・S		R相	T相	R・N		R相	T相	R・S		R	
S・T	現在			N・T	現在			S・T		S	
T・R	Max			T・R	Max			T・R		T	
変圧器温度	Im/It			変圧器温度	Im/It			無効電力計		有効電力計	
°C		It= 1375		°C		It= 714			kvar		kW
		500kW				150kW					

蓄電池設備			Igr 表示	電気室温度	接地端子盤 接地線漏電電流(mA)	
整流器出力(A)	直流電圧(V)	直流出力 (A)		°C	E 1 (A)	E 2 (B)
	整流器					
表示	蓄電池				E 3 (C)	E 4 (D)
	負荷					

備考(全体)

\_\_\_\_\_

表示灯	
テスト	

接地端子Ea、Eb、Ecは非常動力盤の正面扉左下端子台を測定する

# 特高変電月例点検記録

年 月 日

# 記入者

## 国立オリンピック記念青少年総合センター

(請負業者名)

ネットワーク盤(1)		
NO.1 受電	NO.2 受電	NO.3 受電
(A)	(A)	(A)
(A)	(A)	(A)
(A)	(A)	(A)

総合		
M W	COSφ	A

普通電力量計 ×100	
今回	ランプテスト
前回	
kWH	

NW母線 GPT	
電圧 (kV)	
1-2	
2-3	
3-1	
コンデンサー 主幹	
52FC 電流 (A)	
1:	
2:	
3:	
第5 高調波	
	(%)

宿泊 A 棟		カルチャー 棟	
(商用 母線)		(商用 母線)	
52F1電流(A)		52F3電流(A)	
1:		1:	
2:		2:	
3:		3:	
センター 棟		スポーツ 棟	
(商用 母線)		(商用 母線)	
52F2電流(A)		52F4電流(A)	
1:		1:	
2:		2:	
3:		3:	

自家発 母線		宿泊 A 棟		カルチャー 棟		駐車場	
G P T		(自家発母線)		(自家発母線)		(自家発母線)	
電圧 (kV)		52FG1電流(A)		52FG3電流(A)		52FG5電流(A)	
1-2		1:		1:		1:	
2-3		2:		2:		2:	
3-1		3:		3:		3:	
センター 棟		スポーツ 棟					
(自家発母線)		(自家発母線)					
52FG2電流(A)		52FG4電流(A)					
1:		1:					
2:		2:					
3:		3:					

直流電源装置		
出力電圧		出力電流
整流器	(V)	(A)
蓄電池	(V)	蓄電池電流
負荷	(V)	(A)

電気室 温度
℃

所内変圧器盤					
電流		電圧		電流	
210V (1相)	210V (3相)	210V	105V (1相)	105V (3相)	
赤針 (A)	(A)	1-2 (V)	(A)	(A)	
黒針 (A)	(A)	2-3 (V)	(A)	(A)	
Im/It (%)	(%)	3-1 (V)	(%)	(%)	
150 kVA	412 A	105V	150 kVA	412 A	
ランプテスト→ 良・否		1-2 (V)	変圧器 温度		
備考		2-3 (V)	(°C)		
		3-1 (V)			

ランプテスト↓ 良・否
----------------

備考

P C T 温度			
NO1PCT		NO2PCT	
温度 (°C)		温度 (°C)	
青針	青針	青針	青針
黒針	黒針	黒針	黒針

パッケージ圧力 (kg/cm <sup>2</sup> )		
	D	S
No.1左		
No.1右		
No.2左		
No.2右		

接地端子盤 接地線漏電電流(mA)			
E1	E1(LA)	E2	ES3
			E3

独立行政法人 国立オリンピック記念青少年総合センター  
非常用発電設備 試運転・実負荷 運転記録

点検日:	年 月 日	運転状況 (いずれかに○)
点検者:		試運転・実負荷

A棟設置非常用発電機		開始時	終了時
	運転日		
	運転時刻		

発電機盤

電圧(kV)	実負荷運転時のみ記入		周波数(Hz)	実負荷運転時のみ記入	
	電力(kW)	電流(A)		積算(kWh)	力率(%)
	—	—		—	—

自動盤

冷却水ポンプ (A)	圧縮空気 (A)	潤滑油プライ ミングポンプ(A)	燃料移送 ポンプ(A)	冷却水小出し槽		小出し燃料槽	
				水液面(リットル)	軽油液面 (リットル)	液面	液面
			—	運転前	運転前		
				運転後	運転後		

発電機用エンジン

回転速度 (1/min)	シリンダー冷却 水(kg/cm)	燃料油 (kg/cm)	潤滑油 (kg/cm)	給気 (kg/cm)	空気 圧力	
					槽	非常
単位 (kg/cm <sup>2</sup> )						
遮断器を『接続位置』へ戻したか？ 戻して署名→			『手動』を『自動』に戻したか？ 戻して署名→			

カルチャー棟設置非常用発電機		開始時	終了時
	運転日		
	運転時刻		

電圧(kV)	実負荷運転時のみ記入			周波数(Hz)	回転速度(%)
	電力(kW)	力率(%)	電流(A)		
	—	—	—		

タービン排気 温度(℃)	積算(kWh)	運転時間 積算量(H)	ランプ点検
	負荷時	運転前	
	—	運転後	

小出し 燃料 液面 槽
運転前
運転後

燃料ポンプ稼働範囲  
800L-400L

自家発始動用蓄電池設備

電圧(V)		充電電流(A)	排気ファン(A)	給気ファン(A)
充電器	蓄電池			

遮断器を『接続位置』へ戻したか？ 戻して署名→	『手動』を『自動』に戻したか？ 戻して署名→
-------------------------	------------------------

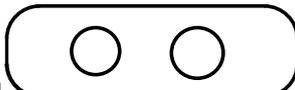
独立行政法人 国立オリンピック記念青少年総合センター  
非常用発電設備燃料向け地下燃料タンク点検記録

点検日:  年  月  日 点検者:

**A棟設置地下軽油タンク**

貯油量メータ読み値:  L 定格貯油量 1,900 L

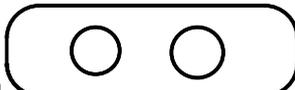
油漏れ・水漏れ点検結果 **A棟発電機室側**

漏油量: 約 <input type="text"/> ミリットル	漏油検知 カッパ <sup>②</sup> カッパ <sup>④</sup>	漏油量: 約 <input type="text"/> ミリットル
地下タンク →		
漏油量: 約 <input type="text"/> ミリットル	漏油検知 カッパ <sup>①</sup> カッパ <sup>③</sup>	漏油量: 約 <input type="text"/> ミリットル
	← 廊側	

**カルチャー棟設置地下軽油タンク**

貯油量メータ読み値:  L 定格貯油量 20,000 L

油漏れ・水漏れ点検結果 **カルチャー棟発電機室側**

漏油量: 約 <input type="text"/> ミリットル	漏油検知 カッパ <sup>②</sup> カッパ <sup>④</sup>	漏油量: 約 <input type="text"/> ミリットル
地下タンク →		
漏油量: 約 <input type="text"/> ミリットル	漏油検知 カッパ <sup>①</sup> カッパ <sup>③</sup>	漏油量: 約 <input type="text"/> ミリットル
	← 小田急線路側	

A棟  
地下タンクの元メーター

H.      年      月

1回のくみ出し量=400L <sup>L</sup>

カルチャー棟  
地下タンクの元メーター

I.H.      年      月      日

1回のくみ出し量=400L <sup>L</sup>

## 厨房排水処理施設運転管理業務日誌

国立オリンピック記念青少年総合センター

厨房排水処理施設運転管理業務日誌

施設管理課
-------

期日	年	月	日	曜日	受注業者名
天気		気温		℃	点検担当者

点検箇所	作業点検項目	状況
1 原水ポンプ槽	オイルボール (有・無)、フロートスイッチ作動、原水性状	良・否
2 自動スクリーン	し渣除去、済、駆動チェーン作動状況	良・否
3 流量調整槽	攪拌状態、フロートスイッチ作動、異物混入 (有・無)	良・否
4 汚水計量槽	m <sup>3</sup> /h、Vノッチ清掃、流量調整	良・否
5 混和槽	PAC 注入量 ( ml/m.)、苛性ソーダ注入量 ( ml/m.)	良・否
6 凝集槽	高分子凝集剤注入量 ( ml/m.)、フロック形成状態	良・否
7 pH計電極	清掃 済、校正 済、記録交換 済	良・否
8 加圧浮上槽	フロス浮上状態 (良、不良)、掻き寄せ状態	良・否
9 加圧タンク	加圧状況 ( MPa)、加圧水量 ( m <sup>3</sup> /h)	良・否
10 処理水タンク	処理水性状	良・否
11 放流ポンプ槽	流量計 ( m <sup>3</sup> /h)	良・否
12 汚泥貯留槽	汚泥調質 (良、不良)、攪拌状態、貯留量 (少、中、多)	良・否
13 汚泥脱水装置	脱水状況 (良、不良)、脱水助剤注入量 ( ml/m.)	良・否

薬品名	貯留量		補充量		注入率	使用量
P A C	ℓ	kg	ℓ	kg	mg/ℓ	ℓ
苛性ソーダ	ℓ	kg	ℓ	kg	mg/ℓ	ℓ
高分子凝集剤	ℓ	kg	ℓ	kg	mg/ℓ	ℓ
脱水助剤	ℓ	kg	ℓ	kg	%	ℓ

薬品入荷	本日入荷量	現在在庫量	薬品入荷	本日入荷量	現在在庫量
P A C	kg	kg	高分子凝集剤	kg	kg
苛性ソーダ	kg	kg	脱水助剤	kg	kg

原水水質	pH	水温	℃	色相	透視度	度
処理水水質	pH	水温	℃	色相	透視度	度

厨房上水使用量	センター棟	カルチャー棟	上水使用量計	厨房排水処理水	放流量
	m <sup>3</sup> /D	m <sup>3</sup> /D	m <sup>3</sup> /D		m <sup>3</sup> /D

機器点検項目					
機器名	圧力 (MPa)	定格電流 (A)	電流値 (A)	状況	備考
1	原水ポンプA		7.8		正常・異常
2	原水ポンプB		7.8		正常・異常
3	自動スクリーン		0.4		正常・異常
4	調整ポンプA		4.0		正常・異常
5	調整ポンプB		4.0		正常・異常
6	攪拌ブロワA		6.8		正常・異常
7	攪拌ブロワB		6.8		正常・異常
8	混和槽攪拌機		1.0		正常・異常
9	凝集槽攪拌機		1.0		正常・異常
10	汚泥掻寄機		0.5		正常・異常
11	加圧ポンプA		14.4		正常・異常
12	加圧ポンプB		9.3		正常・異常
13	コンプレッサー		2.1		正常・異常
14	放流ポンプA		3.0		正常・異常
15	放流ポンプB		3.0		正常・異常
16	汚泥ポンプ		2.3		正常・異常
17	汚泥脱水機		9.0		正常・異常
18	凝集剤注入ポンプ		1.3		正常・異常
19	凝集助剤注入ポンプ		1.2		正常・異常
20	苛性ソーダ注入ポンプ		1.3		正常・異常
21	脱水助剤ポンプ		1.2		正常・異常
22	凝集助剤攪拌機A		0.7		正常・異常
23	凝集助剤攪拌機B		0.7		正常・異常
24	脱水助剤攪拌機		1.2		正常・異常
25	脱臭ファン		6.2		正常・異常
A	汚泥脱水機	運転時間 ( h/D) 脱水汚泥量 ( m <sup>3</sup> /D)		ケーキ発生量 ( m <sup>3</sup> /D) ケーキ含水率 ( %)	
B	脱臭装置	臭気 (槽エリア ) (脱臭塔出口 ) (除外設備室 ) (1F通路 )			
C	動力制御盤	湿気 (有・無)、接続状況 (良・不良)、故障 (有・無)、電球交換 ( 個)			

\*機器点検項目☑欄は、機器停止中につき目視点検のみの実施。

特 記 事 項	
	処理能力70m <sup>3</sup> /D、排水基準 BOD 600mg/ℓ以下、SS 600mg/ℓ以下 pH 5~9、ノルマルヘキサン抽出物質 30mg/ℓ以下

# 排水再利用処理施設運転管理業務日誌

国立オリンピック記念青少年総合センター

排水再利用処理施設運転管理業務日誌

施設管理課
-------

期日	年	月	日	曜日	請負業者名
天気		気温	℃	点検担当者	

点検箇所	作業点検項目	状況	
1	スクリーン	し渣除去 済、駆動チェーン作動状況	良・否
2	流量調整槽	攪拌状態、フロートスイッチ作動、異物混入 (有・無)	良・否
3	汚水分配槽	m <sup>3</sup> /h、Vノッチ清掃、流量調整	良・否
4	生物膜濾過槽	濾過状態、DO・通気状態、逆洗状況、レベルスイッチ状態、	良・否
5	中間処理水槽	中間処理水性状、フロートスイッチ作動、	良・否
6	活性炭流入計量槽	流量調整、Vノッチ清掃	良・否
7	活性炭吸着槽	槽内状況、逆洗状況、レベルスイッチ状態、	良・否
8	処理水槽	処理水性状、フロートスイッチ作動	良・否
9	消毒槽	薬品混合状態、次亜塩注入量 ( ml/m)、流量計 ( m <sup>3</sup> /h)	良・否
10	再利用水槽	再利用水性状、残留塩素濃度 ( mg/l)	良・否
11	逆洗排水槽	逆洗排水性状、フロートスイッチ状態	良・否
12	混合槽	バンド注入量 ( ml/m)、苛性ソーダ注入量 ( ml/m)	良・否
13	凝集槽	高分子注入量 ( ml/m)、フロック形成状態	良・否
14	pH計電極	清掃 済、校正 済、	良・否
15	逆洗排水沈殿槽	水面状況、分離液状態、界面高 ( m)	良・否
16	沈殿污泥ピット	ピット内状態、レベルスイッチ状態	良・否
17	污泥濃縮貯留槽	水面状況、分離液状態、界面高 ( m)、エアリフトポンプ状態	良・否
18	污泥貯留槽	污泥性状、攪拌状態、搬出量 ( m <sup>3</sup> )	良・否
19	脱離液槽	槽内状況、レベルスイッチ状態	良・否

薬品名	貯留量	補充量	注入率	使用量
硫酸バンド	ℓ	kg	ℓ	kg
苛性ソーダ	ℓ	kg	ℓ	kg
高分子凝集剤	ℓ	kg	ℓ	kg
次亜塩素酸ナトリウム	ℓ	kg	ℓ	kg

薬品入荷	本日入荷量	現在在庫量	薬品入荷	本日入荷量	現在在庫量
硫酸バンド	kg	貯留量に同じ	高分子凝集剤	kg	kg
苛性ソーダ	kg	貯留量に同じ	次亜塩素酸 Na	kg	kg

原水水質	pH	水温	℃	透視度	度	濁度	度	色度	度
処理水水質	pH	水温	℃	透視度	度	濁度	度	色度	度
流量 (m <sup>3</sup> /D)	原水処理水量	中水送水量		中水使用量		補給水量			

機器点検項目					
機器名	圧力 (MPa)	定格電流 (A)	電流 (A)	状況	備考
1	No.1 流調ポンプ		16.6		正常・異常
2	No.2 流調ポンプ		16.6		正常・異常
3	No.1 処理水送水ポンプ		15.6		正常・異常
4	No.2 処理水送水ポンプ		15.6		正常・異常
5	No.1 逆洗ポンプ		70.0		正常・異常
6	No.2 逆洗ポンプ		70.0		正常・異常
7	脱離液移送ポンプ		2.3		正常・異常
8	No.1 逆洗排水移送ポンプ		7.8		正常・異常
9	No.2 逆洗排水移送ポンプ		7.8		正常・異常
10	沈殿污泥移送ポンプ		2.3		正常・異常
11	污泥搬出ポンプ		9.3		正常・異常
12	No.1 調整槽ブロワー		33.5		正常・異常
13	No.2 調整槽ブロワー		33.5		正常・異常
14	空洗ブロワー		42.0		正常・異常
15	No.1 通気ブロワー		6.8		正常・異常
16	No.2 通気ブロワー		6.8		正常・異常
17	No.3 通気ブロワー		6.8		正常・異常
18	污泥貯留槽攪拌ブロワー		15.0		正常・異常
19	No.1 次亜塩注入ポンプ		1.3		正常・異常
20	No.2 次亜塩注入ポンプ		1.3		正常・異常
21	No.1 硫酸バンド注入ポンプ		1.3		正常・異常
22	No.2 硫酸バンド注入ポンプ		1.3		正常・異常
23	No.1 苛性ソーダ注入ポンプ		1.3		正常・異常
24	No.2 苛性ソーダ注入ポンプ		1.3		正常・異常
25	No.1 ポリマー注入ポンプ		1.2		正常・異常
26	No.2 ポリマー注入ポンプ		1.2		正常・異常
27	混合槽攪拌機		2.0		正常・異常
28	凝集槽攪拌機		2.0		正常・異常
29	污泥掻寄機		2.0		正常・異常
30	ポリマー溶解攪拌機		1.0		正常・異常
31	No.1 スクリーン		0.2		正常・異常
32	No.2 スクリーン		0.2		正常・異常
33	脱臭ファン		7.0		正常・異常
34	コンプレッサー		2.5		正常・異常
A	脱臭装置	場内臭気 (有・無)、効果 (良・否)			
B	動力制御盤	湿気 (有・無)、接続状況 (良・不良)、故障 (有・無)			

\*機器点検項目☑欄は、機器停止中につき目視点検のみの実施。

特記事項	処理能力 450 m <sup>3</sup> /D、目標水質 BOD 10 mg/ℓ、SS 10 mg/ℓ、COD 20 mg/ℓ
------	--

## 建物等設備保全業務出勤表



# 出勤表

年 月 日

日勤	
担当	氏名
業務責任者	
保守責任者	
電気主任技術者	
業務担当（機械設備）	
業務担当（機械設備）	
業務担当（機械設備）	
業務担当（機械設備）	
業務担当（電気設備）	
業務担当（電気設備）	
作業員	
作業員	
作業員	

夜勤	
担当	氏名
業務担当（機械設備）	
業務担当（機械設備）	
業務担当（電気設備）	

## 契 約 書 (案)

契約件名 国立オリンピック記念青少年総合センター  
建物等設備保全業務

契約金額 別紙内訳のとおり

発注者 独立行政法人国立青少年教育振興機構 契約責任者 理事 伊藤 賢  
(以下「発注者」という。)と受注者 株式会社〇〇〇〇 代表取締役 〇〇〇  
〇 (以下「受注者」という。)との間において、上記「国立オリンピック記念青  
少年総合センター 建物等設備保全業務」(以下「役務」という。)について、上  
記の契約金額で次の条項によって請負契約を締結し、信義に従って誠実にこれ  
を履行するものとする。

(役務の提供)

第 1 条 受注者は、別紙仕様書に基づき役務を提供するものとする。

(契約期間)

第 2 条 契約期間は、令和 7 年 4 月 1 日から令和 1 0 年 3 月 3 1 日までとする。

(完了報告書の提出)

第 3 条 受注者は、毎月の業務終了後、当該月の完了報告書を国立青少年教育振  
興機構財務部施設管理課に提出し、確認を受けるものとする。

(請求書の提出)

第 4 条 受注者は、毎月の業務終了後、当該月の請求書を国立青少年教育振興機  
構財務部施設管理課に提出するものとする。

(代金の支払)

第 5 条 発注者は、適正な請求書を受領後、原則として検収の翌月末までに代金  
を支払うものとする。

(契約保証金)

第 6 条 契約保証金は納付する。ただし、独立行政法人国立青少年教育振興機構  
契約事務取扱規則 (以下「取扱規則」という。) 第 3 6 条第 4 項に定める国債、  
地方債などの有価証券等をもって契約保証金の納付に代えることができる。  
また、履行保証保険契約の締結を行った場合は契約保証金を免除するもの  
とする。

2 契約保証金は契約金額の 1 0 % とする。

3 本契約書第 1 2 条第 1 項 (1) から (6) の事由により契約が解除されたと

きは、契約保証金又は履行保証保険金は、取扱規則第36条第2項により発注者に帰属するものとする。

(消費税及び地方消費税)

第7条 消費税及び地方消費税の税率が変更された場合には、変更後の消費税率及び地方消費税率によるものとする。

(契約の変更等)

第8条 発注者及び受注者は、契約の内容を変更しようとするときは、あらかじめ相手方にその承認を得るものとする。

(第三者委託禁止)

第9条 受注者は、業務の全部又は一部を第三者に再委託(再委託先が委託の子会社(会社法(平成17年法律第86号)第2条第1項第3号に規定する子会社をいう。)である場合も含む。以下同じ。)してはならない。ただし、業務の主要な部分を除き、その一部を再委託する必要があるときは、あらかじめ発注者にその承認を得るものとする。

2 受注者は、前項ただし書きに定める業務の一部を再委託した場合、当該再委託先の行為は、受注者の行為とみなすものとする。

(遂行状況報告等)

第10条 受注者は、発注者の要求があるときは、役務の遂行状況について、遂行状況報告書を作成し、発注者に提出しなければならない。

(役務の遂行不可能な場合の措置)

第11条 発注者と受注者のいずれの責にも帰することのできない事由により役務を実施することが不可能又は困難となったときは、発注者と受注者の間で協議してこの契約を解除し、又は変更するものとする。

(契約の解除等)

第12条 発注者は、次の各号の一に該当する事由が生じたときは、契約を解除することができるものとする。

(1) 受注者が、正当な理由なく、この契約の全部又は一部を履行しないとき。

(2) この契約の履行について、受注者に不正・不当な行為があったとき。

(3) 受注者がこの契約を履行する能力を失ったことが明らかに認められるとき。

(4) 受注者が、発注者と現に締結している他の契約について、受注者の責に帰すべき事由により当該契約を解除されたとき。

(5) 受注者が次のいずれかに該当するとき。

イ 役員等(受注者が個人である場合にはその者を、受注者が法人である場合にはその役員又はその支店若しくは請負契約を締結する事務所の代表者をいう。以下この号において同じ。)が暴力団員による不当な行為

の防止等に関する法律（平成三年法律第七十七号。以下「暴力団対策法」という。）第二条第六号に規定する暴力団員（以下この号において「暴力団員」という。）であると認められるとき。

- ロ 暴力団（暴力団対策法第二条第二号に規定する暴力団をいう。以下この号において同じ。）又は暴力団員が経営に実質的に関与していると認められるとき。
- ハ 役員等が自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を加える目的をもって、暴力団又は暴力団員を利用するなどしたと認められるとき。
- ニ 役員等が、暴力団又は暴力団員に対して資金等を供給し、又は便宜を供与するなど直接的あるいは積極的に暴力団の維持、運営に協力し、若しくは関与していると認められるとき。
- ホ 役員等が暴力団又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有していると認められるとき。
- ヘ 下請契約又は材料の購入契約その他の契約に当たり、その相手方がイからホまでのいずれかに該当することを知りながら、当該者と契約を締結したと認められるとき。
- ト 受注者が、イからホまでのいずれかに該当する者を下請契約又は材料の購入契約その他の契約の相手方としていた場合（ヘに該当する場合を除く。）に、発注者が受注者に対して当該契約の解除を求め、受注者がこれに従わなかったとき。

（6）前各号のほか、受注者がこの契約に違反したとき。

（7）発注者の都合により契約の解除の必要があるとき。

- 2 前項により契約を解除する場合には、（7）が生じたときは、発注者は受注者に対し契約解除の理由を記載した書面を解除しようとする1ヶ月前までに通知し、解約できるものとするが、（1）から（6）については、書面をもって通告することによって解除するものとする。
- 3 第1項（1）から（6）の各号の一に該当する事由が生じた場合で、発注者が特に必要と認める場合は、同項の規定にかかわらず、受注者に業務改善命令書を送付し、契約を継続できるものとする。

（違約金）

第13条 前条第1項の規定（同項（7）を除く。）により契約を解除する場合は、受注者は違約金として、契約金額の10%に相当する額を発注者に対し支払うものとする。

- 2 前条第3項の規定により契約を継続する場合は、受注者は違約金として、契約金額の5%に相当する額の範囲内で発注者が請求する額を発注者に対し支払うものとする。

（損害賠償）

第14条 受注者は、善良なる管理者の注意を持って業務を行うものとする。

- 2 受注者は、業務実施中に発注者の建物・備品等を破損または紛失した場合には、原状回復の責を負い、原状回復が不可能な場合には当該損害を賠償するも

のとする。

- 3 受注者は賠償責任保険に加入するものとし、賠償責任保険証券の写しを発注者に提出するものとする。
- 4 第2項に定めるほか、この契約の履行に関して発注者に損害を与えた場合は、その損害を賠償しなければならない。
- 5 火災、天災、その他不可抗力など、受注者の責任に帰する事が困難な事由によって生じた損害については、この限りではない。

(談合等の不正行為に係る違約金)

第15条 受注者は、この契約に関して、次の各号の一に該当するときは、契約金額の10%に相当する額を違約金として発注者が指定する期日までに支払わなければならない。

- (1) 受注者が私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律(昭和22年法律第54号。(以下「独占禁止法」という。))第3条又は第19条の規定に違反し、又は受注者が構成員である事業団体が同法第8条第1項第1号の規定に違反したことにより、公正取引委員会が受注者又は受注者が構成員である事業者団体に対して、同法第49条に規定する排除措置命令又は同法第62条第1項に規定する納付命令を行い、当該命令が確定したとき。ただし、受注者が同法第19条の規定に違反した場合であって当該違約行為が同法第2条第9項の規定に基づく不公正な取引方法(昭和57年公正取引委員会告示第15号)第6項に規定する不当廉売の場合など発注者に金銭的損害が生じない行為として、受注者がこれを証明し、その証明を発注者が認めたときは、この限りでない。
  - (2) 公正取引委員会が、受注者に対して独占禁止法第7条の4の規定による課徴金の納付を命じない旨の通知を行なったとき。
  - (3) 受注者(受注者が法人の場合にあつては、その役員又は使用人)が刑法(明治40年法律第45号)第96条の6又は独占禁止法第89条第1項若しくは第95条第1項第1号の規定による刑が確定したとき。
- 2 前項の規定は、発注者に生じた実際の損害の額が違約金の額を超過する場合において、発注者がその超過分の損害につき賠償を請求することを妨げない。
  - 3 受注者は、この契約に関して、第1項の各号の一に該当することとなった場合には、速やかに、当該処分等に係る関係書類を発注者に提出しなければならない。

(秘密保持)

第16条 受注者は、この契約に関連して知ることのできた発注者の知識又は情報(個人情報を含む)その他の権利(以下「契約関連情報」という。)について、次の各号の規定を遵守すること。ただし、発注者からの指示又は承諾がある場合はこの限りではない。

- (1) 契約関連情報の目的外利用を禁止するとともに、第三者に漏洩し、又は譲渡し、若しくは利用させてはならない。
- (2) 契約関連情報の漏洩等が発生した場合は、被害拡大の防止に万全を期

- すとともに、直ちに発注者へ報告すること。
- (3) 契約関連情報を複製等してはならない。
  - (4) 契約関連情報は、契約期間満了後速やかに消去等すること。
  - (5) 個人情報に関する関係法令に基づき業務を実施すること。
  - (6) 前各号に違反した場合は、契約解除するとともに、発注者に生じた損害賠償の責めを負うこと。
- 2 前項の規定は、契約解除後又は契約期間満了後においても存続するものとする。

(一般事項)

第17条 この契約についてのその他の一般的約定については、独立行政法人国立青少年教育振興機構会計規程及び契約事務取扱規則を遵守し、文部科学省が定めた発注工事請負等契約規則を準用するものとする。

(紛争の解決)

第18条 この契約について、発注者と受注者との間に紛争が生じたときは、双方協議の上これを解決するものとする。

(裁判管轄)

第19条 この契約に関する訴えの管轄は、独立行政法人国立青少年教育振興機構本部の所在地を管轄区域とする東京地方裁判所とする。

(その他)

第20条 この契約に定めのない事項について、これを定める必要がある場合は、発注者と受注者との間で協議して定めるものとする。

上記契約の成立を証するため、本契約書を2通作成し、発注者・受注者は次に記名押印の上、各1通を所持するものとする。

令和 年 月 日

発注者	住所	東京都渋谷区代々木神園町3番1号
	氏名	独立行政法人国立青少年教育振興機構
		契約責任者 理事 伊藤 賢

受注者	住所	
	氏名	

